

令和3年度 岩手県自主防災組織実態調査

報 告 書

令和4年5月

岩手県復興防災部防災課

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の設計	1
	(3) 回収状況	1
2	調査結果	2
	(1) 組織及び地域の状況について	2
	(2) 活動状況について	22
	(3) 課題や県・市町村への要望等について	52
3	付属資料	

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

県内の自主防災組織の実態及び課題を把握し、自主防災組織の組織率向上及び活性化を推進する方策を検討するため、実態調査を実施する。

(2) 調査の設計

- ・ 調査対象：岩手県内の自主防災組織
- ・ 調査方法：市町村窓口より配布・郵送回収
- ・ 調査期間：令和3年12月から令和4年2月まで
- ・ 配布数：2,123（独自調査を予定していた宮古市分を除く）

(3) 回収状況

対象数	回収数	回収率
2,123 組織	1,503 組織	70.8%

◎報告書の見方・注意事項

- ※回答の多くは各質問の回答者数（N）を母数とした百分率（％）で示しています。
- ※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答”の設問では、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ※地域区分は、各広域振興局の管内を単位としています。

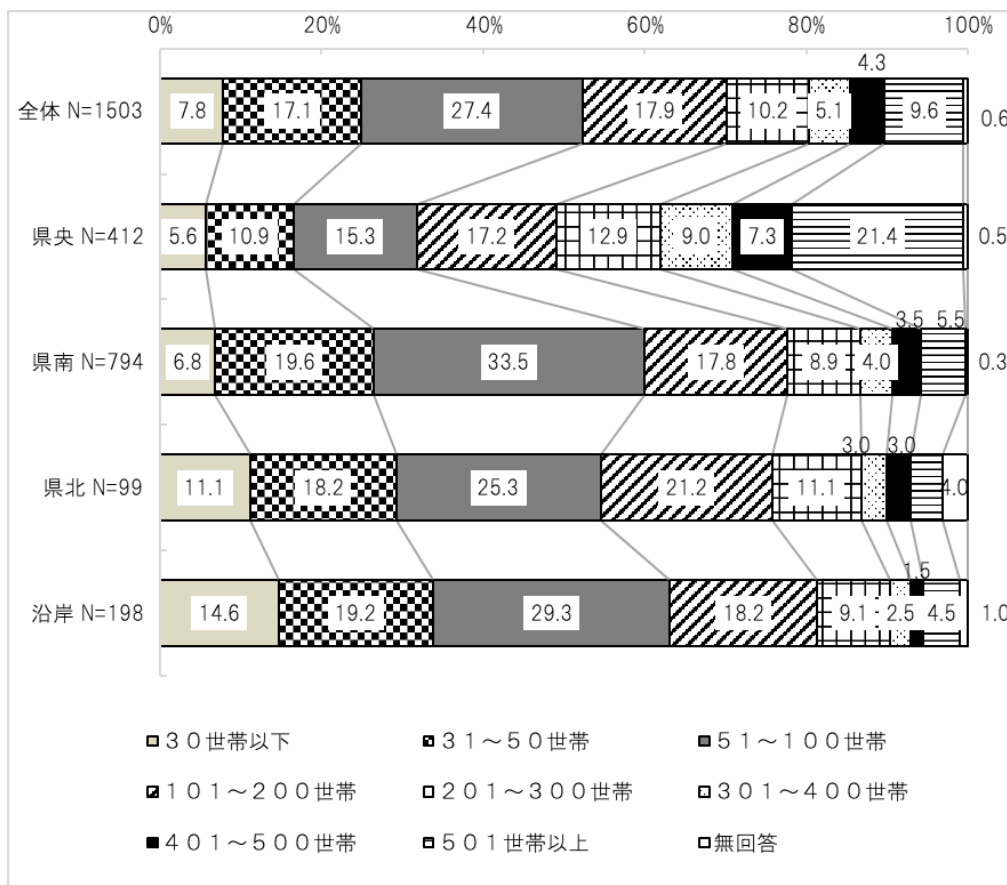
広域圏	市町村
県央広域振興圏	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町
県南広域振興圏	花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町
県北広域振興圏	久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
沿岸広域振興圏	釜石市、大船渡市、陸前高田市、岩泉町、山田町、大槌町、住田町、田野畑村

2. 調査結果

1 組織の状況

問1. あなたの自主防災組織がカバーしている世帯数を教えてください。[択一式]

※カバーしているとは、自主防災組織からの情報提供等の対象としていることを意味します。

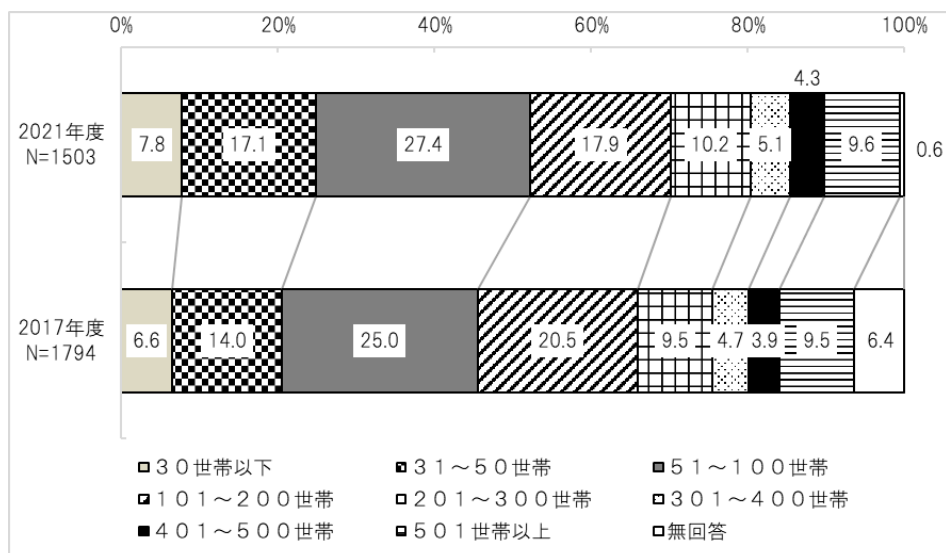


【全 体】

自主防災組織のカバー世帯は、「51～100世帯」が27.4%で最も多く、次いで「101～200世帯」が17.9%、「31～50世帯」が17.1%となっています。『200世帯以下』（「30世帯以下」から「101～200世帯」）までの合計）でみると、70.2%となっています。

【地 域 別】

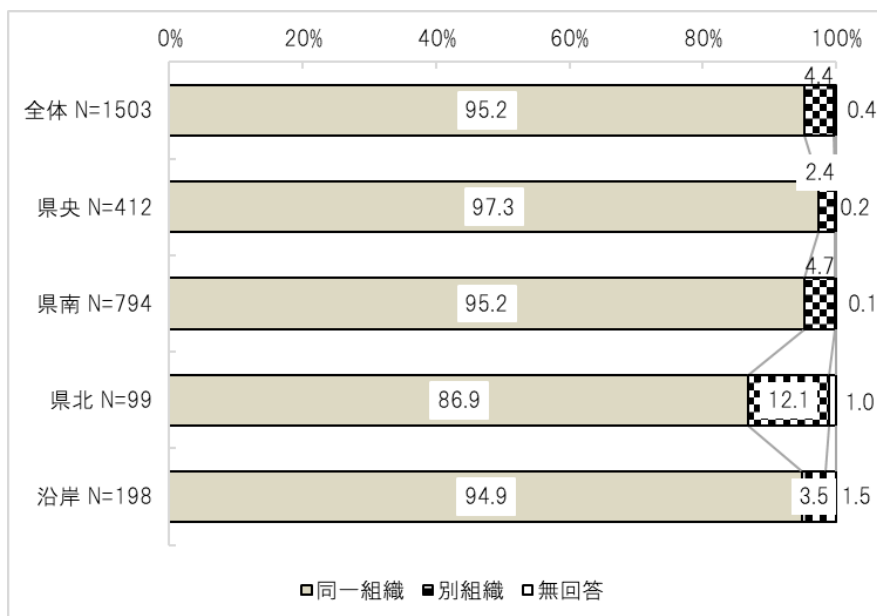
『200世帯以下』が県央地域においては49%と半数以下であるのに対して、県南地域で77.7%、県北地域で75.8%、沿岸地域では81.3%と、県央地域とその他の地域で26.8ポイント以上の差がみられます。



【経年比較】

「101～200世帯」が約2ポイント減じた以外は、いずれの項目も0.1から数ポイント程度の増加傾向がみられます。

問2. あなたの自主防災組織を構成している世帯や区域は、町内会（自治会）組織と同一ですか、別ですか。[択一選択]

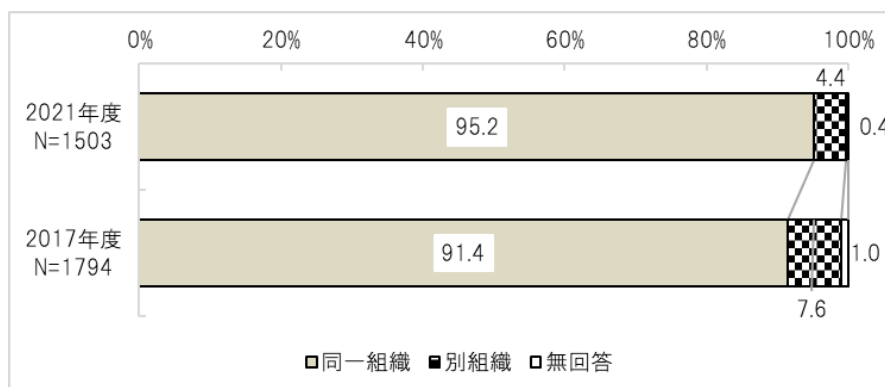


【全 体】

自主防災組織と町内会の組織構成は「同一組織」が 95.2%、「別組織」が 4.4%となっています。

【地 域 別】

「同一組織」とする回答が県北地域で8割以上、他の県央、県南、沿岸地域では9割を超えています。

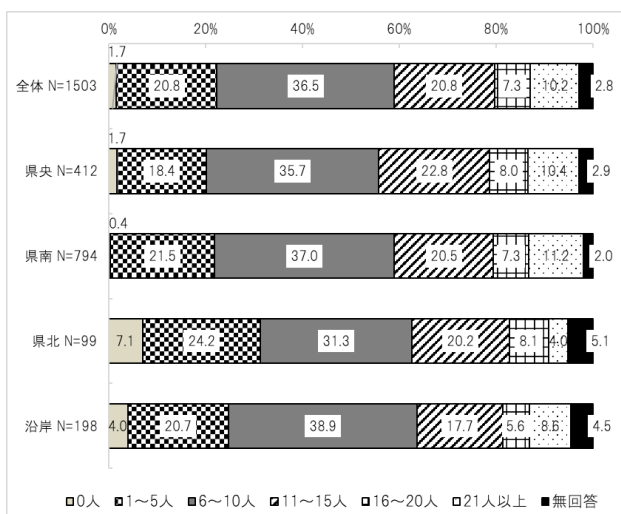


【経 年 比 較】

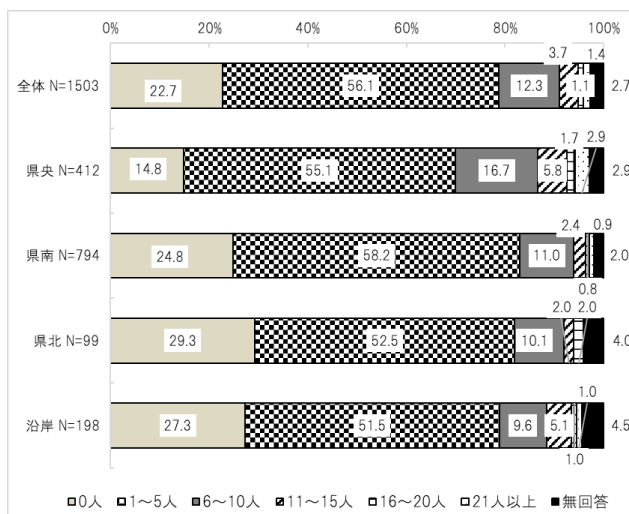
「同一組織」とする回答が 3.8 ポイント増加し、「別組織」は 3.2 ポイント減少しています。

問3-1.あなたの組織の役員の、男性と女性はそれぞれ何人いますか。

男性役員の人数



女性役員の人数



【全 体】

男性役員の人数では「6~10人」が最も多い割合で36.5%となっています。一方、女性役員の人数では「1~5人」が最も多く56.1%でこちらは半数以上を占めています。

【地 域 別】

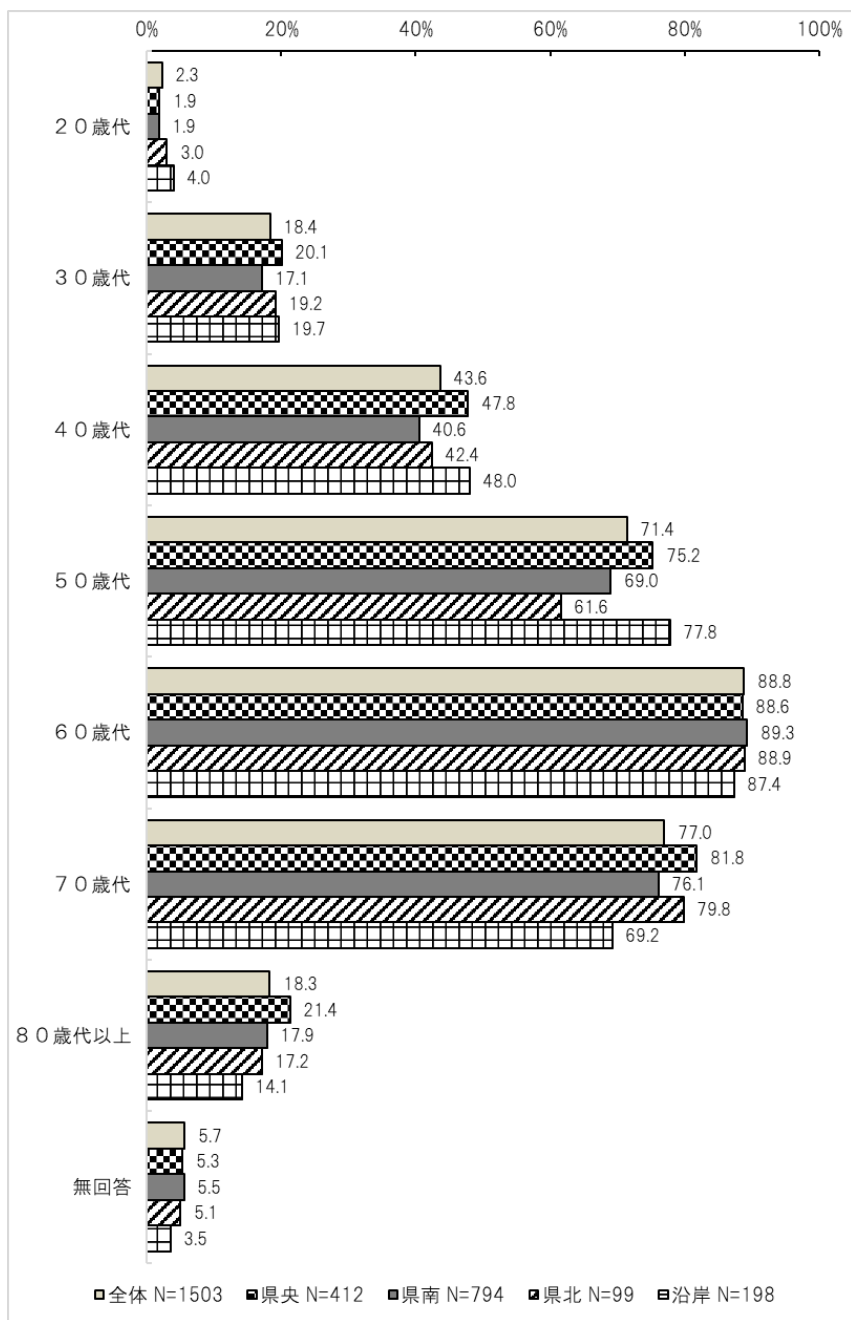
地域別でも、全体と同様の傾向が見られ、男性役員の人数では「6~10人」が最も多い割合で3割から約4割程度、女性役員の人数も「1~5人」が最も多く、いずれの地域も50%以上となっています。

問3-2. あなたの自主防災組織の女性役員の担っている役割について教えてください。

主なもの

- ・ 安否確認
- ・ 救護
- ・ 炊出し（給食）
- ・ 給水
- ・ 情報連絡
- ・ 避難誘導
- ・ 要援護者支援 など

問3-3.あなたの自主防災組織の役員の年齢構成を教えてください。



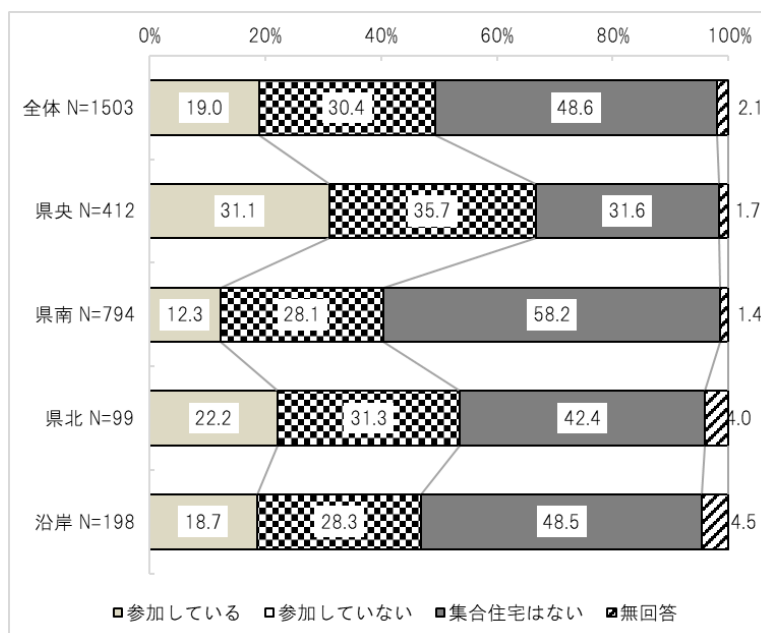
【全 体】

役員の年齢構成として回答の最も多い世代は「60歳代」となっており、「70歳代」、「50歳代」と続いています。

【地 域 別】

地域別でも最も多い世代は「60歳代」となっています。これに県央、県南、県北では「70歳代」が続いており、唯一沿岸では「50歳代」が続く結果となっています。

問4.あなたの自主防災組織の地域では、集合住宅に住んでいる方も自主防災活動に参加していますか。

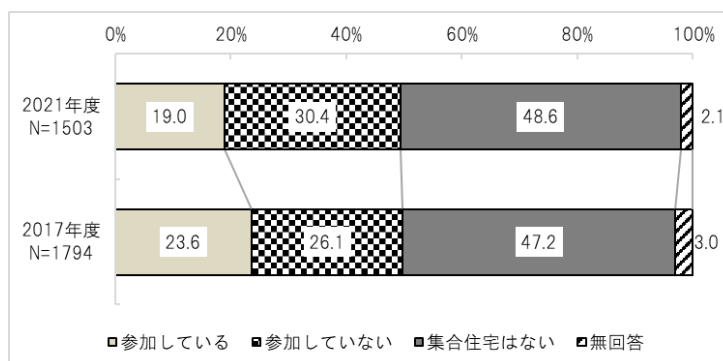


【全 体】

「集合住宅はない」の回答が約半数の 48.6%となっています。集合住宅を抱える組織では「参加している」の 19.0%を、「参加していない」が 30.4%で上回っています。

【地 域 別】

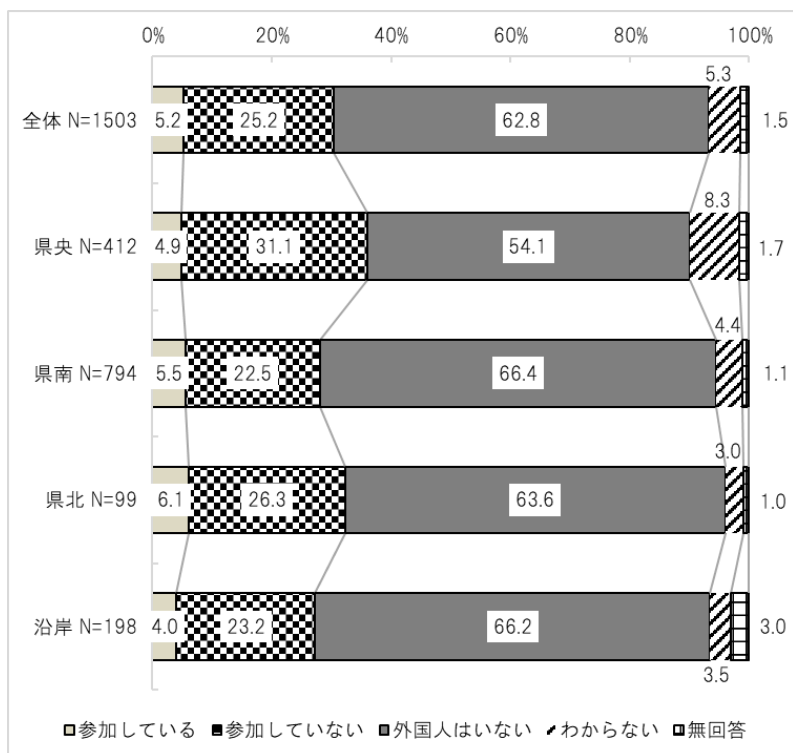
地域別でみると、「集合住宅はない」とする回答率が県央では3割であるのに対して、県北、沿岸の4割台、県南では約6割と幅がみられます。また、「参加している」の回答は県南の 12.3%が最も低く、最も高い県央の 31.1%で 18.8 ポイントの差がみられます。



【経 年 比 較】

「参加している」の回答率が 4.6 ポイント減少し、「参加していない」との回答率が 4.3 ポイント増加しています。

問5.あなたの自主防災組織の地域では、外国人も自主防災活動に参加していますか。

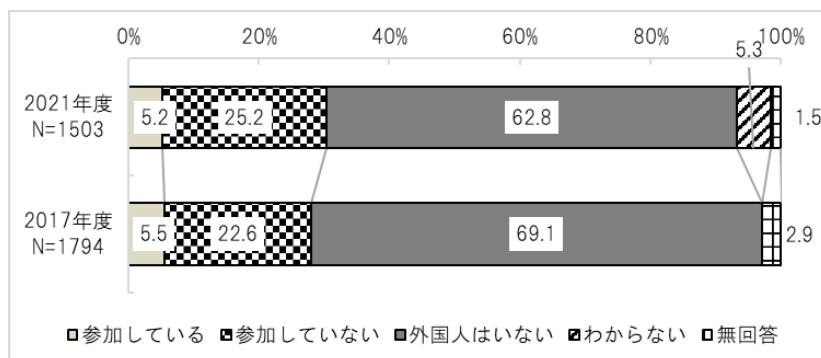


【全 体】

「外国人はいない」の回答が最も多く 62.8%となっています。外国人がいる地域で自主防災活動への参加があるとする回答は 5.2%にとどまっています。

【地 域 別】

地域別では、全体と同様「外国人はいない」が最も多く、参加状況も 4%～6%程度にとどまっており、地域別で大きな差もみられません。

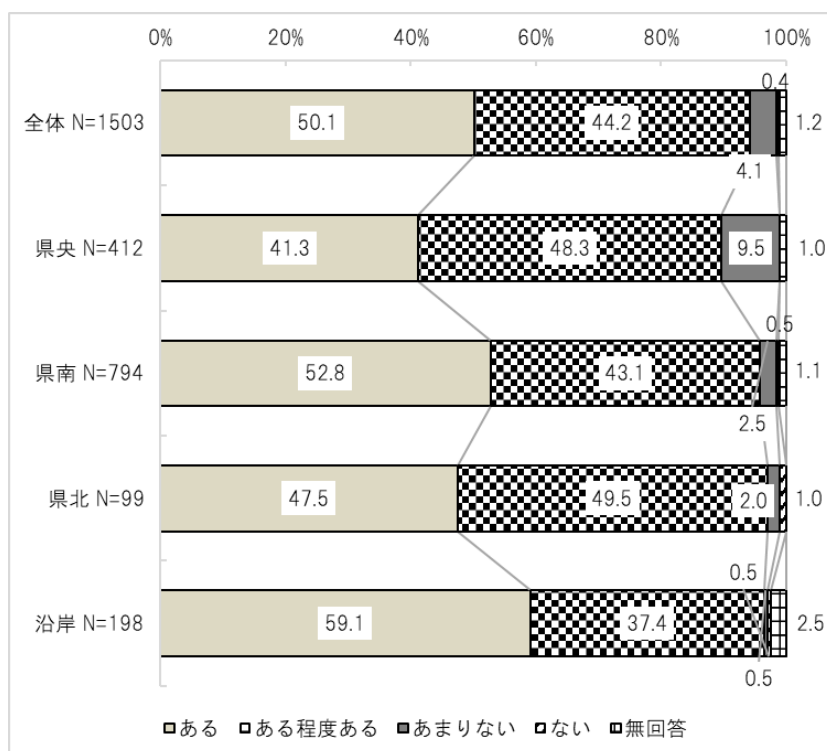


※2017年度は「わからない」を含まない

【経 年 比 較】

「参加している」の回答率に大きな差異はみられないものの、「参加していない」は 2.6 ポイントの増加、「外国人はいない」は 6.3 ポイント減少の変化がみられます。

問6.あなたの自主防災組織の地域では、普段からお隣同士やご近所同士の付き合いがありますか。

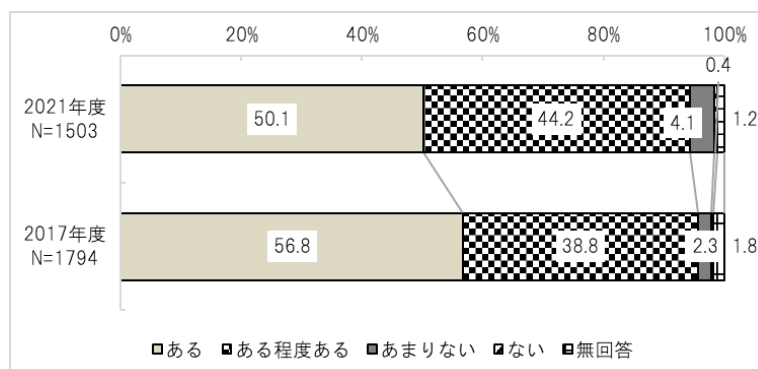


【全 体】

普段からのお隣・ご近所付き合いの有無は「ある」が50.1%、「ある程度ある」が44.2%で、『付き合いがある』（「ある」と「ある程度ある」の合計）とする回答全体では94.3%を占めています。

【地 域 別】

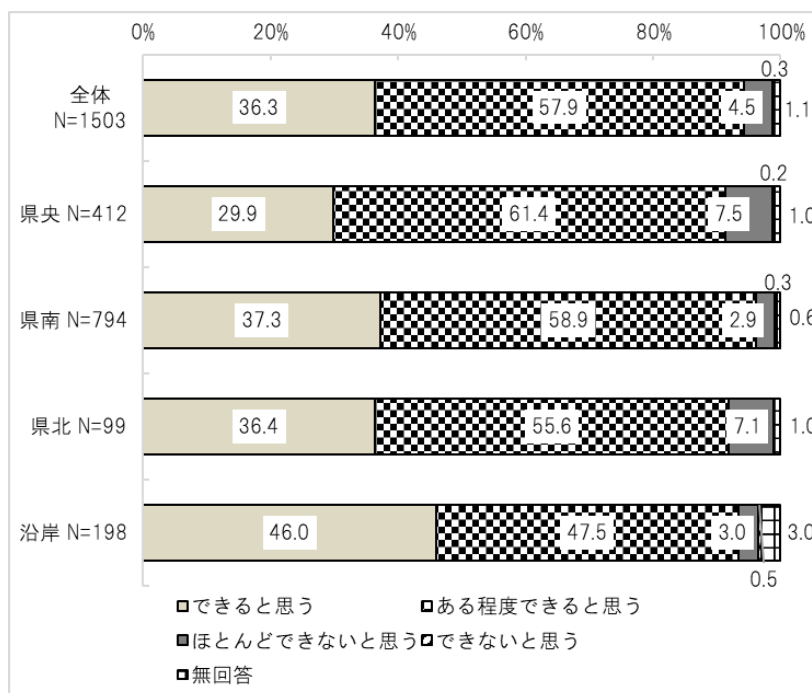
県央地域と県北地域で「ある」とする回答が5割を下回っているものの、いずれの地域でも「ある」と「ある程度ある」を合わせた回答が、約9割を占めています。



【経 年 比 較】

「ある」の回答率が2017年度の56.8%から50.1%へと6.7ポイント減少したのに対して、「ある程度ある」は38.8%から44.2%へと5.4ポイント増加するなど差異が生じています。

問7.あなたの自主防災組織の地域では、災害が発生した時、お隣同士やご近所同士で助け合うことができると思いますか。

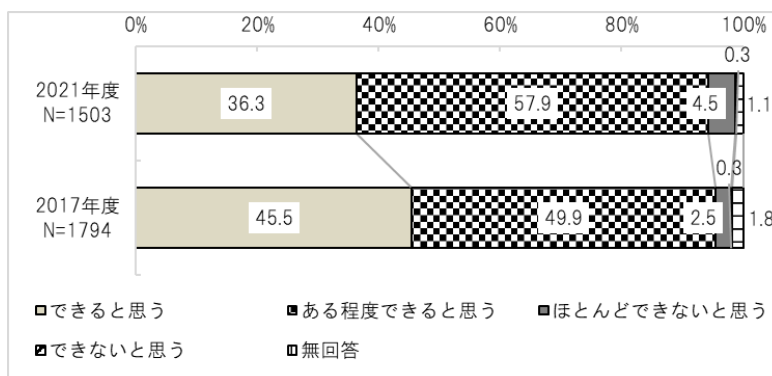


【全 体】

「ある程度できると思う」が57.9%と最も多く、「できると思う」が36.3%となっています。「できると思う」と「ある程度できると思う」の合計は、94.2%となっています。

【地 域 別】

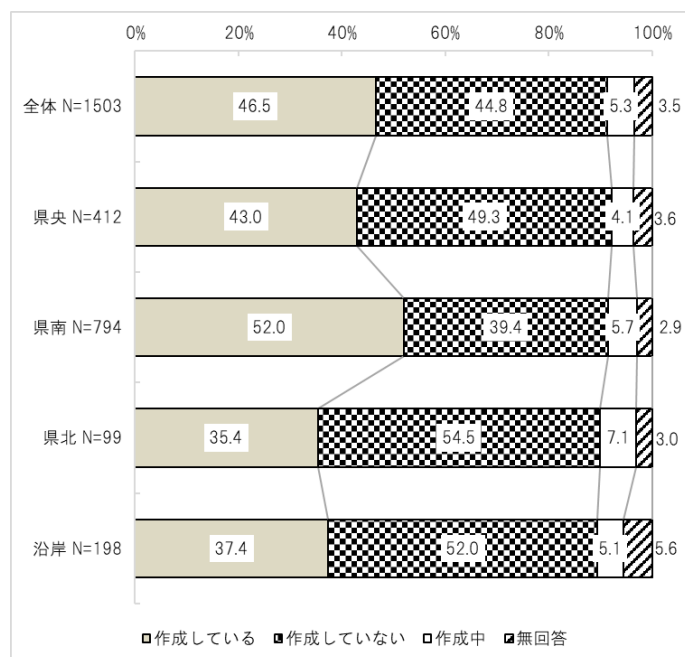
県央地域において「できると思う」が唯一3割を下回っているが、『助け合える』（「できると思う」と「ある程度できると思う」の合計）との回答は、いずれの地域で9割を超えています。



【経 年 比 較】

「できると思う」が9.2ポイント減少したのに対して、「ある程度できると思う」は8ポイント増加するなど、大きな差異が生じています。

問8.あなたの自主防災組織は、災害発生時の活動計画もしくは地区防災計画を作成していますか。

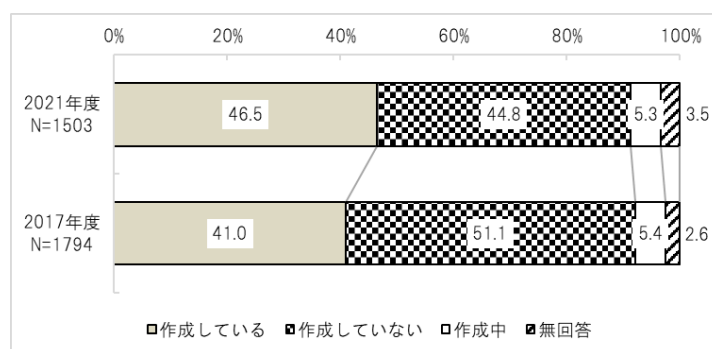


【全 体】

「作成している」が46.5%、「作成していない」が44.8%と僅差になっています。また、「作成中」が5.3%で、「作成している」と合わせると5割を超えます。

【地 域 別】

県央、県北、沿岸では「作成している」の回答が3割から4割で、「作成していない」回答率を下回っている。県南のみ「作成している」が52%で「作成していない」の39.4%を上回っています。



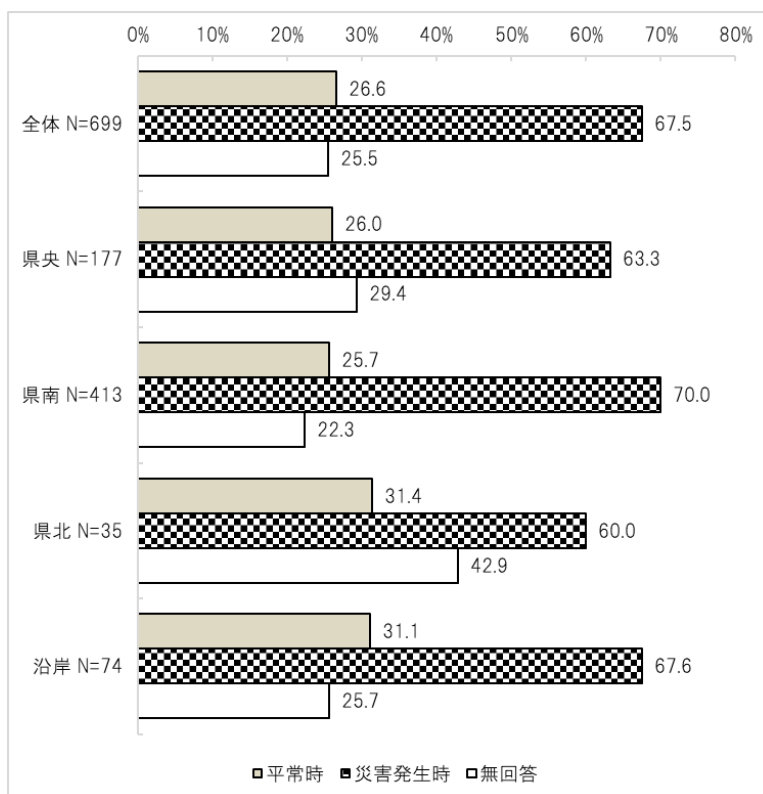
※2017年度は「平常時や災害発生時の活動マニュアル」の作成について質問

【経 年 比 較】

「作成している」が5.5ポイント増加したのに対して、「作成していない」は6.3ポイント減少しており、「作成中」には大きな差異は生じていません。

問8.あなたの自主防災組織は、災害発生時の活動計画もしくは地区防災計画を作成していますか。

☞ 「作成している」計画の種類 (ア) 平常時 ・ (イ) 災害発生時

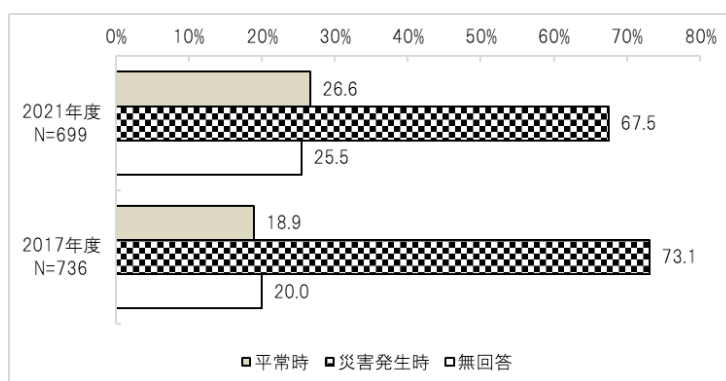


【全 体】

「災害発生時」が67.5%と半数を超える中で、「平常時」は26.6%で3割未満にとどまります。

【地 域 別】

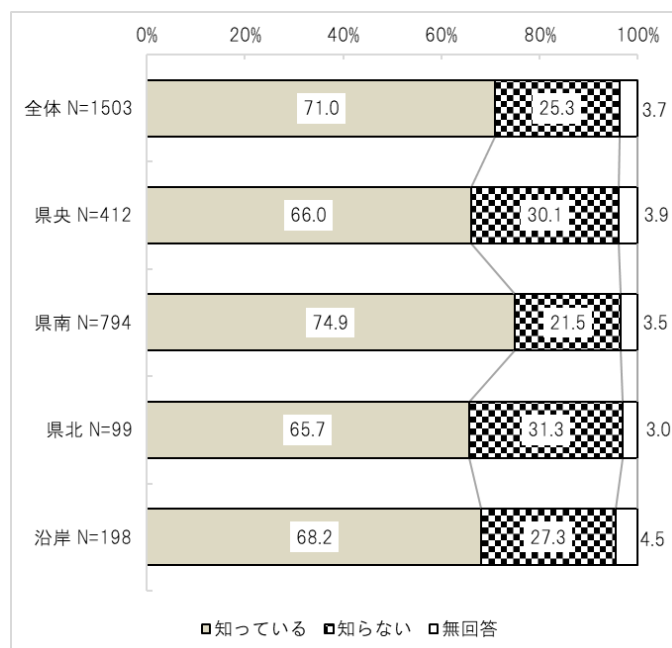
いずれの地域も「災害発生時」の方が高く、6～7割を超えています。県南は唯一7割を超えます。また、「平常時」は県央、県南で2割、県北、県北では3割程度となっています。



【経 年 比 較】

「平常時」は7.7ポイント増加している一方で、「災害発生時」は5.6ポイント減少しています。

問9-1.地区防災計画について知っていますか。



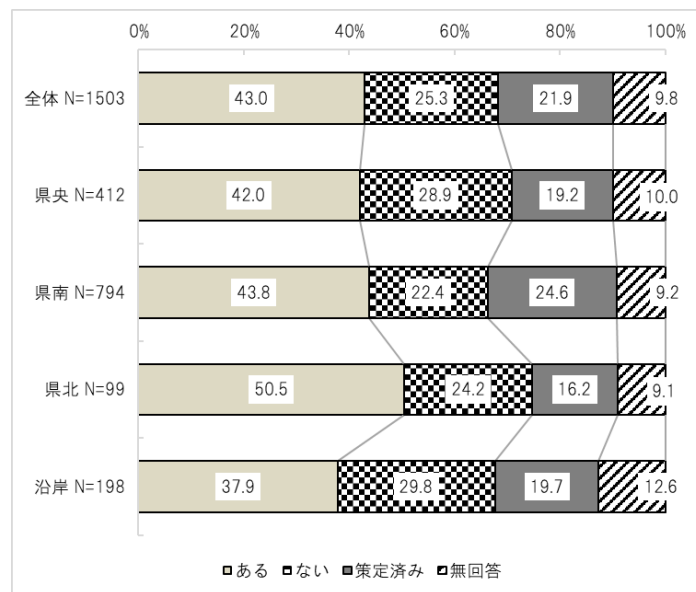
【全 体】

「知っている」が71.0%と、「知らない」の25.3%を大きく上回っています。

【地 域 別】

いずれの地域も「知っている」が6割から7割を占めており、唯一県南では74.9%と7割台となっています。

問9-2.地区防災計画策定の予定や意向はありますか。



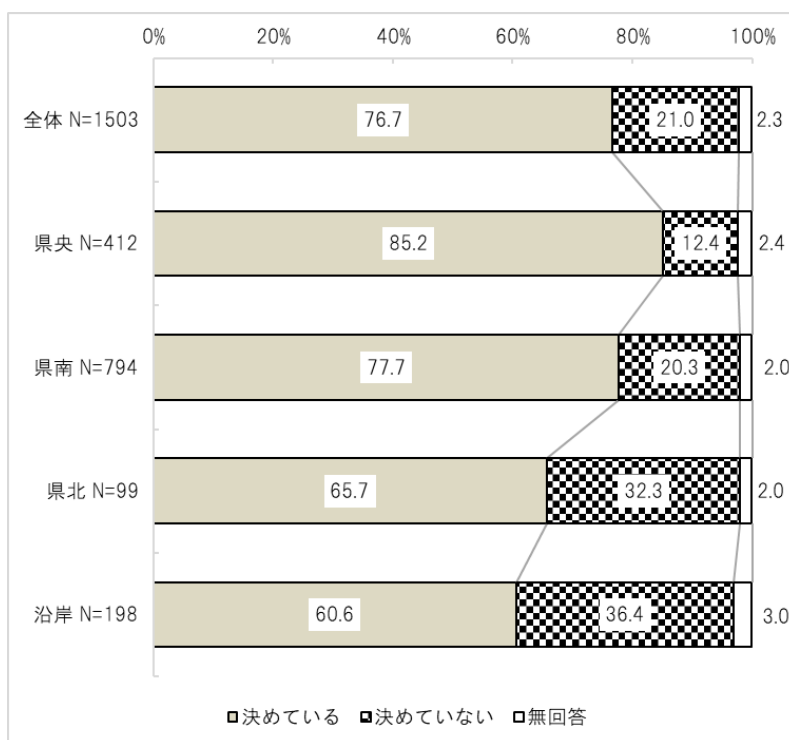
【全 体】

「(予定や意向) ある」が43.0%と、「(予定や意向) ない」の25.3%を大きく上回っています。「ある」と「策定済み」を合わせてみると6割を超えます。

【地 域 別】

いずれの地域も「(予定や意向) ある」の回答率が「(予定や意向) ない」の回答率を超えています。県北の50.5%が最も多く、最も少ない沿岸の37.9%と12.6ポイントの差が見られます。

問 10.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の役割分担や担当者を決めていますか。

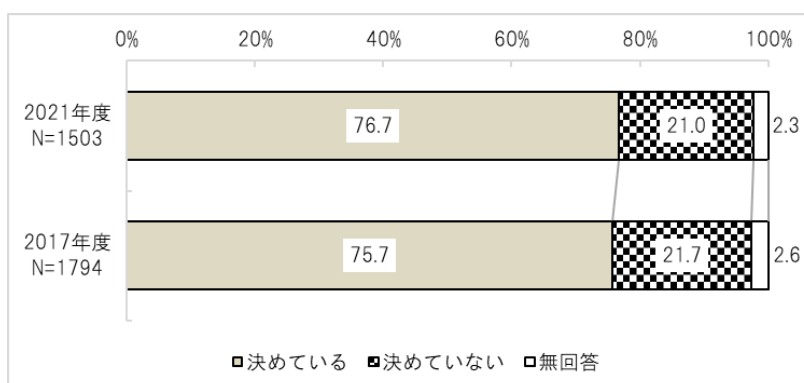


【全 体】

自主防災組織の役割分担や担当者は、「決めている」が 76.7%と「決めていない」の 21.0%を大きく上回っています。

【地 域 別】

「決めている」が県央地域において 85.2%、県南地域において 77.7%と共に 7 割を超えている。次いで県北地域の 65.7%、沿岸地域の 60.6%と続き、最多の県央地域と最少の沿岸地域との差は 24.6 ポイントとなっている。

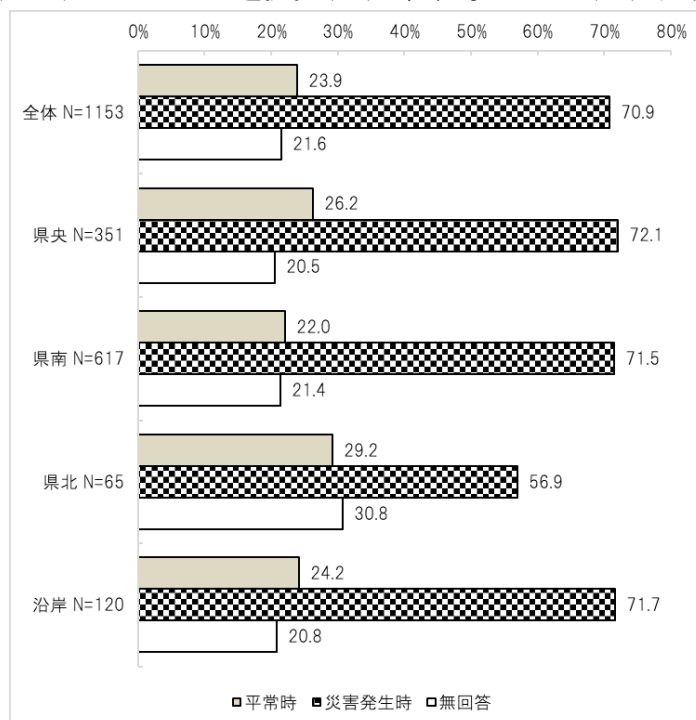


【経 年 比 較】

大きな差はみられません。

問 10.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の役割分担や担当者を決めていますか。

☑ (役割分担・担当者)を決めているを選択。(ア) 平常時 ・ (イ) 災害発生時

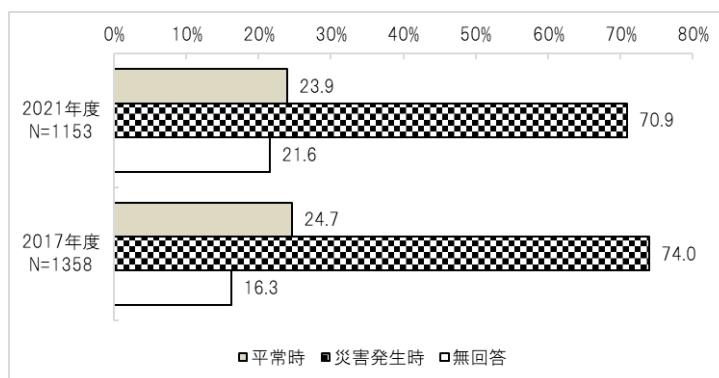


【全 体】

自主防災組織の平常時や災害発生時に決められている役割分担や担当者について「平常時」は23.9%で、「災害発生時」の70.9%を大きく下回っている。

【地 域 別】

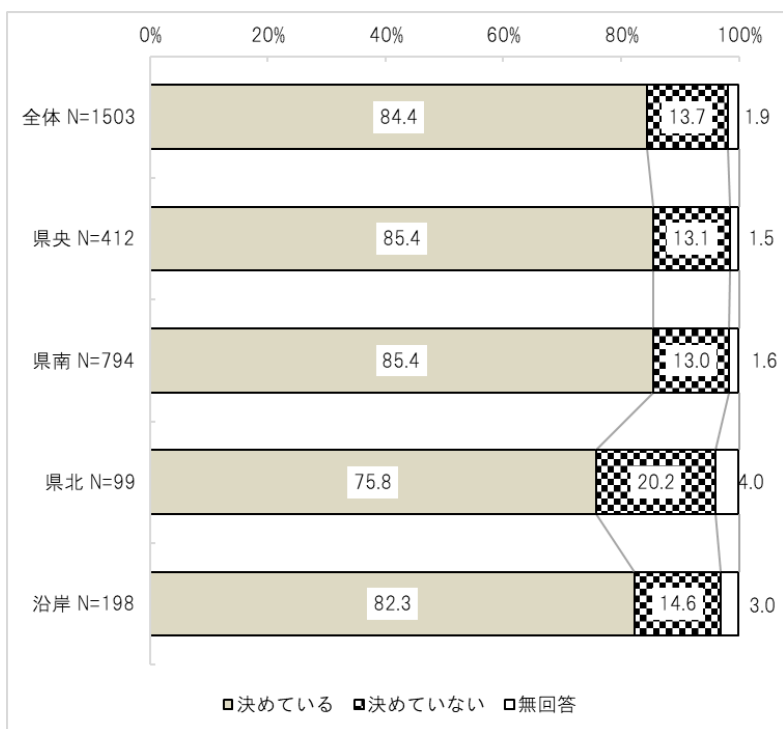
いずれの地域も「災害発生時」との回答率が「平常時」を上回っており、県央、県南、沿岸では7割、県北でも5割を超えています。



【経 年 比 較】

「平常時」は0.8%の減少、「災害時」は3.1%の減少となっており、全体的に減少傾向がみられます。

問 11.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の活動拠点を決めていますか。

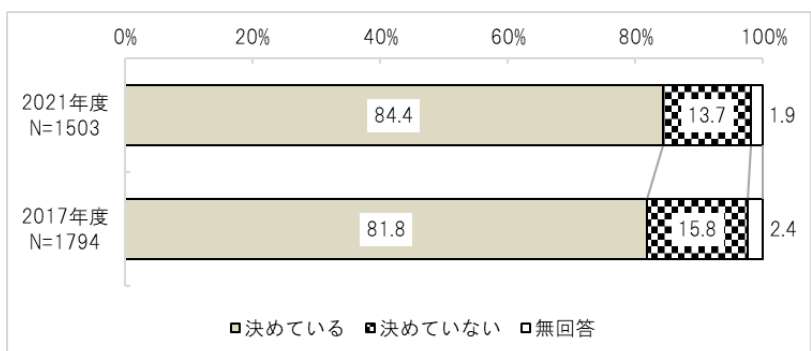


【全 体】

「決めている」が84.4%、「決めていない」が13.7%となっています。

【地 域 別】

県央、県南、沿岸で「決めている」の回答が8割に達しており、県北のみ75.8%と7割台にとどまっています。

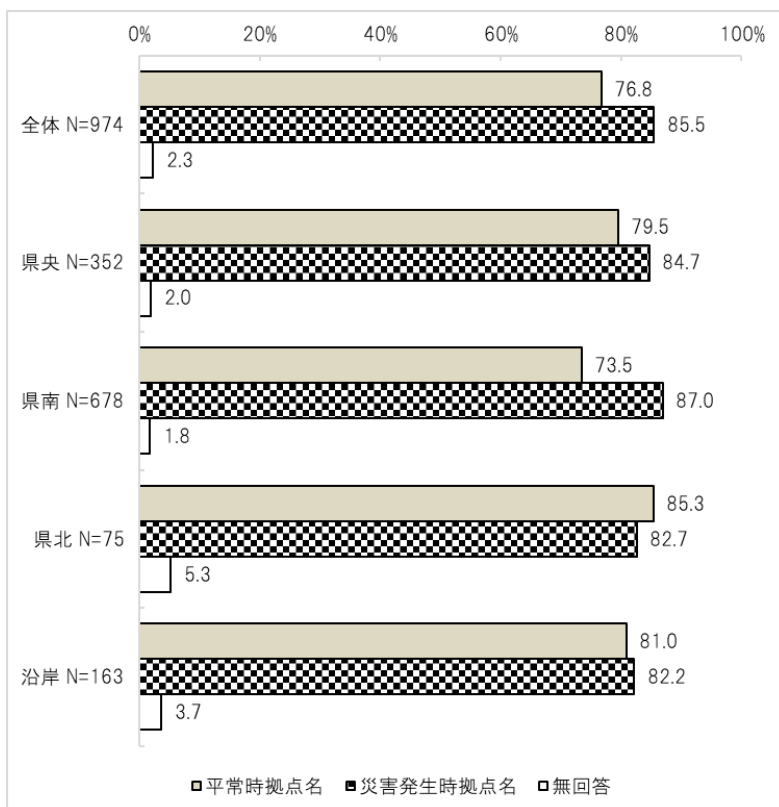


【経 年 比 較】

「決めている」が81.8%から84.4%へわずかながら増加傾向がみられます。

問 11.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の活動拠点を決めていますか。

☑ (活動拠点) を決めている (ア) 平常時拠点 ・ (イ) 災害発生時拠点

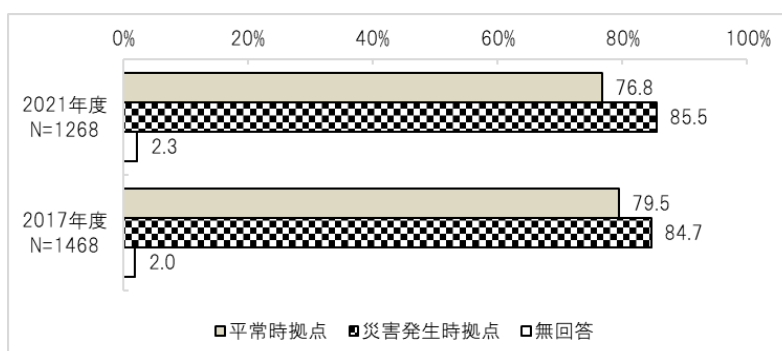


【全 体】

「平常時拠点」が76.8%、「災害発生時拠点」が85.5%となっています。

【地 域 別】

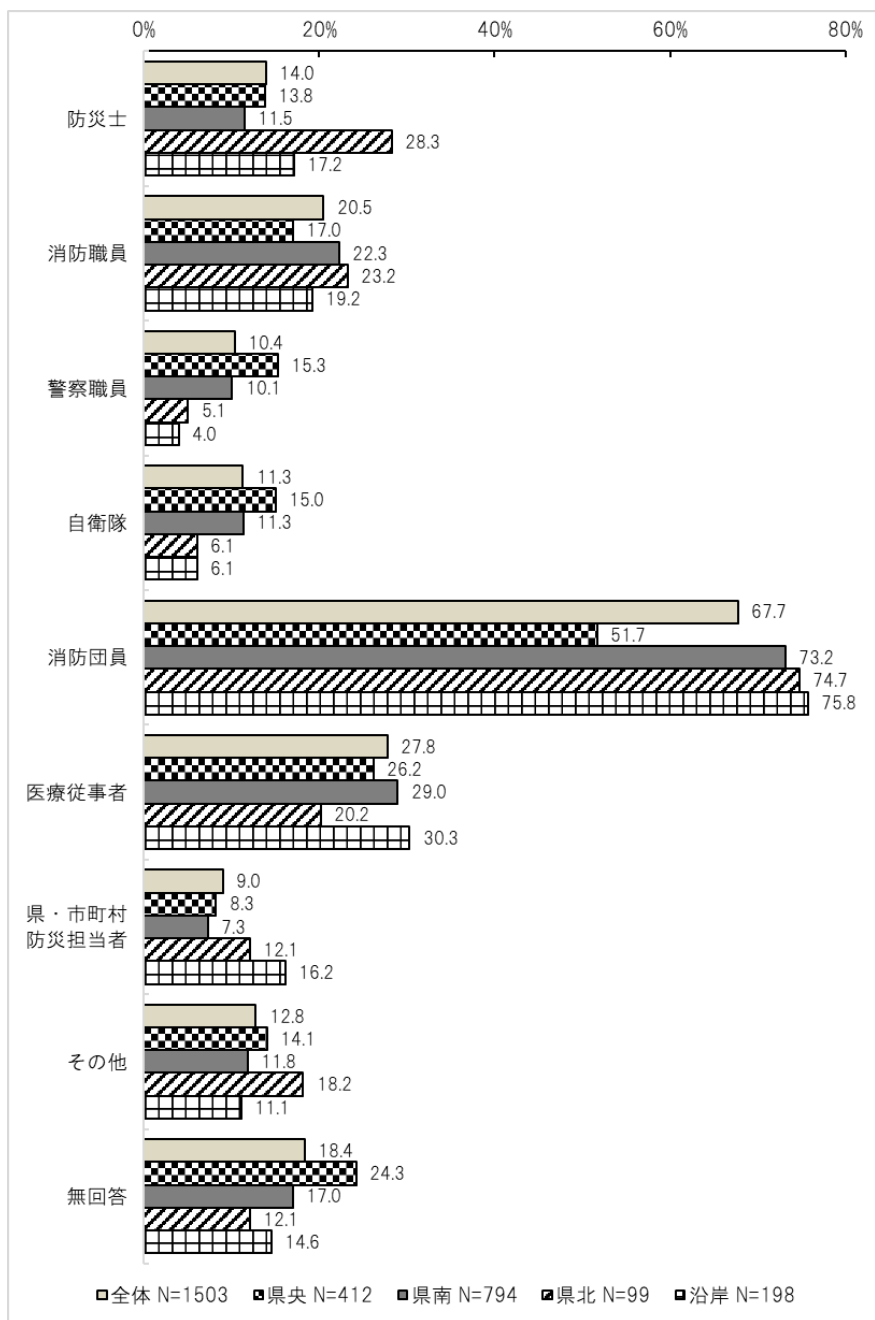
県北、沿岸では「平常時拠点」、「災害発生時拠点」ともに8割を超える回答となっています。県央、県南では「平常時拠点」が7割台、「災害発生時拠点」が8割台となっています。



【経 年 比 較】

「平常時拠点」が2.7ポイント減少しているものの、「災害発生時拠点」は0.8%とほぼ横ばいで推移しています。

問 12.あなたの自主防災組織には、以下に掲げるような「防災人材」がいますか。



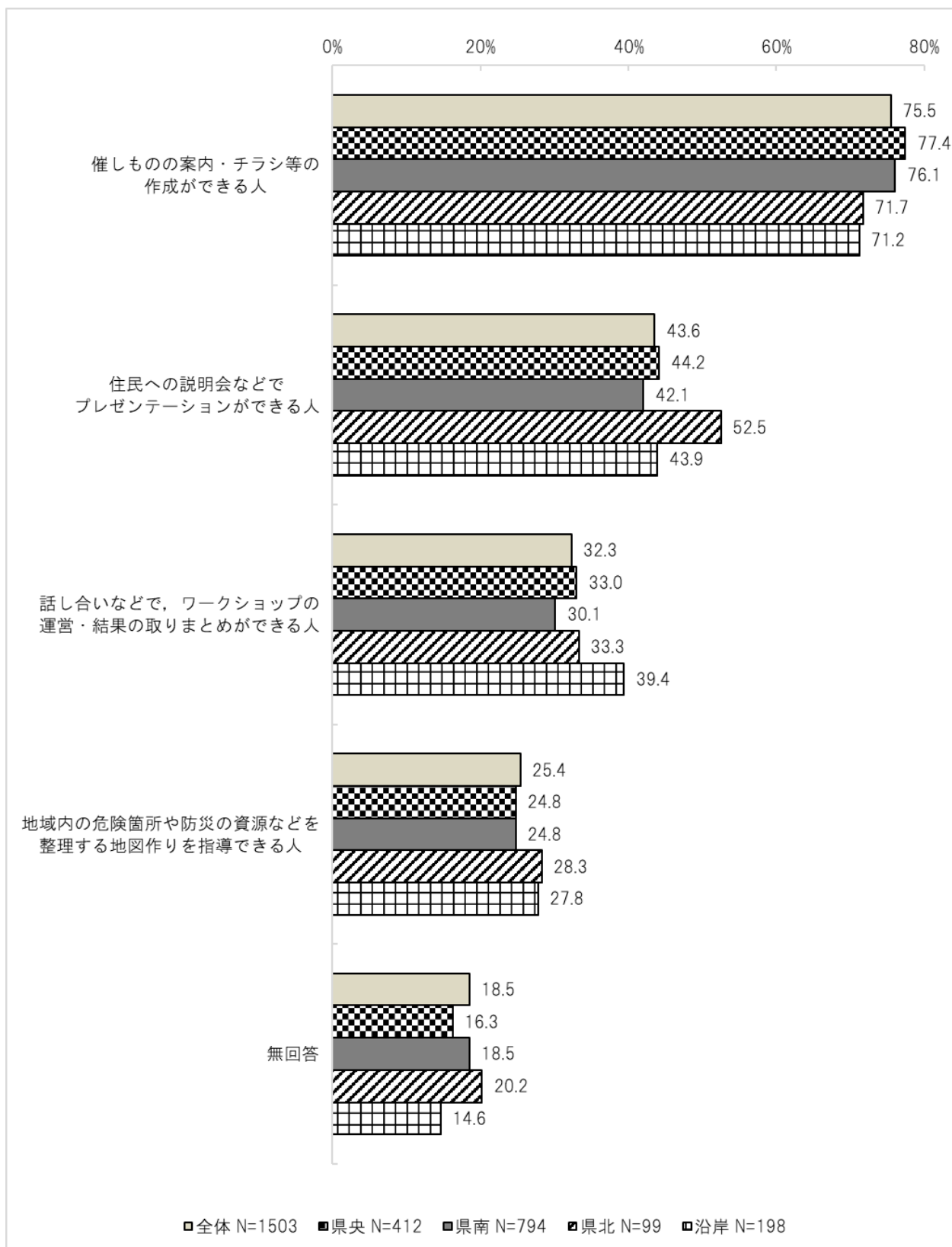
【全 体】

「消防団員」が最も多く 67.7%、次いで「医療従事者」の 27.8%、「消防職員」の 20.5%と続いています。

【地 域 別】

いずれの地域も、最も多かった回答が「消防団員」で県南、県北、沿岸では7割を超えており、県央でも5割に達しています。県央、県南、沿岸では、これに「医療従事者」、「消防職員」と続いています。これに対して県北のみ「消防職員」、「医療従事者」の順に続いています。

問 13.あなたの自主防災組織の地域には、以下のような人材がいますか。




【全 体】

「催しものの案内・チラシ等の作成ができる人」が最も多く 75.5%、次いで「住民への説明会などでプレゼンテーションができる人」の 43.6%、「話し合いなどで、ワークショップの運営・結果の取りまとめができる人」の 32.3%、「地域内の危険箇所や防災の資源などを整理する地図作りを指導できる人」25.4%と続いています。

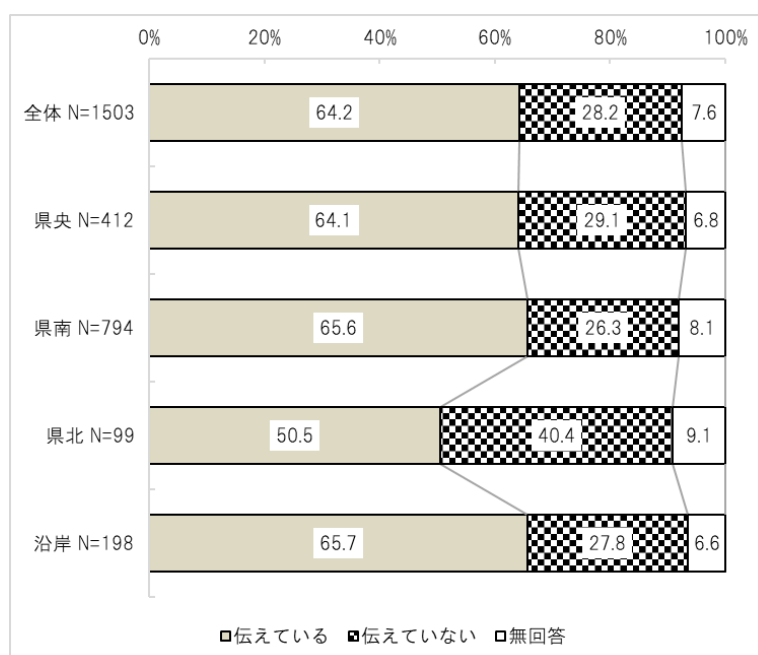
【地 域 別】

いずれの地域も、「催しものの案内・チラシ等の作成ができる人」が最も多く、次いで「住民への説明会などでプレゼンテーションができる人」、「話し合いなどで、ワークショップの運営・結果の取りまとめができる人」、「地域内の危険箇所や防災の資源などを整理する地図作りを指導できる人」の順に続いています。地域別での差では、県北での「住民への説明会などでプレゼンテーションができる人」の回答が他地域よりも約 10 ポイント高い 52.5%に達しています。



2 活動状況について

問 14-1.あなたの自主防災組織は、平常時や災害が見込まれる時に、防災関連の情報を各世帯に伝えていますか。（平常時：回覧板など）



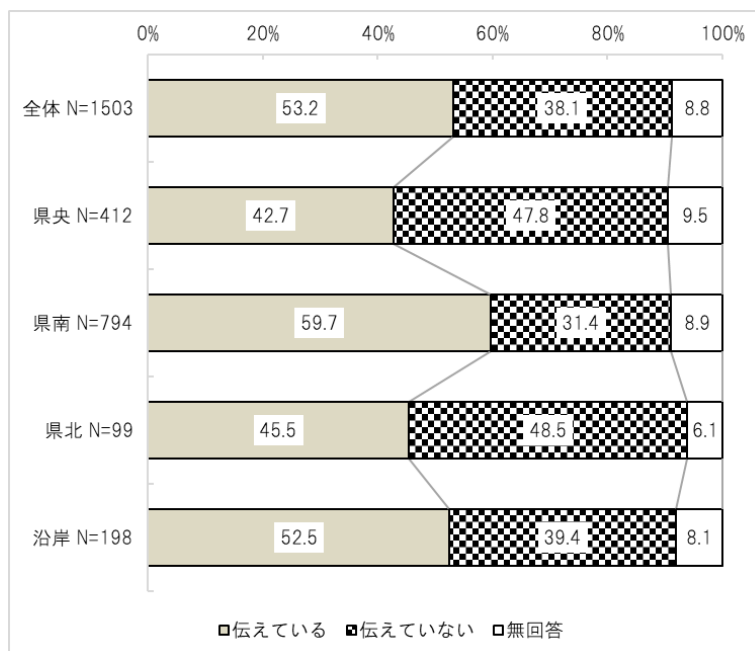
【全 体】

平常時の情報伝達では「伝えている」が64.2%、「伝えていない」が28.2%となっています。

【地 域 別】

県央、県南、沿岸で「伝えている」が6割台となっており、県北でも過半数の50.5%となっています。

問 14-2.あなたの自主防災組織は、平常時や災害が見込まれる時に、防災関連の情報を各世帯に伝えていますか。(警報発令時など：連絡網など)

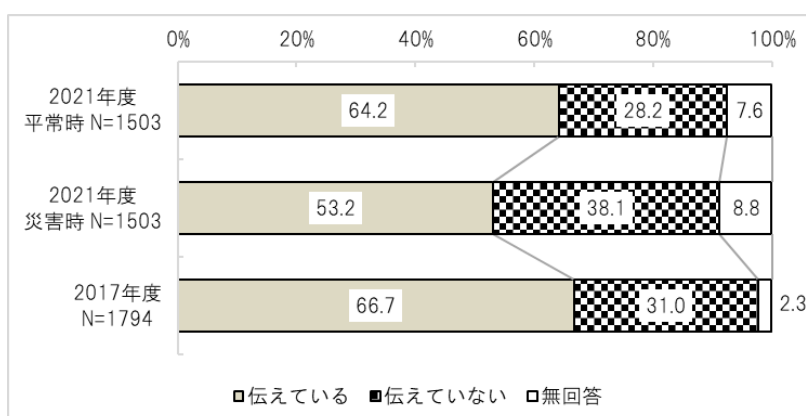


【全 体】

災害が見込まれる時の情報伝達では「伝えている」が53.2%、「伝えていない」が38.1%となっています。

【地 域 別】

県南、沿岸で「伝えている」が5割を超えており、県央、県北では4割程度にとどまっています。

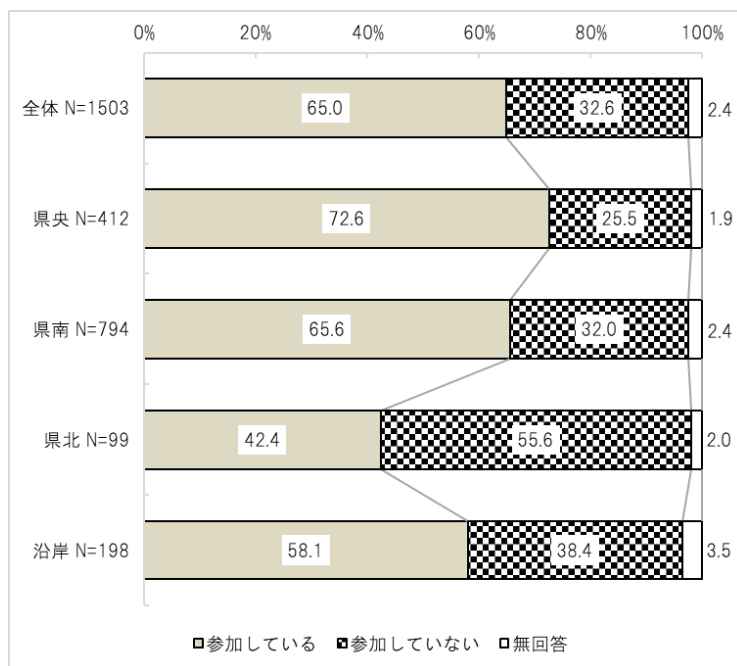


※2017年度は「防災関連の情報」の伝達の有無について質問

【経 年 比 較】

「伝えている」の回答率について、2017年度66.7%と比較すると、2021年度の「平常時」は13.5ポイントの減少、「災害時」は2.5ポイントの減少となっています。

問 15.あなたの自主防災組織は、防災講演会や防災セミナー・研修などの開催、もしくは他機関主催の研修などに参加していますか。

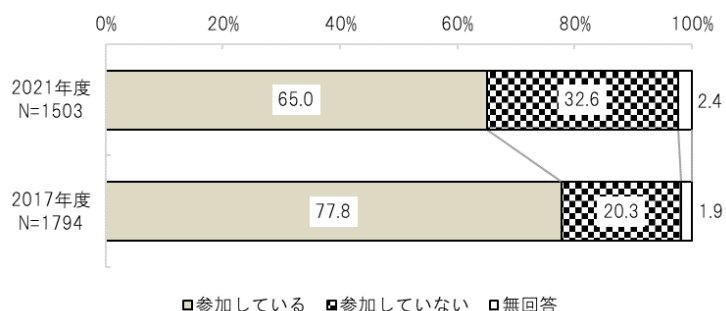


【全 体】

防災講演会やセミナー、研修の開催・研修の参加では、「参加している」が 65.0%、「参加していない」が 32.6%となっています。6割を超える組織が、講演会、セミナー、研修の開催もしくは参加していると回答しています。

【地 域 別】

「参加している」との回答が県央で最も多く 72.6%、県北で最も少ない 42.4%と、30.2 ポイントの差が生じています。県南は 6 割台、沿岸は 5 割台と地域別で回答にばらつきが見られます。

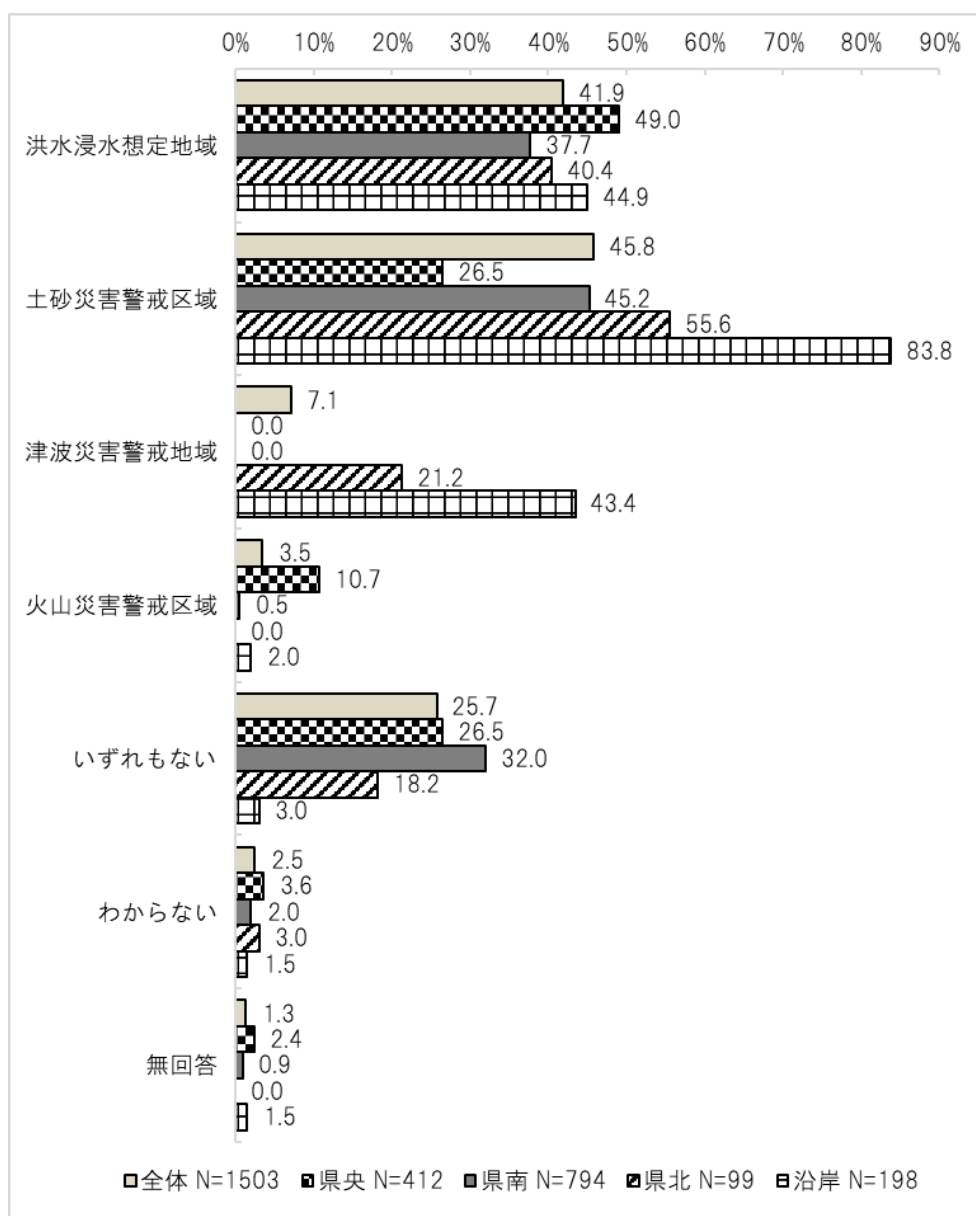


※2017年度は「市町村や消防署等が主催する防災講演会や防災セミナー等への参加」として質問

【経 年 比 較】

「参加している」の回答率が 2017 年度の 77.8%から 2021 年度には 65.0%と、12.8 ポイントの大幅な減少がみられます。

問 16.あなたの自主防災組織の地域には、以下の危険区域がありますか。

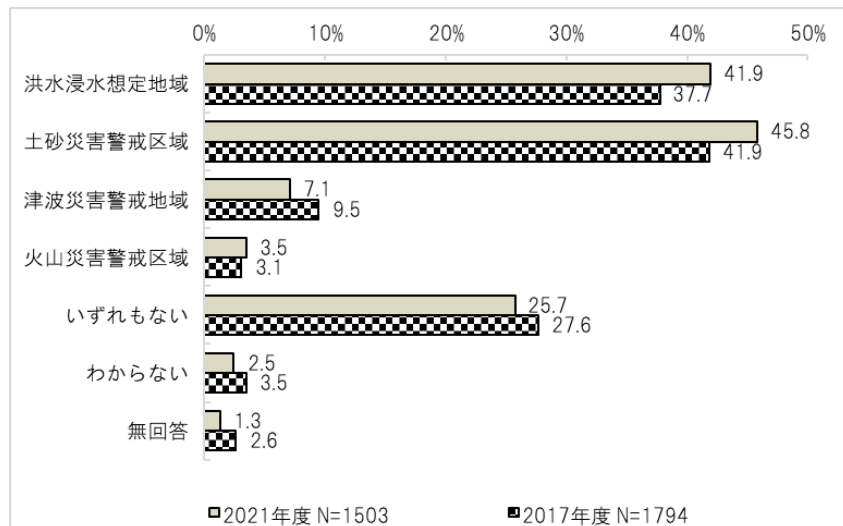


【全 体】

「土砂災害警戒区域」が最も多く 45.8%、次いで「洪水浸水想定区域」が 41.9%となっています。災害の影響範囲が沿岸部や火山周辺に限定される「津波災害警戒地域」、「火山災害警戒区域」の回答は 1 割未満にとどまっているほか、「いずれもない」とする回答は 25.7%となっています。

【地 域 別】

県南、県北、沿岸では「土砂災害警戒区域」、「洪水浸水想定区域」の順で回答が多くみられ、特に沿岸の「土砂災害警戒区域」は 83.8%と 8 割を超える回答となっています。一方、県央では「洪水浸水想定区域」の回答が 49%と最も多く、次いで「土砂災害警戒区域」と「いずれもない」が 26.5%と同率となっています。

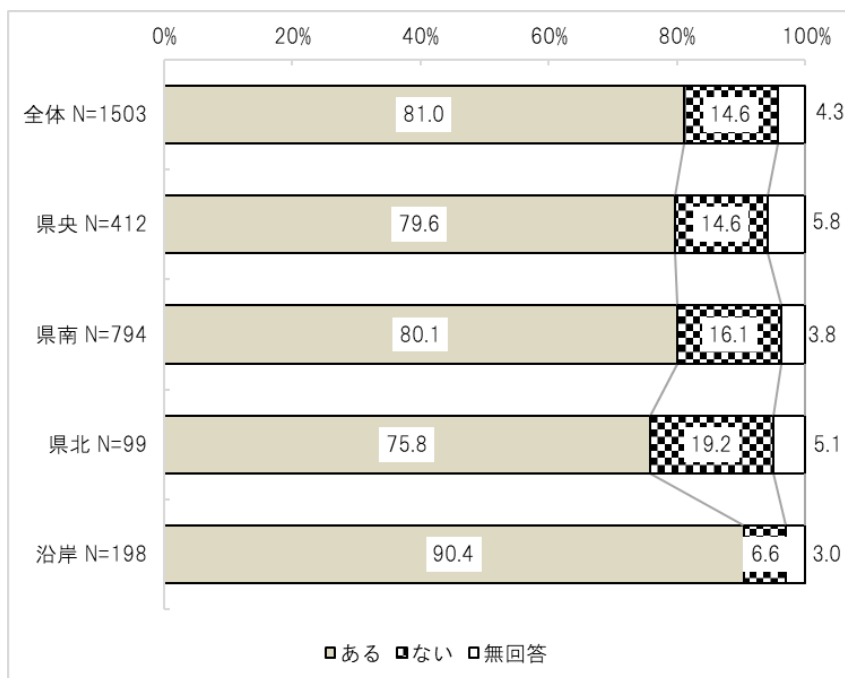


※2017年度は「津波危険予想地域」、「火山危険区域」として質問

【経年比較】

「津波災害警戒区域」が前回を2.4ポイント下回った以外は、「洪水浸水想定域」が4.2ポイント、「土砂災害警戒区域」が3.9ポイント、「火山災害警戒区域」が0.4ポイントとそれぞれ増加しています。

問 17.あなたの自主防災組織の地域には、市町村で指定した指定緊急避難場所などがありますか。または、指定された避難所等はなく、地域で独自に決めた避難を見込める施設はありますか。

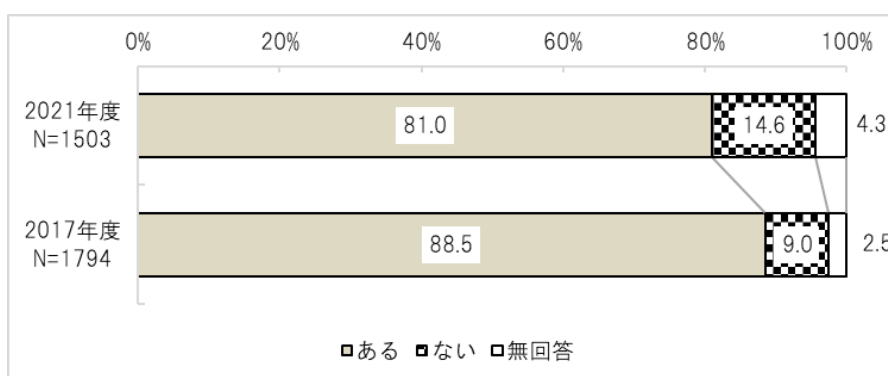


【全 体】

「ある」との回答が81%、「ない」が14.6%となっています。

【地 域 別】

地域別では、「ある」との回答が沿岸で最も多く 90.4%と唯一9割を超えています。次いで県央、県南で約8割、県北では 75.8%にとどまっています。

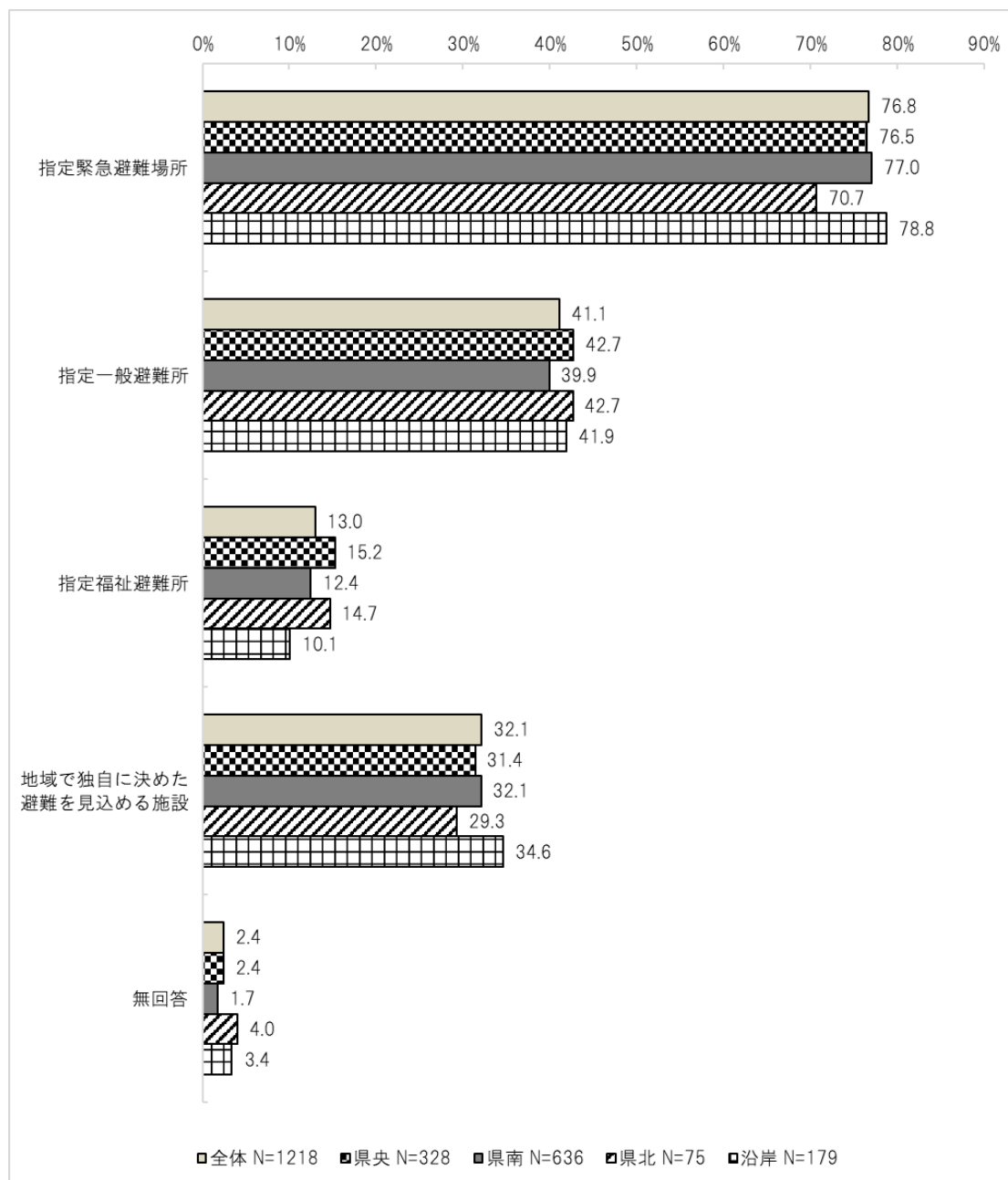


※2017年度は地域での「指定緊急避難場所、や「指定避難場所」の指定の有無について質問

【経 年 比 較】

「ある」が7.5ポイントの減少、「ない」が5.6ポイント増加しています。

問 17-1.市町村で指定した緊急避難場所・避難所、または地域で独自に決めた避難を見込める施設

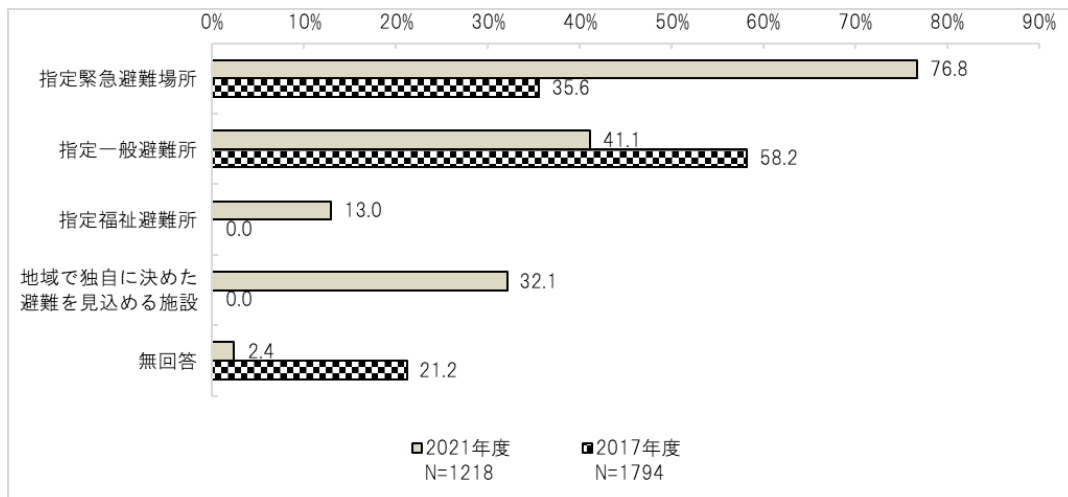


【全 体】

「指定緊急避難場所」の回答が最も多く 76.8%となっています。次いで「指定一般避難所」41.1%、「地域で独自に決めた避難を見込める施設」32.1%、「指定福祉避難所」13%の順に続いています。

【地 域 別】

地域別でも、回答率の順は全体と同様となっています。また、選択肢ごとでも大きな地域差は見られません。

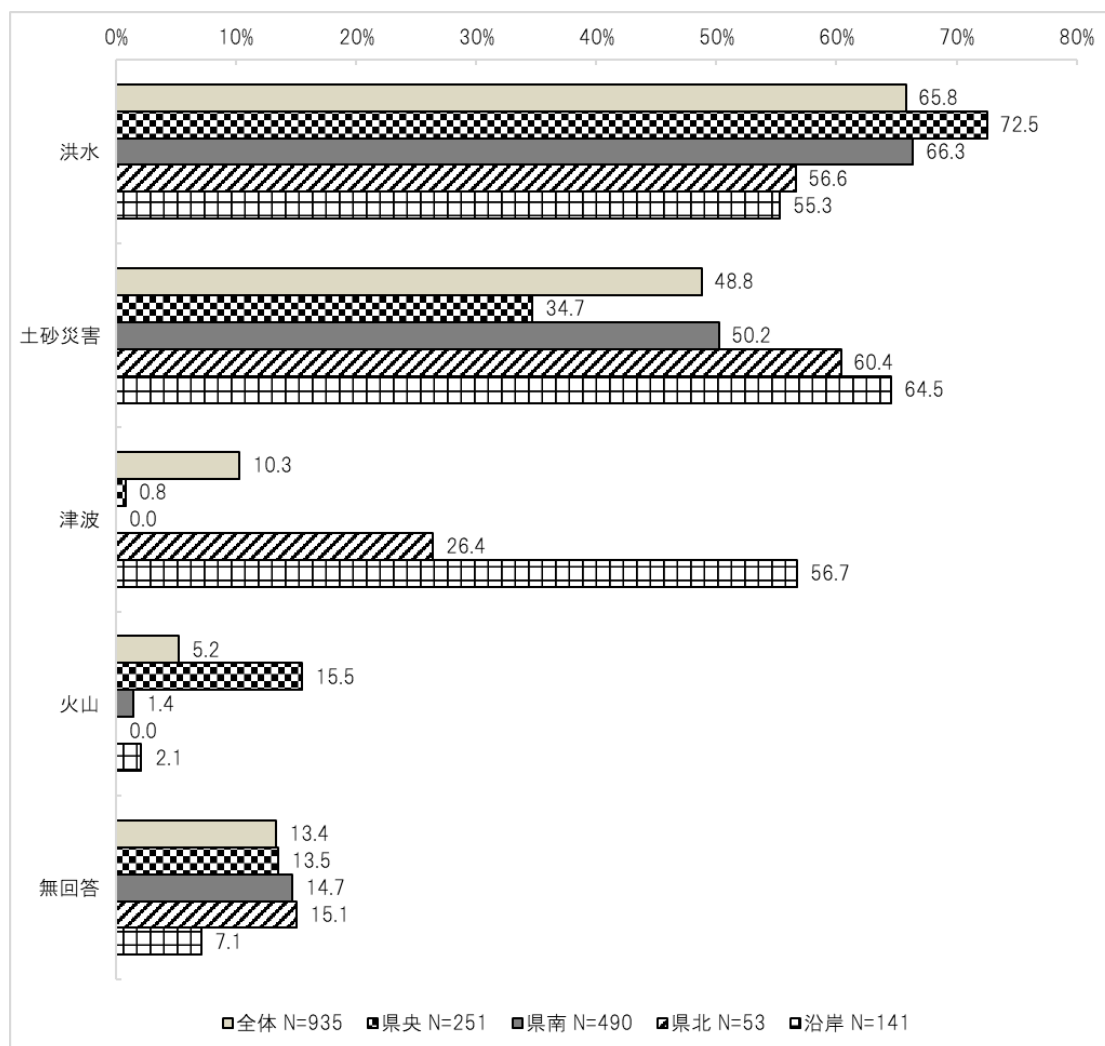


※2017年度は、「指定福祉避難所」と「地域で独自に決めた避難を見込める施設」は含まない

【経年比較】

「指定緊急避難場所」が40.2ポイントと大幅に増加した一方で、「指定一般避難所」は17.1ポイントと大幅に減少しています。

問 17-1 (ア) .指定緊急避難場所で想定している災害



【全 体】

「洪水」が最も多く 65.8%となっています。次いで「土砂災害」48.8%、「津波」10.3%、「火山」5.2%の順に続いています。

【地 域 別】

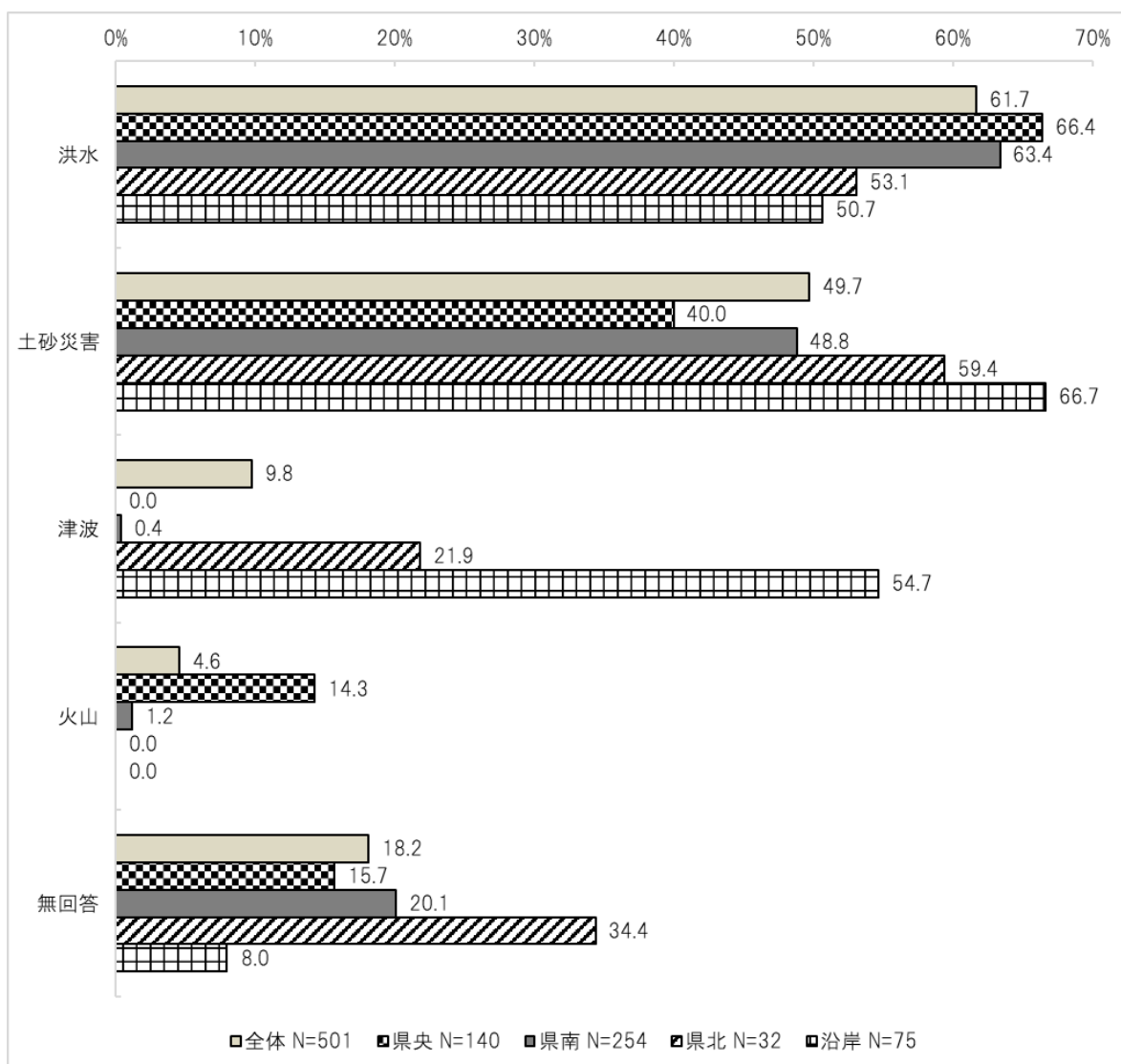
「洪水」の回答が県央と県南では6割から7割を占めているのに対して、県北沿岸では5割台にとどまっています。

一方、「土砂災害」の回答が県北と沿岸は6割に及ぶのに対して、県南で5割、県央では34.7%と5割にも及んでいません。

「津波」の回答は沿岸部では56.7%と過半数を超えるほか、県北でも26.4%となっています。

「火山」の回答は主な影響が考えられる県央で15.5%となっています。

問 17-1 (イ) .指定一般避難所で想定している災害



【全 体】

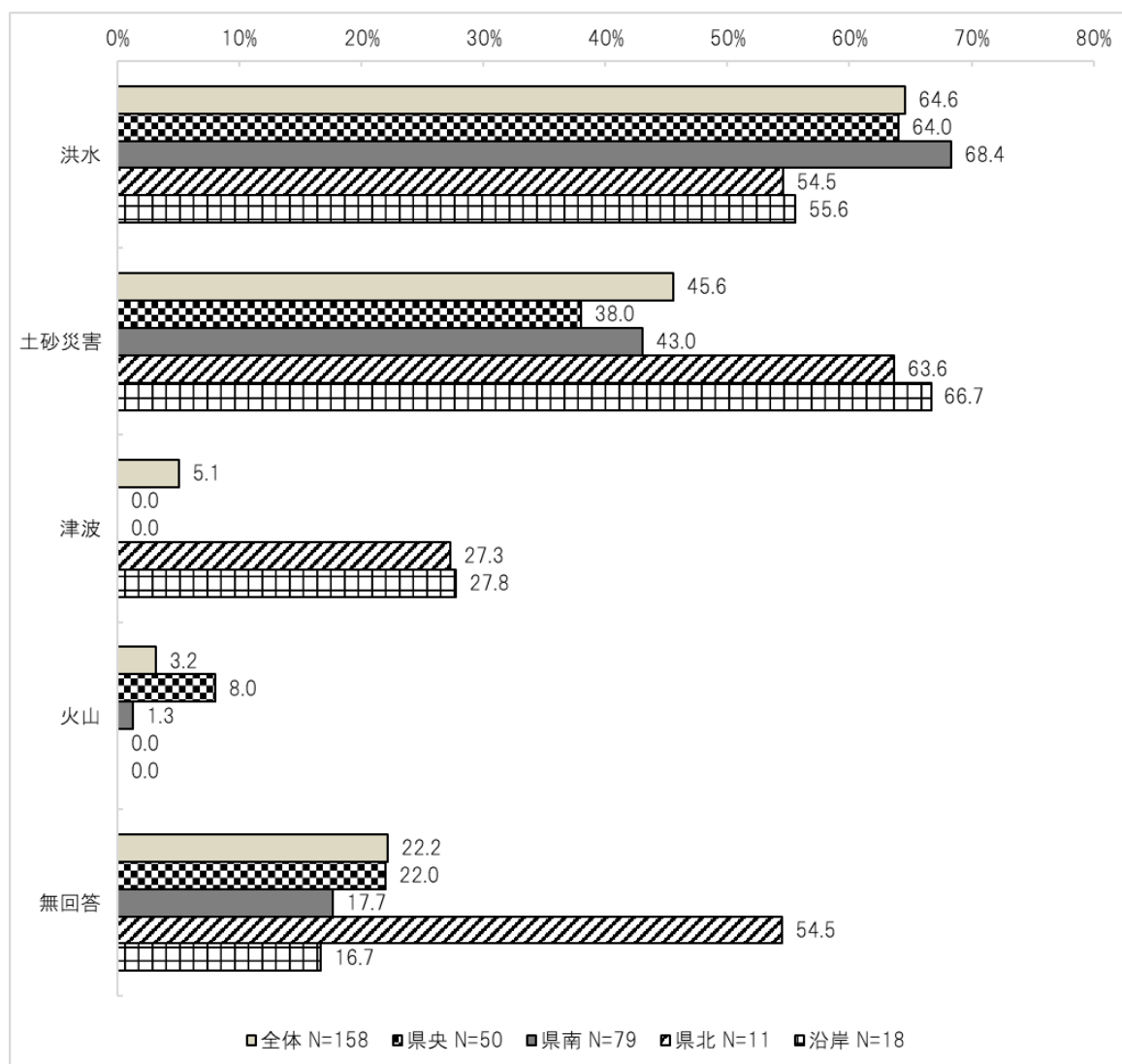
「洪水」が最も多く 61.7%となっています。次いで「土砂災害」49.7%、「津波」9.8%、「火山」4.6%の順に続いています。

【地 域 別】

「洪水」の回答が県央と県南では6割を占めているのに対して、県北沿岸では5割台にとどまっています。一方、「土砂災害」の回答が県北と沿岸で6割程度なのに対して、県南で48.8%、県央で40.0%といずれも5割に及んでいません。

「津波」は沿岸部で54.7%と過半数を超えるほか、県北でも21.9%と2割程度の回答が見られます。「火山」の回答は主な影響が考えられる県央で14.3%となっています。

問 17-1 (ウ) .指定福祉避難所で想定している災害



【全 体】

「洪水」が最も多く 64.6%となっています。次いで「土砂災害」45.6%、「津波」5.1%、「火山」3.2%の順に続いています。

【地 域 別】

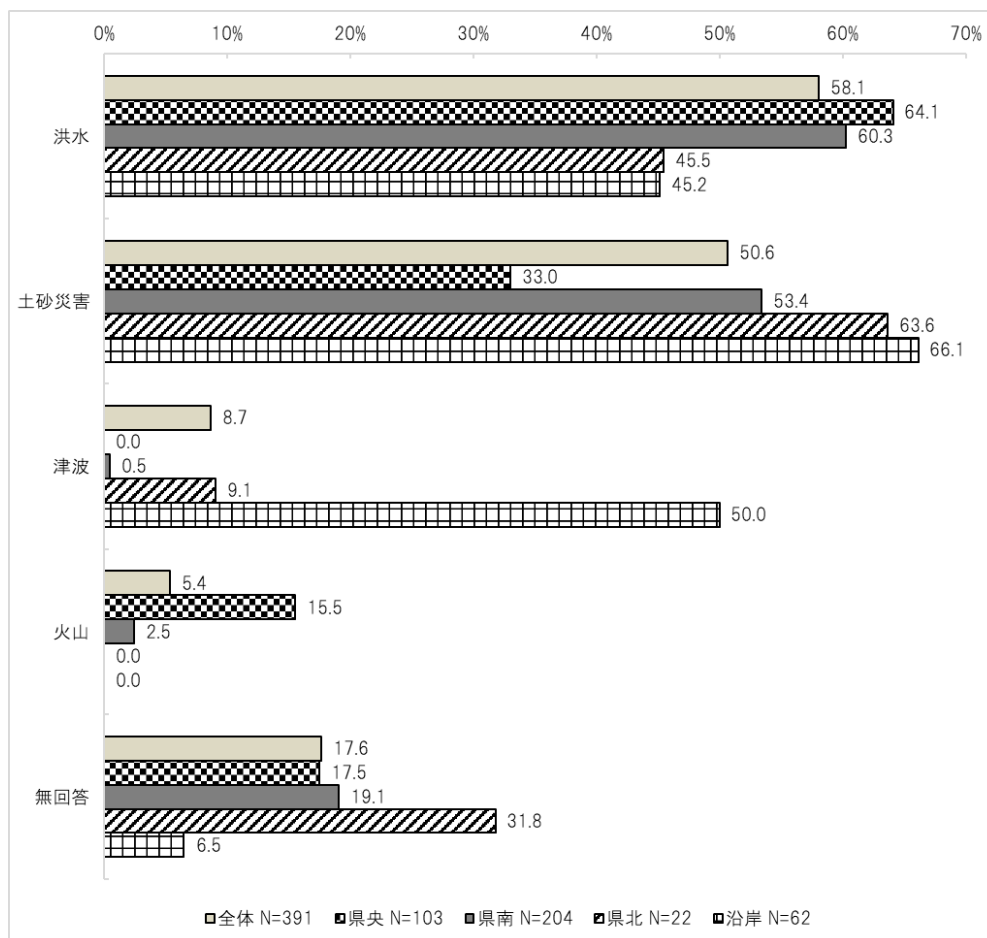
「洪水」の回答が県央と県南では6から約7割を占めるのに対して、県北沿岸では5割台にとどまっています。

一方、「土砂災害」の回答が県北と沿岸で6割台なのに対して、県南で43.0%、県央では38.0%といずれも約4割にとどまっています。

「津波」は沿岸部27.8%、県北27.3%とともに3割程度の回答が見られます。

「火山」の回答は主な影響が考えられる県央で8.0%となっています。

問 17-1 (エ) .地域で独自に決めた避難を見込める施設で想定している災害



【全 体】

「洪水」が最も多く 58.1%となっています。次いで「土砂災害」50.6%、「津波」8.7%、「火山」5.4%の順に続いています。

【地 域 別】

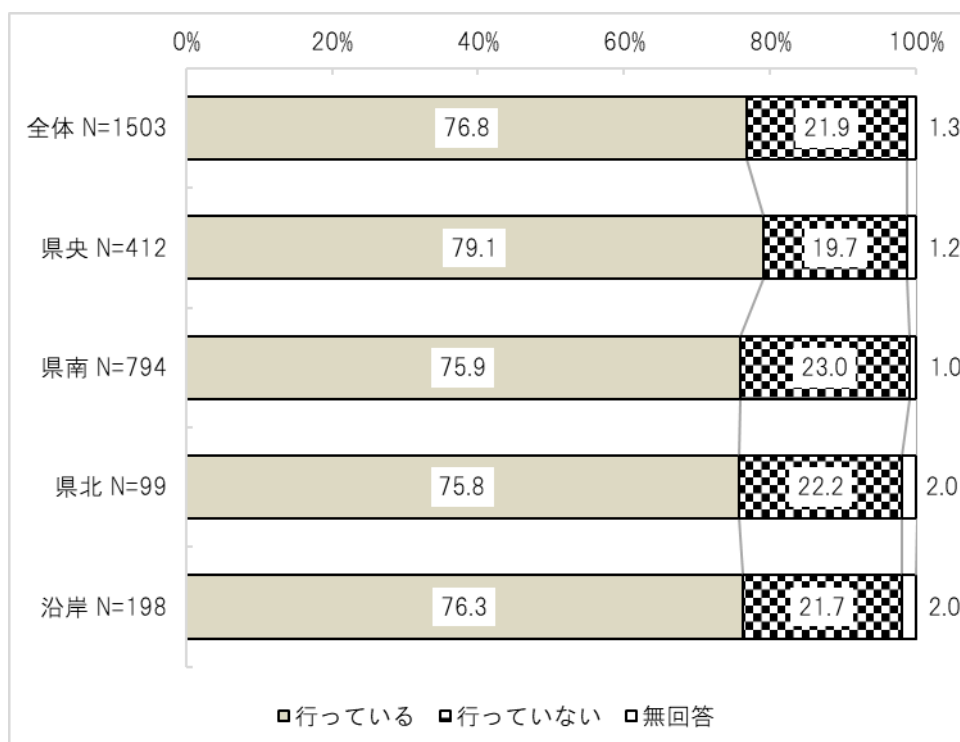
「洪水」の回答が県央と県南では6割を占めるのに対して県北沿岸は4割台にとどまっています。

「土砂災害」の回答は県北と沿岸で6割台に及び、県南でも53.4%となっています。県央では33.0%と3割台にとどまっています。

「津波」は沿岸部で50.0%の回答が見られます。

「火山」の回答は主な影響が考えられる県央で15.5%となっています。

問 18-1.あなたの自主防災組織は、防災に関する研修や訓練を行っていますか。

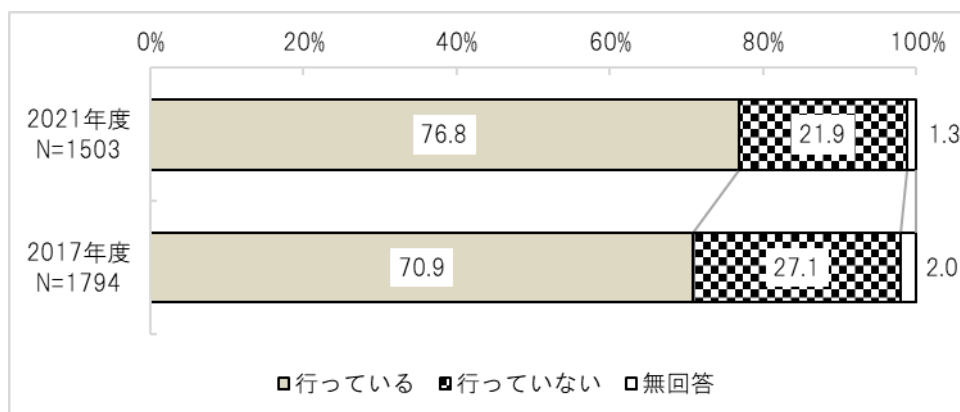


【全 体】

「行っている」が76.8%、「行っていない」が21.9%となっている。

【地 域 別】

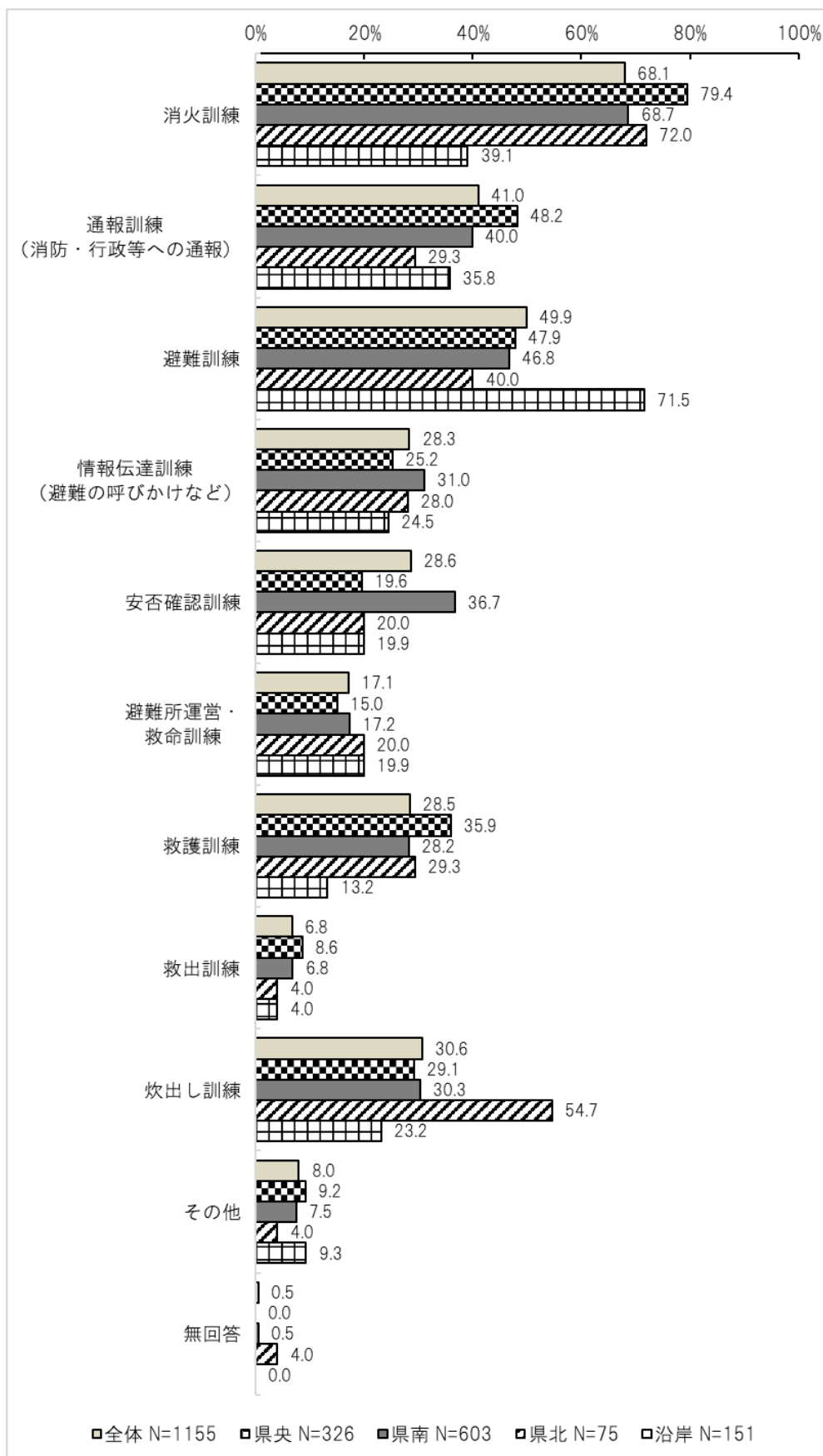
県央で「行っている」の回答が79.1%と8割に迫っており、他の地域も75%以上を占めています。



【経 年 比 較】

研修や訓練を「行っている」の回答は76.8%と、前回は5.9ポイント上回っています。

問 18-1-1.行っている訓練の内容



【全 体】

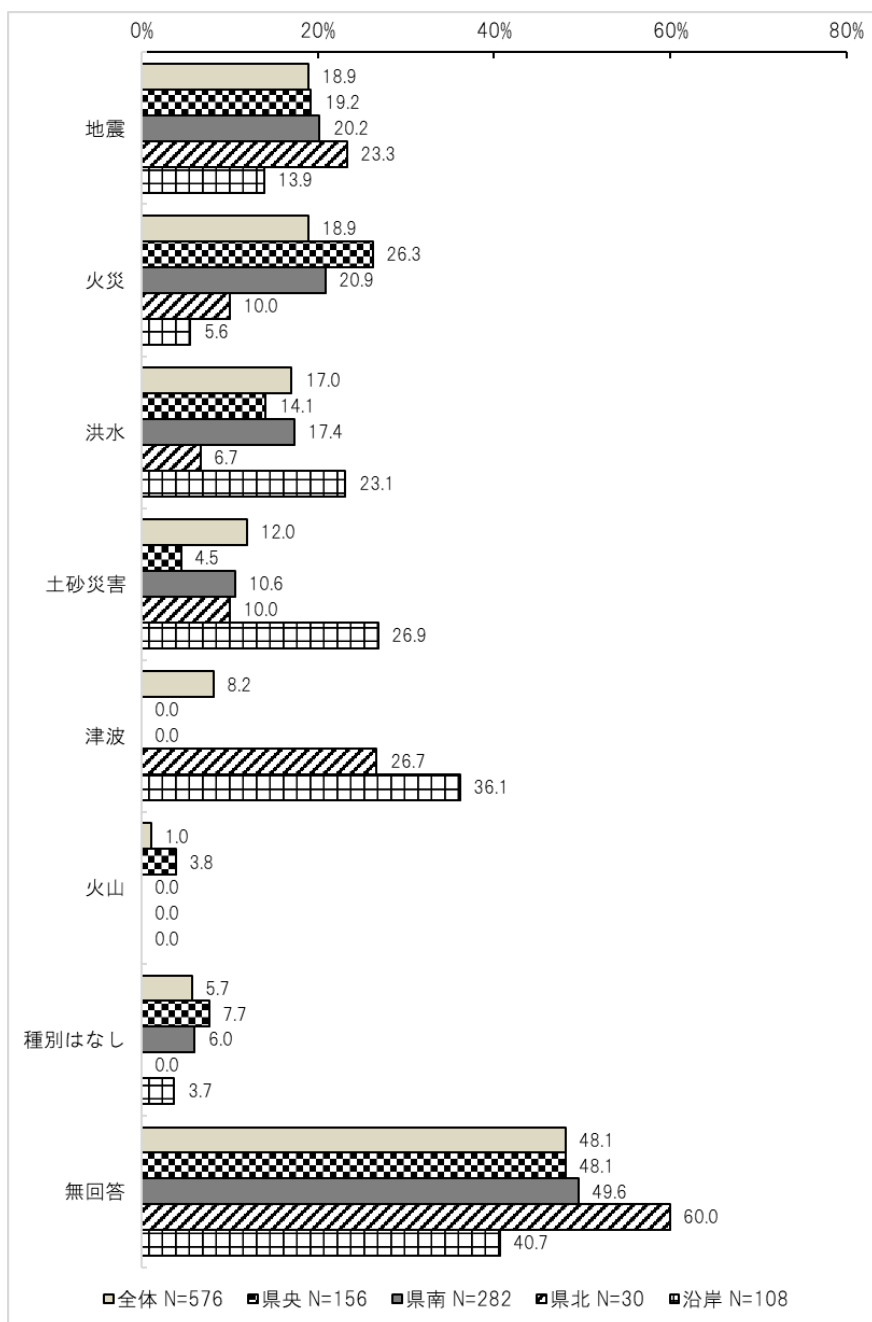
「消火訓練」が最も多く 68.1%となっています。次いで「避難訓練」49.9%、「通報訓練」41.0%、「炊出し訓練」30.6%の順に続いています。

【地 域 別】

県央、県南、県北では「消火訓練」が6～7割で最も高い回答率となっているのに対して、沿岸では避難訓練が71.5%と最も高い回答率を示しています。

そのほか、県北での「炊出し訓練」の54.7%は他地域より24ポイント以上、県南の「安否確認訓練」36.7%は他地域より16ポイント以上高い回答率となっています。

問 18-1-2.避難訓練で想定する災害 (3.「避難訓練」を選択：n=576)



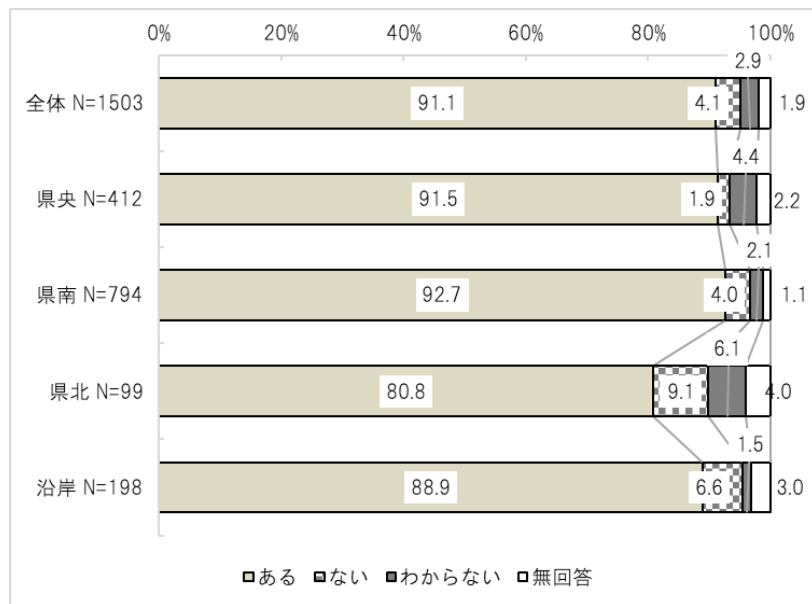
【全 体】

「地震」と「火災」が最も多く 18.9%となっています。次いで「洪水」18.9%、「土砂災害」12.0%と続いており、「津波」と「火山」は1割にも満たない回答率となっています。

【地 域 別】

県央では「火災」が 26.3%、県南では「地震」が 20.2%、県北と沿岸では「津波」が 2～3割を占め、それぞれ地域別で最も高い回答率の災害にばらつきが見られました。

問 19-1.あなたの自主防災組織には、市町村から配布されたハザードマップがありますか。



【全 体】

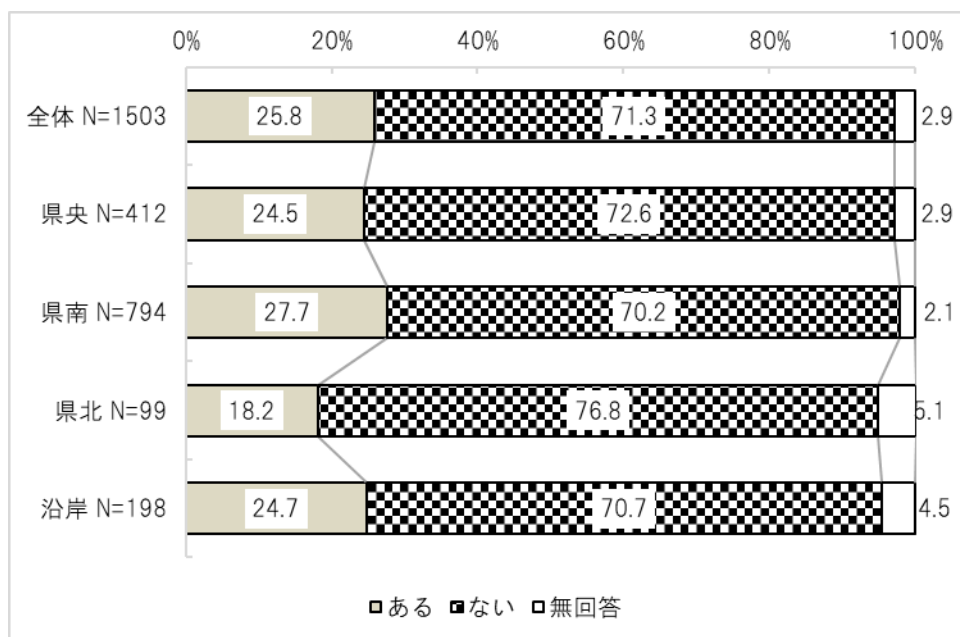
「ある」が91.1%、「ない」が4.1%、「わからない」が2.9%となっています。

【地 域 別】

県央、県南、沿岸では「ある」の回答が約9割であるのに対して、県北では80.8%にとどまっています。最も回答率の高い県南の92.7%とでは、11.9ポイントの差が見られます。

また、県北では「ない」との回答が9.1%あり、約1割を占めています。

問 19-2.あなたの自主防災組織では、地域で作成したオリジナルの防災マップがありますか。

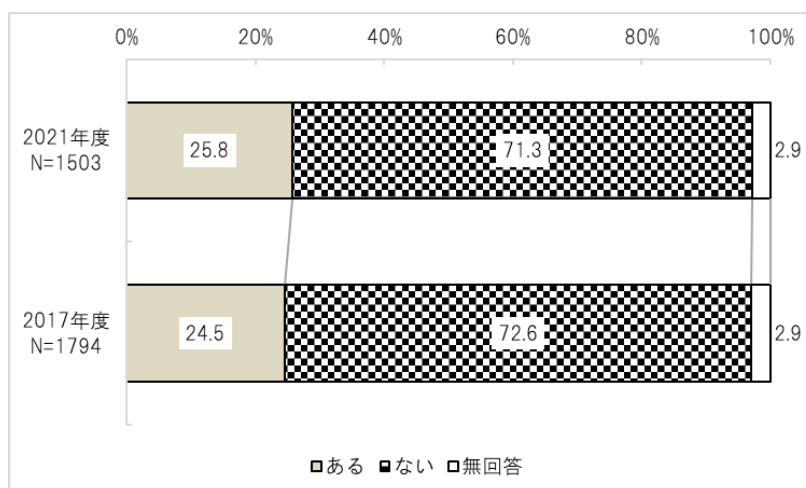


【全 体】

「ある」が25.8%、「ない」が71.3%となっています。

【地 域 別】

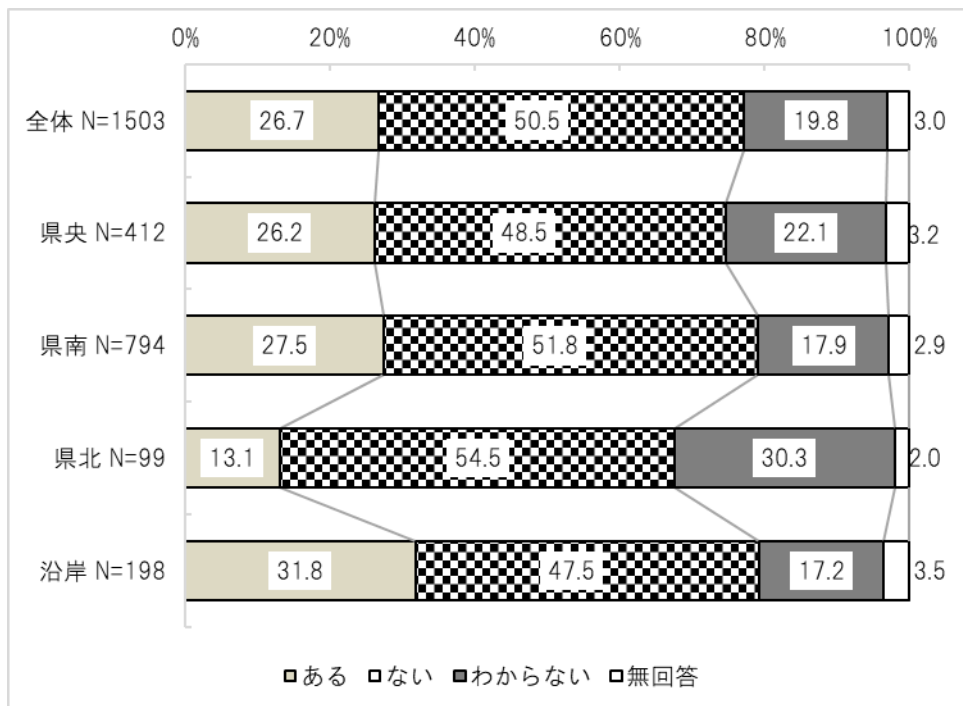
県南で「ある」の回答率が最も高く27.7%となっていて、次いで、沿岸の24.7%、県央の24.5%と続いています。県北では18.2%と最も低く、県南の回答率とでは11.5ポイントの差が見られます。



【経 年 比 較】

「ある」との回答率が、2021年度には1.3ポイント増加しています。

問 20-1.あなたの自主防災組織で想定している避難所には、避難所運営マニュアルがありますか。



※2017年度は、「わからない」は含まない

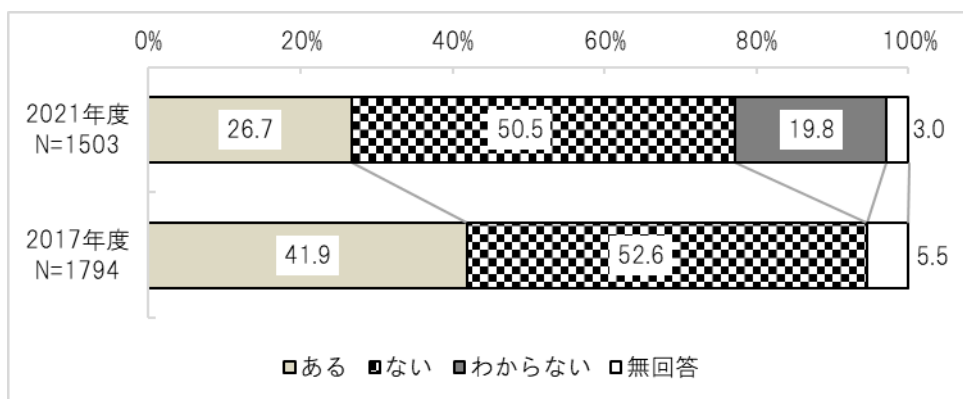
【全 体】

「ある」が26.7%、「ない」が50.5%、「わからない」が19.8%となっています。

【地 域 別】

県央、県南、沿岸では「ある」の回答率が2～3割であるのに対して、県北では13.1%にとどまっています。最も回答率の高い沿岸の31.8%とでは、18.7ポイントの差が見られます。

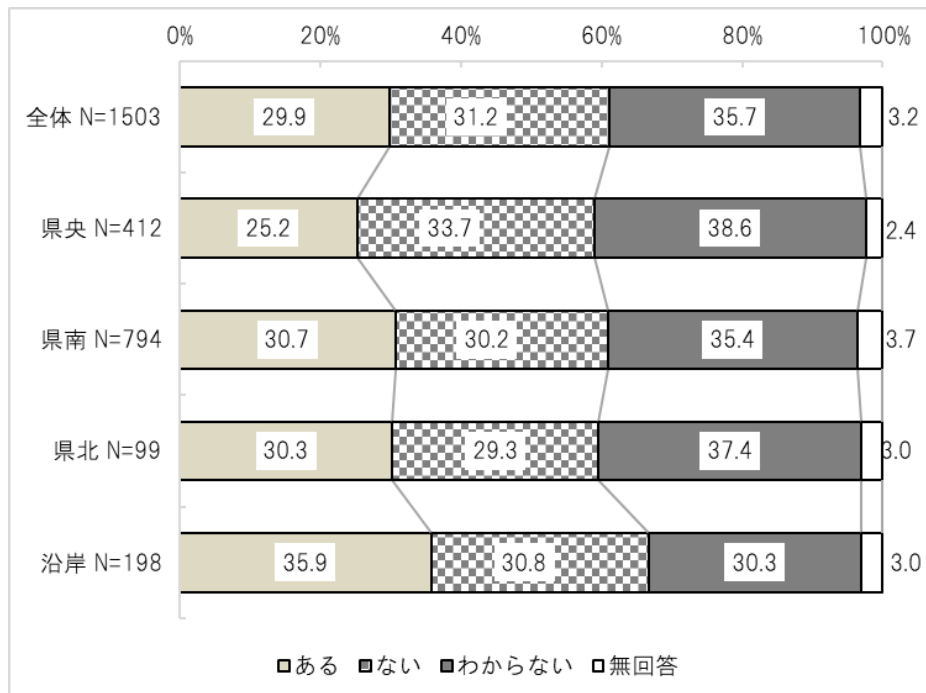
また、県北では「わからない」との回答が30.3%あり、唯一3割を超えています。



【経 年 比 較】

「ある」との回答率が、前回よりも15.2ポイントと大幅に減少しています。

問 20-2.あなたの自主防災組織で想定している避難所の運営に協力してくれる
団体等がありますか。



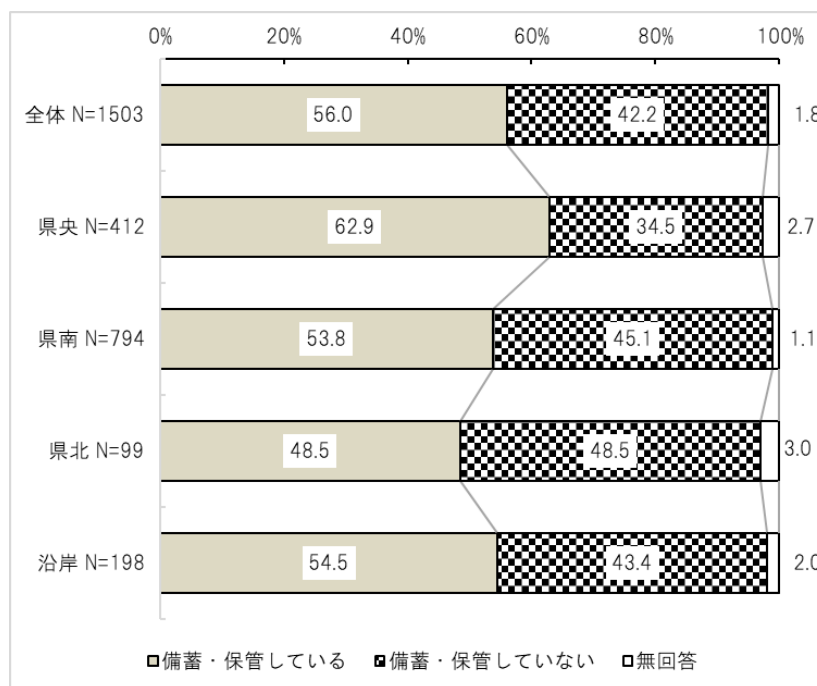
【全 体】

「ある」が29.9%、「ない」が31.2%、「わからない」が35.7%となっています。

【地 域 別】

県南、県北、沿岸では「ある」の回答率が3割を超えるのに対して、県央では唯一25.2%と2割台にとどまっています。最も回答率の高い沿岸の35.9%とでは、10.7ポイントの差が見られます。

問 21.あなたの自主防災組織は、防災用資機材など（ジャッキ・バール、非常食など）を備蓄・保管していますか。

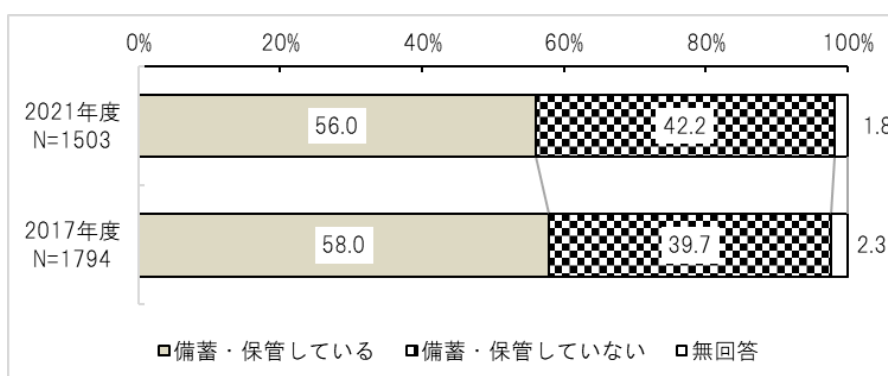


【全 体】

「備蓄・保管している」が56.0%、「備蓄・保管していない」が42.2%となっています。

【地 域 別】

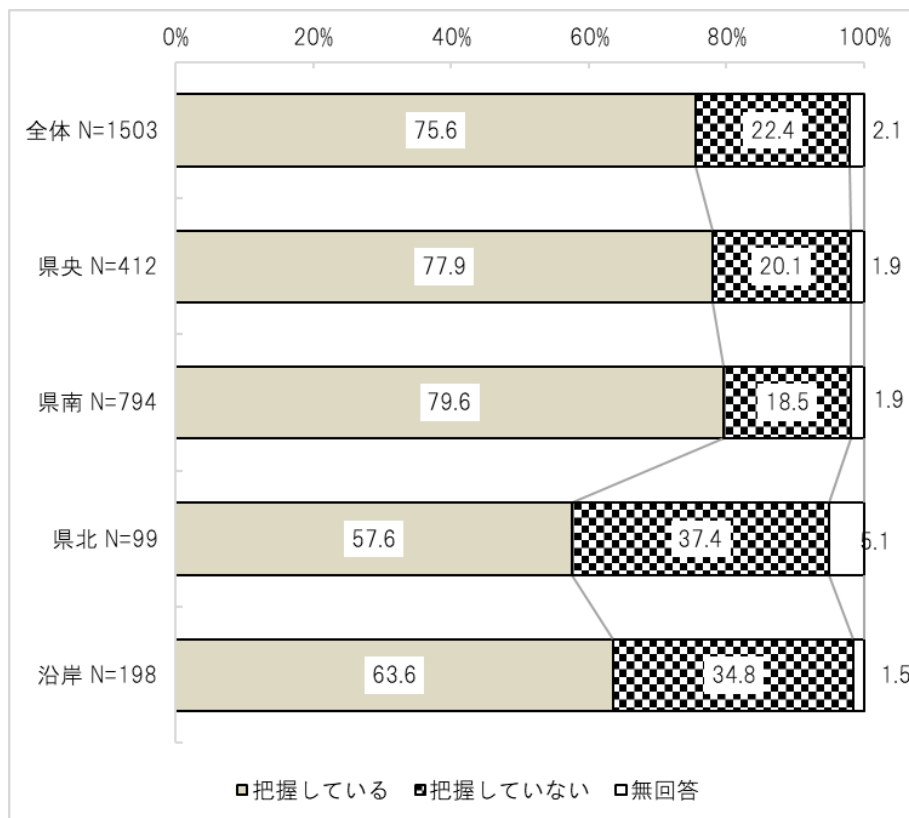
県央で「備蓄・保管している」の回答率が最も高く62.9%となっています。次いで、沿岸で54.5%、県南で53.8%と続き、最も低い県北では48.5%にとどまります。県央と県北では「備蓄・保管している」の回答率に14.4ポイントの差が見られます。



【経 年 比 較】

2021年度に「備蓄・保管している」が2ポイント減少し、「備蓄・保管していない」が2.5ポイント増加しています。

問 22-1.あなたの自主防災組織では、避難行動要支援者を把握していますか。



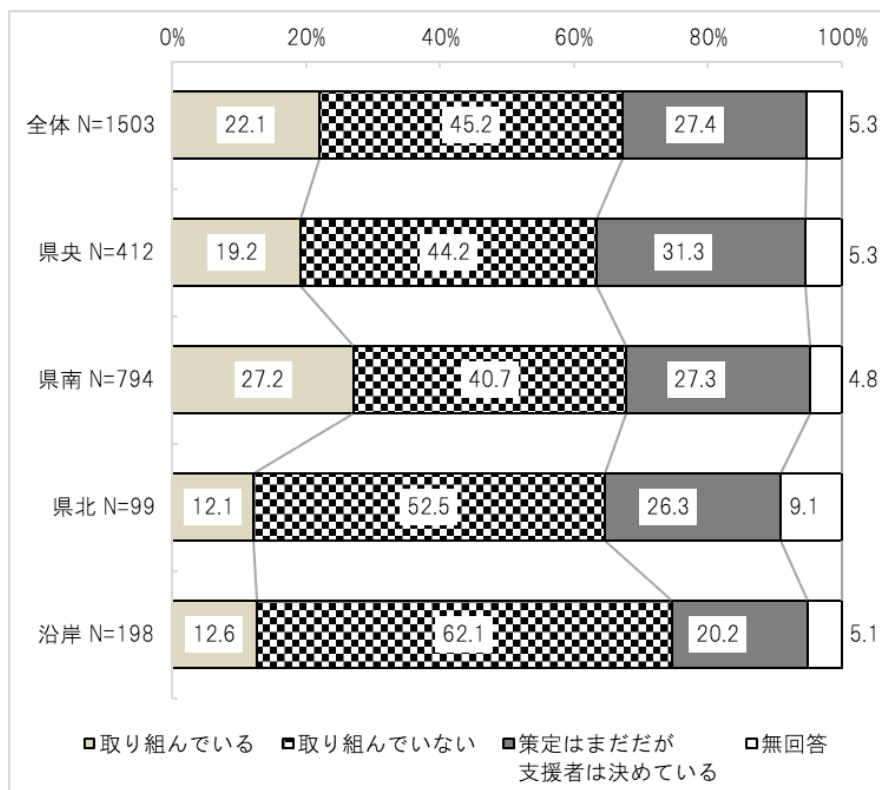
【全 体】

「把握している」が75.6%、「把握していない」が22.4%となっています。

【地 域 別】

県央、県南では「把握している」の回答率が8割に迫っているものの、沿岸では63.6%、県北では57.6%と6割前後となっています。最も高い県南の回答率79.6%と県北の回答率とでは22ポイントの差が見られます。

問 22-2.あなたの自主防災組織では、避難行動要支援者に係る個別避難計画の策定に取り組んでいますか。



【全 体】

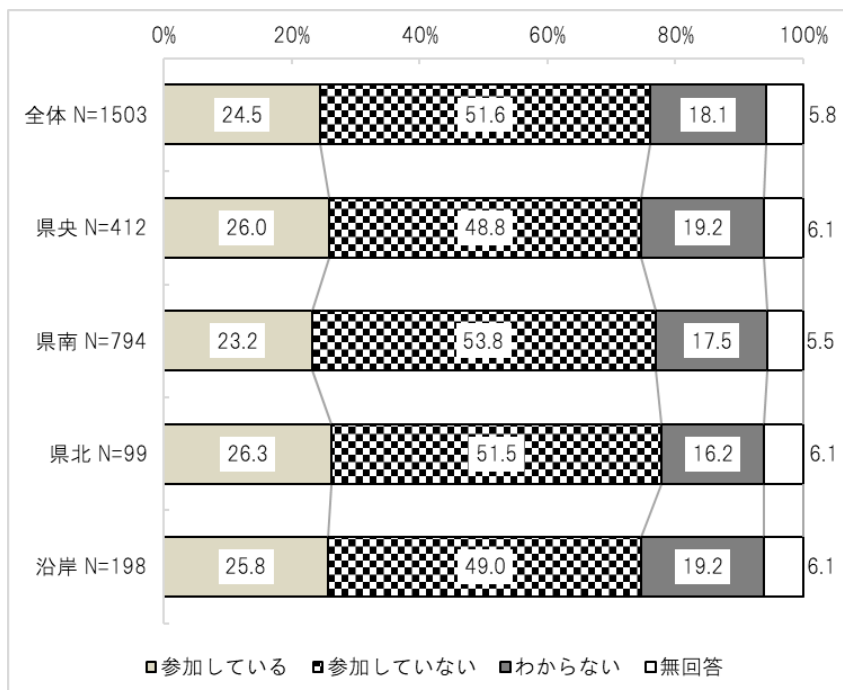
「取り組んでいる」が22.1%、「取り組んでいない」が45.2%、「策定はまだだが、支援者は決めている」が27.4%となっています。「取り組んでいる」と「策定はまだだが、支援者は決めている」を合わせると約5割の回答率になります。

【地 域 別】

県央、県南では「取り組んでいる」の回答率が2～3割であるが、県北、沿岸ではそれぞれ約12%と1割程度となっています。最も高い県南の回答率27.2%と県北の回答率とでは25.1ポイントの差が見られます。

「取り組んでいる」と「策定はまだだが、支援者は決めている」を合わせた場合でも県南では54.5%に上るのに対し、沿岸では32.8%にとどまり、その差は21.7%になります。

問 23-1.あなたの自主防災組織が実施または参加する避難訓練、防災訓練に避難行動要支援者は参加していますか。

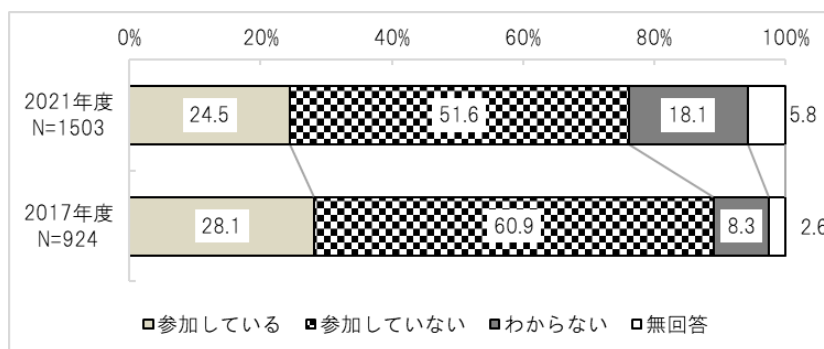


【全 体】

「参加している」が24.5%、「参加していない」が51.6%、「わからない」が18.1%となっています。

【地 域 別】

地域別で大きな差異は見られません。



【経 年 比 較】

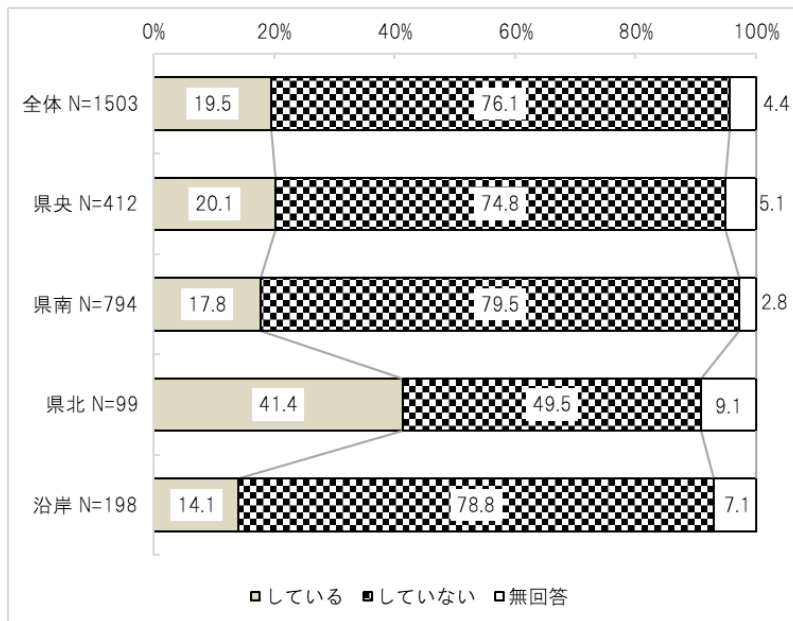
「参加している」が3.6ポイント、「参加していない」が9.3ポイントの減少、「わからない」が9.8ポイントの増加となっています。

問 23-2.避難行動要支援者の訓練参加に支障となっている事項はありますか。

<主な理由>

- ・ 要支援者が行動できる環境が整っていない
- ・ 支援者がいない
- ・ 対象者自身の身体的負担が大きい
- ・ 要支援者の移動手段の確保
- ・ 要支援者と支援者のマッチングができていない
- ・ 必要性を感じるが実施まで行なえていない
- ・ 要支援者の意思確認が困難
- ・ 要支援者情報の取扱いが難しい
- ・ 支援者に意欲がない
- ・ 訓練の主項目にあたらなため
- ・ 要支援者自身の意向により訓練に不参加
- ・ 要支援者情報を共有している人員が少なく、実質的に手が回らない。
- ・ 避難訓練自体を行っていない
- ・ 訓練、防災に対する意識が薄い

問 24-1.あなたの自主防災組織は、自主防災組織が行う活動への参加者を増やす取り組みをしていますか。

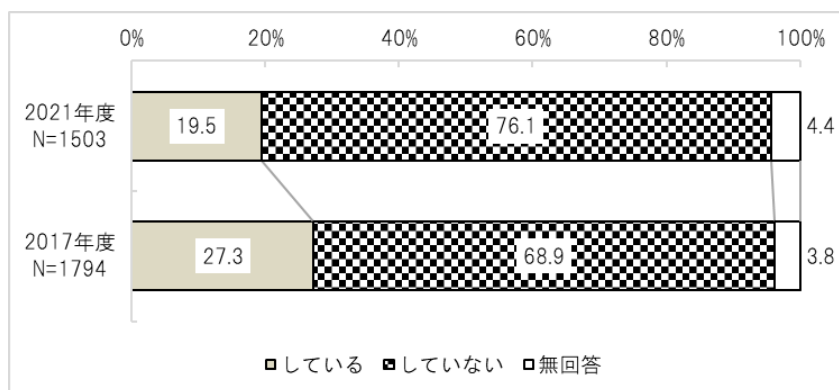


【全 体】

参加者増加の取組みについて「している」が19.5%、「していない」が76.1%となっています。

【地 域 別】

県北地域において「している」が41.4%と最も多く、最も少ない沿岸との差が27.3ポイントとなっています。



【経 年 比 較】

「している」が7.8ポイントの減少、「していない」が7.2ポイントの増加となっています。

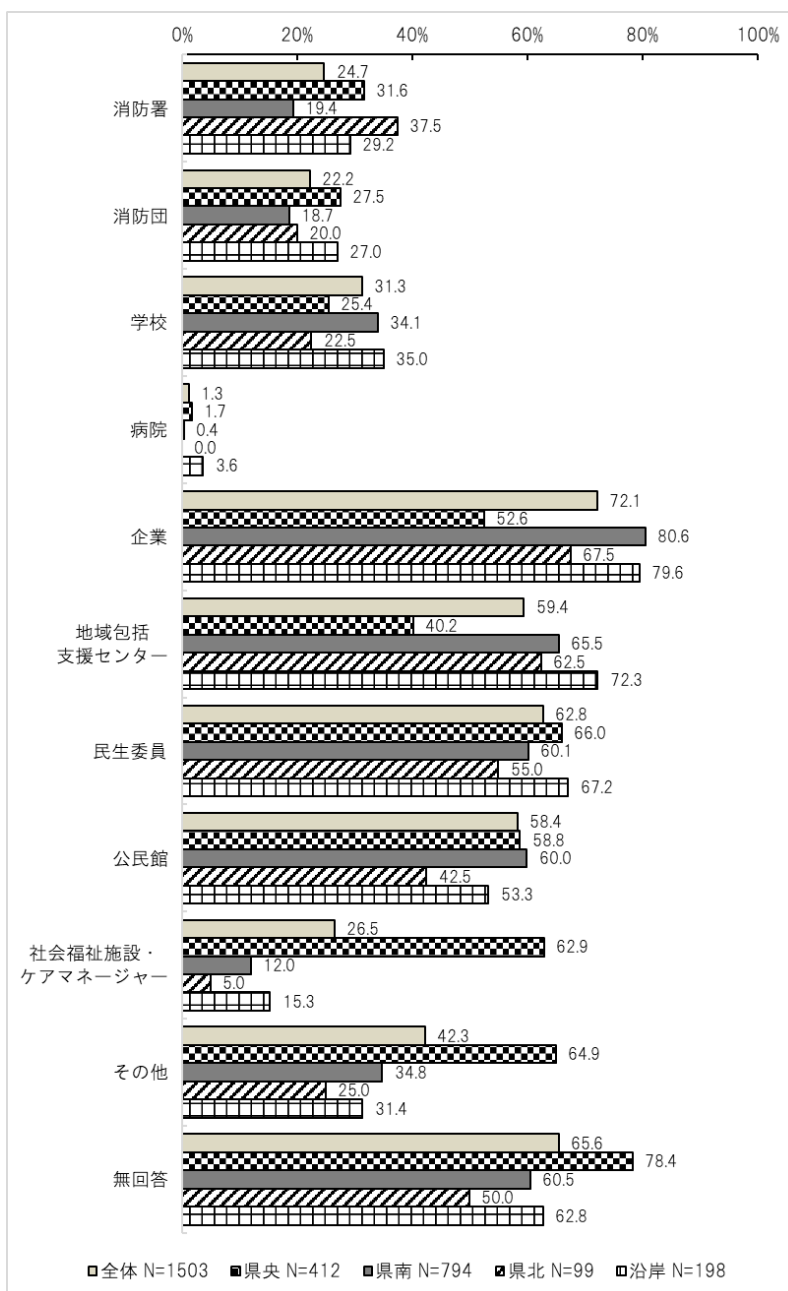
問 24-2.どのような取組をしていますか。その取組を具体的に記入してください。

<主な取組み>

- ・自治会だよりなどでの周知
- ・定期的な避難訓練の実施
- ・班長を介したお願い
- ・他の行事と組み合わせて防災行事を行う
- ・レクリエーションを組み合わせた防災行事
- ・対象者の層を考慮した内容での参加呼びかけ
- ・老人クラブ、子ども会等への呼びかけ
- ・自治会会合での呼びかけ
- ・他機関の防災研修等を受講してもらう
- ・PTA と協働した行事の計画、実施
- ・地域の学校への呼びかけと行事参加のお願い

問 25.あなたの自主防災組織は、地域の組織と協力関係を作っていますか。

(協力関係あり)



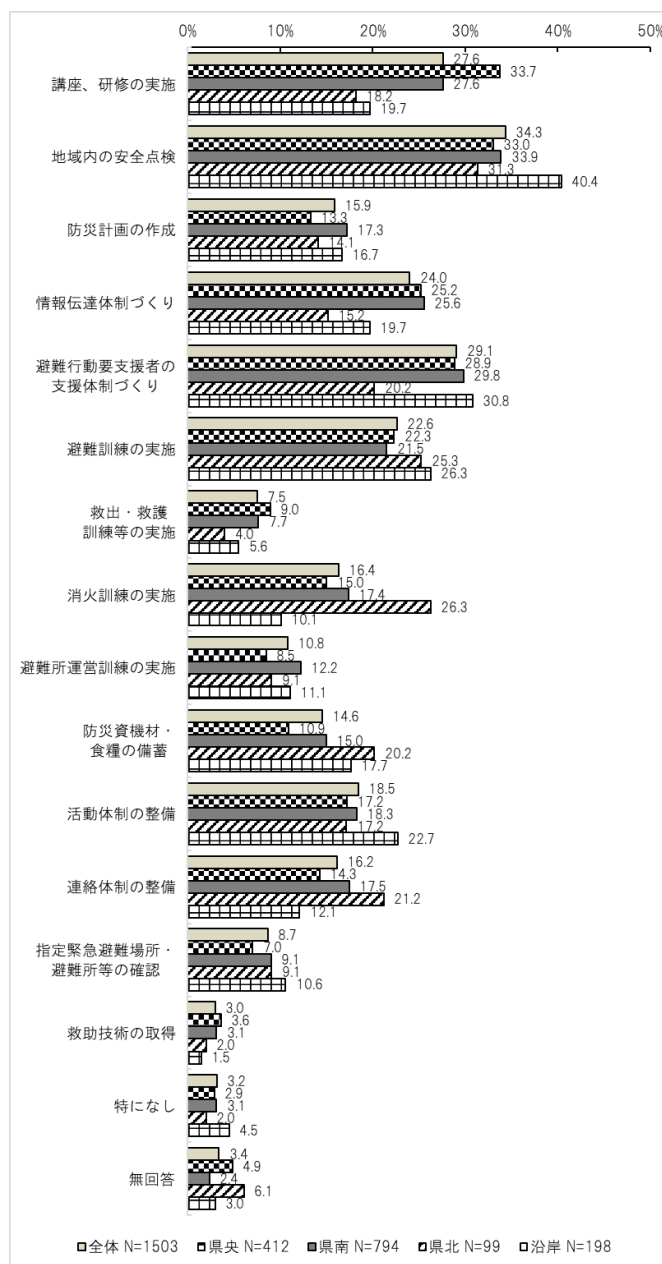
【全 体】

「企業」が最も多く 72.1%となっています。次いで「民生委員」62.8%、「地域包括支援センター」59.4%、「公民館」58.4%の順に続いています。

【地 域 別】

県南、県北、沿岸では全体と同様、「企業」が7～8割で最も高い回答率となっているのに対して、県央では「民生委員」が66.0%と最も高くなっています。県南、県北、沿岸では次いで「地域包括支援センター」が6～7割で続かなかで、県央では社会福祉施設・ケアマネージャーが62.9%で続いており、県央と他地域で協力関係先の団体に違いがみられます。

問 26.あなたの自主防災組織で優先すべきだと考える活動。(平常時の取り組み)



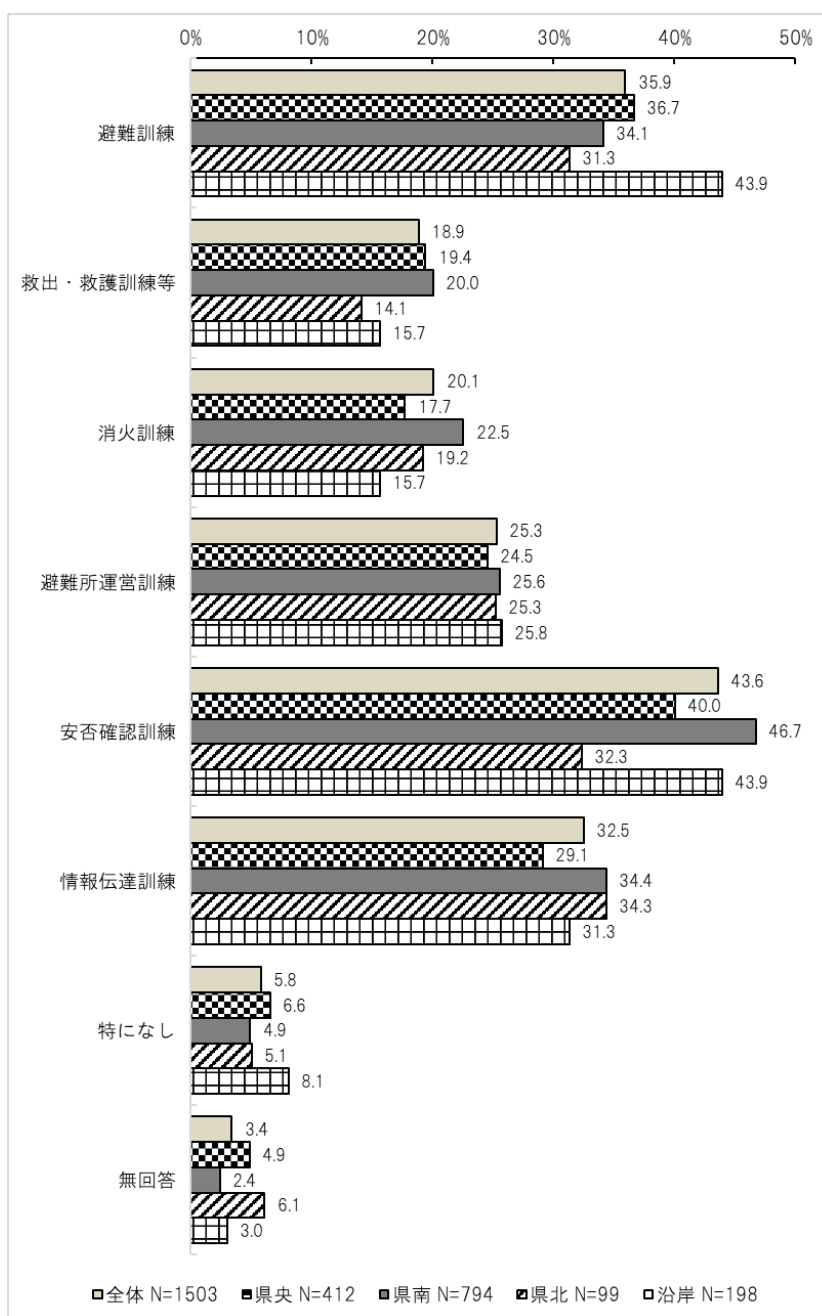
【全 体】

「地域内の安全点検」が最も多く 34.3%となっています。次いで「避難行動要支援者の支援体制づくり」29.1%、「講座・研修の実施」27.6%の順に続いています。

【地 域 別】

いずれの地域も「地域内の安全点検」の回答率は高く、沿岸では特に高く唯一 40%を超えています。「避難行動要支援者の支援体制づくり」も回答率が高いものの県北では他の地域よりも 10 ポイント程度低い回答率となっています。「講座、研修の実施」は県央が最も高い回答率で 33.7%となっており、一方で、県北、沿岸は 20%に満たない回答率となっています。

問 26.あなたの自主防災組織で優先すべきだと考える活動。(発災時向け取り組み)



【全 体】

「安否確認訓練」が最も多く 43.6%となっています。次いで「避難訓練」35.9%、「情報伝達訓練」32.5%の順に続いています。

【地 域 別】

地域別でも「安否確認訓練」の回答率が高く、県北地域を除いて 40%を超えています。次いで、県央と沿岸では「避難訓練」の回答率が高く、県央では 36.7%、沿岸では 43.9%となっています。一方、県南と県北は「情報伝達訓練」の回答率が高く約 34%となっています。

3 課題や県・市町村への要望等について

問 27.あなたの自主防災組織が抱えている組織上の課題。

主なもの

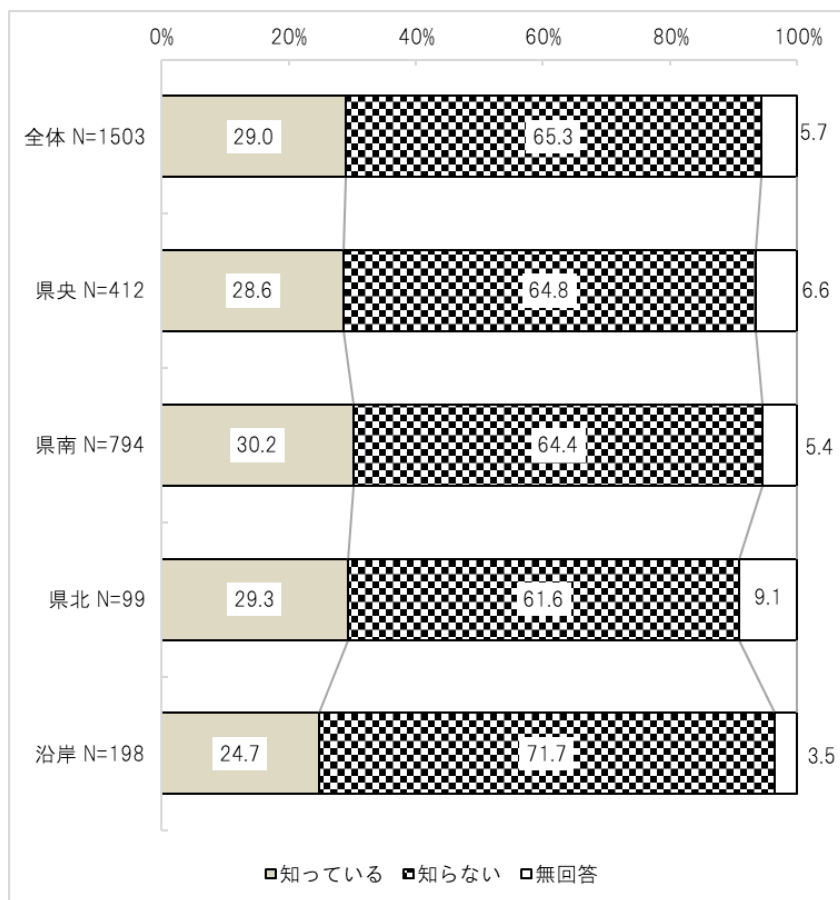
- ・ 組織役員の高齢化が進んでいる（マンパワー不足）
- ・ 組織はしているが、実働していない
- ・ 役員の兼務で、組織として成り立たない
- ・ 日中、就業時間内の災害が発生した場合、活動が難しい
- ・ 若年層の参加が少ない
- ・ 新しい役員を見つけることが困難（特定の人しか活動しない）
- ・ 担当者の負担が過重になること
- ・ コロナ禍などで引継ぎが十分に行えない
- ・ 新・旧住民の考え方の相違等あり、一致団結した運営が難しくなっている
- ・ 消防後援会組織と似たような活動になっている
- ・ 災害への危機感がない（薄い）
- ・ 1000 世帯を超える組織であり、組織が形骸化している
- ・ 世帯数が多すぎる
- ・ 輪番制でその場しのぎで、（防災に）精通する人材が育たない
- ・ 引継ぎが十分に行われず、活動が途切れたり、停滞したりする
- ・ 役員の任期が短く、スキルアップや問題の把握が図りにくい
- ・ 集合住宅の方々の協力がどこまで得られるか心配
- ・ 著しい過疎・高齢化で自助も共助も不能な状況
- ・ 避難所が遠い
- ・ 災害（水害）時に地域が分断される
- ・ 独居、2人世帯が多く、高齢化が進んでおり支援体制づくりが進まない
- ・ 活動資金がない
- ・ 若年層は、勤労があり防災組織に取り込めない
- ・ 高齢になっても働く人が多く、地区の役員も高齢化している
- ・ 消防団との兼務者が町内会役員にいて統制取れにくい
- ・ 行政の防災本部と災害時の密なコミュニケーションを望む
- ・ 実際の災害時に、地域に残るのは高齢者の役員のみとなる
- ・ 人数が少ない組織なので、自主防災組織の班体制を示されてもできない
- ・ 商店主や勤め人の人が多く、会合の日程調整に苦慮している

問 27.あなたの自主防災組織が抱えている活動上の課題。

主なもの

- ・（地域の）高齢化で活動が困難
- ・集落が離れているので地区住民が集まれるか（心配）
- ・役員に市職員や消防団員が多いことから、有事の際に組織が機能するか心配
- ・職場でも何か訓練を経験していて、地区でも活動して行けたら、企業の協力も必要と思われる
- ・避難所自体危険な場所にある為、どこが安全なのか迷っている
- ・仮に洪水、土砂災害となれば、消防団OB（高齢化）でも困難。自分たちだけでできることは限られる。公助が主になってもらわないと
- ・地域が広すぎる
- ・活動拠点となる施設がない
- ・高齢化率が高く、避難行動に難ありー地域の高・中生とのタイアップが必要
- ・平常時、発生時に何をするのか理解していない
- ・要支援者を高齢者の役員が、助けられるか不安
- ・災害時の避難場所が他の地区と一緒にしている
- ・高齢化が進み、日中活動にあたる人材が不足している
- ・町内会の規模が小さいこともあり、何を行うにも人手の確保が難しい
- ・緊急時はコロナ禍は関係ないが、防災訓練も含め参加者を集めるのに大変
- ・従来からの行事との兼ね合いで、日程や準備等に要する時間の確保が難しい
- ・避難所が被災する不安があり安心して避難ができないために、避難の呼びかけができない
- ・土砂災害（大雨時）の意識はあるが、具体的な活動方法がわからない。情報伝達等
- ・発災時の避難について市が設置する第一次避難所まで遠距離となり、多くの高齢者は到着困難
- ・行政職員及消防団員は組織からはずしておる事から人員がたりない
- ・災害時援護を期待する人しかいない
- ・高齢化により活動の内容が限られてくる。救助、安否確認等になる
- ・各地区、集落の活動は縦串で組織化され実行しているが、横串展開で活動の内容が見える化できるような運営、訓練も必要と考える

問 29-1.県が行っている「岩手県地域防災サポーター制度」を知っていますか。

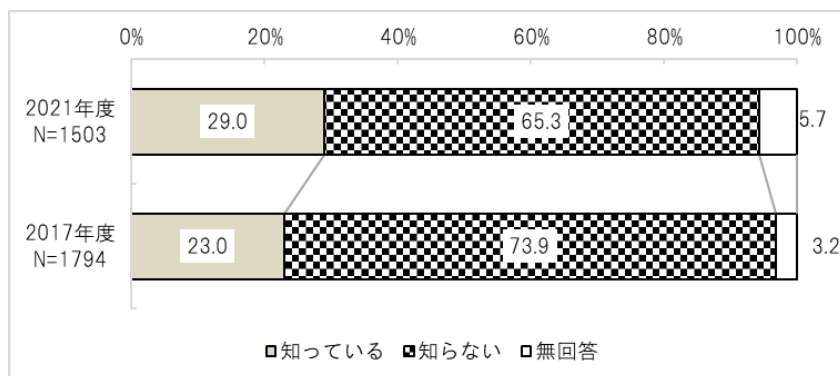


【全 体】

「知っている」が29.0%、「知らない」が63.9%となっています。

【地 域 別】

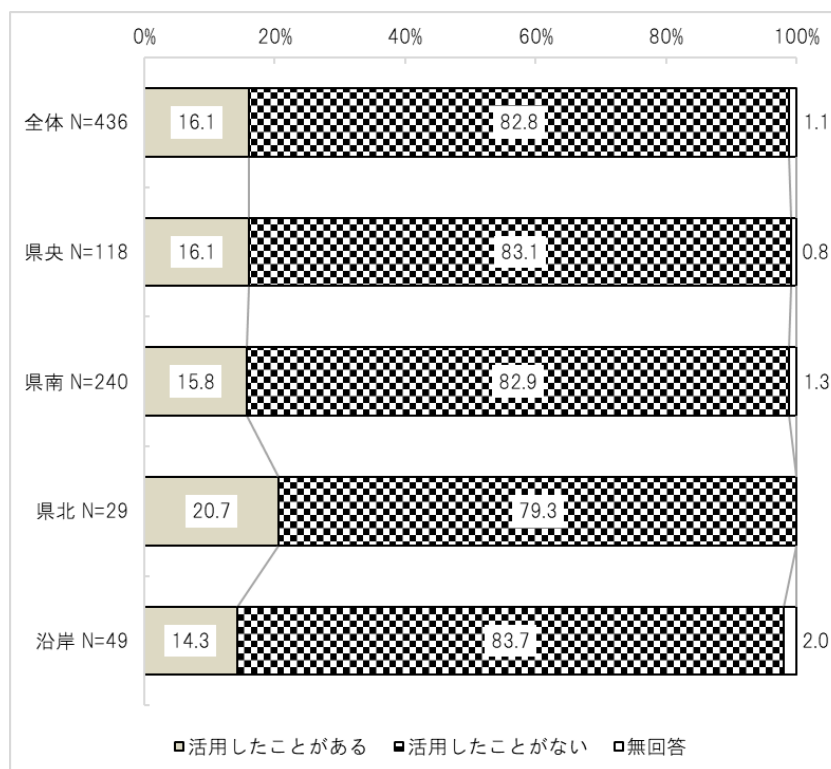
地域別に大きな差は見られません。



【経 年 比 較】

「知っている」が6ポイントの増加、「知らない」が8.6ポイントの減少となっています。

問 29-2.県が行っている「岩手県地域防災サポーター制度」を活用したことがありますか。
 (問 29-1 で「知っている」を選択：n=436)

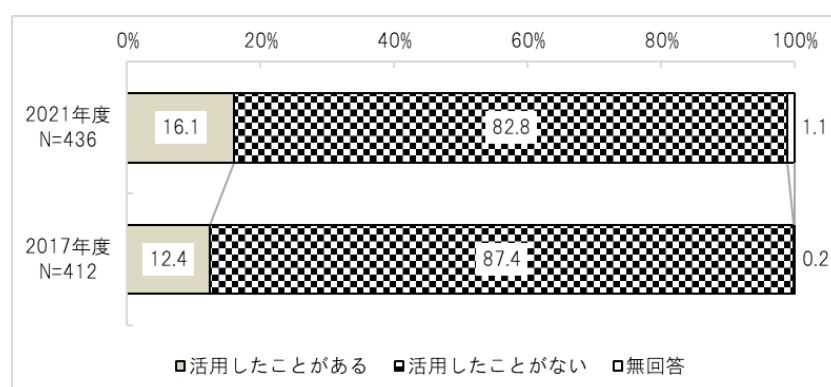


【全 体】

「活用したことがある」が 16.1%、「活用したことがない」が 82.8%となっています。

【地 域 別】

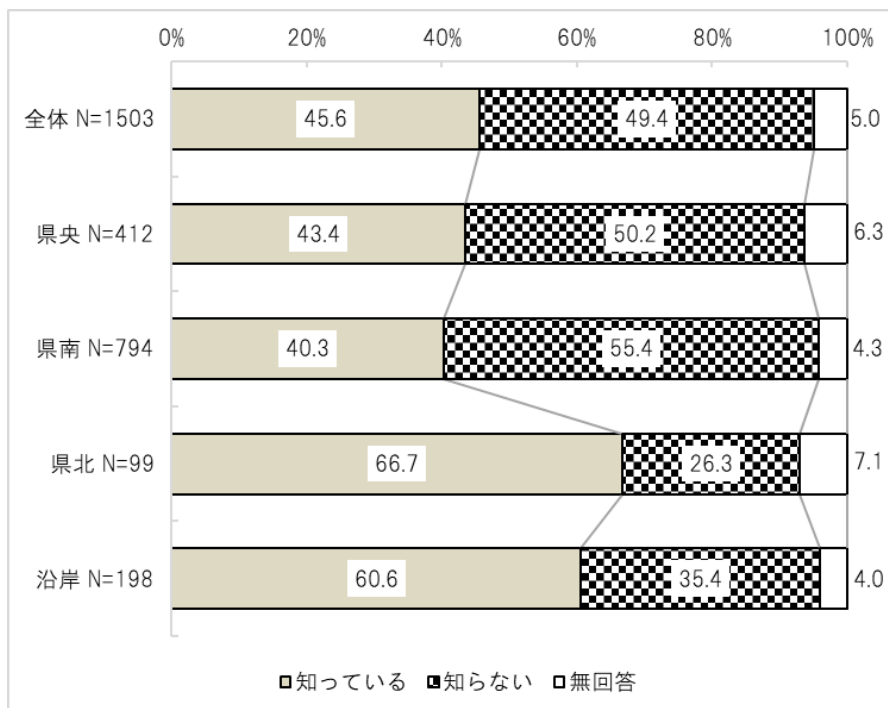
県北のみ「活用したことがある」が 20.7%と、2割台となっています。



【経 年 比 較】

「活用したことがある」が、3.7ポイントの増加、「活用したことがない」が 4.6ポイントの減少となっています。

問 30-1.県が開催している「岩手県自主防災組織リーダー研修会」や「岩手県自主防災組織連絡会議」などを知っていますか。

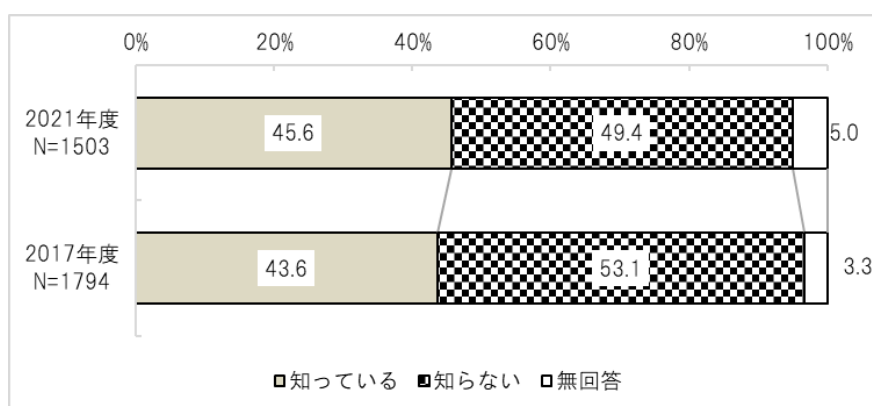


【全 体】

「知っている」が45.6%、「知らない」が49.4%となっています。

【地 域 別】

県央、県南の「知っている」の回答率が4割台にとどまっているのに対して県北、沿岸では6割を超えています。最も回答率の多い県北と最も少ない県南では26.4ポイントの差が見られます。

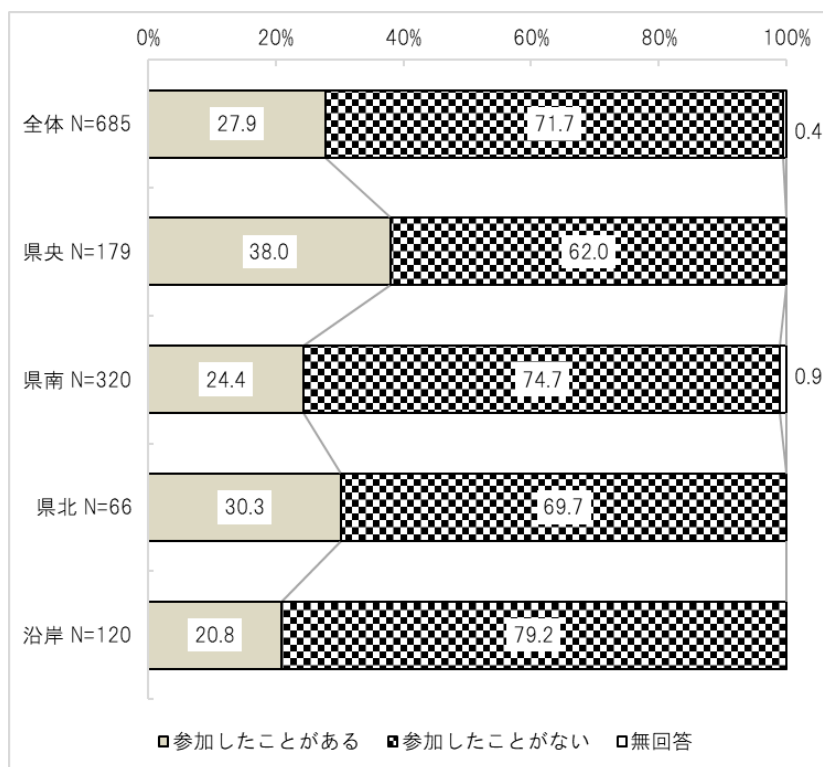


【経 年 比 較】

「知っている」が2ポイントの増加、「知らない」が3.7ポイントの減少となっています。

問 30-2.研修会などに参加したことがありますか。

(問 30-1 で「知っている」を選択：n=685)

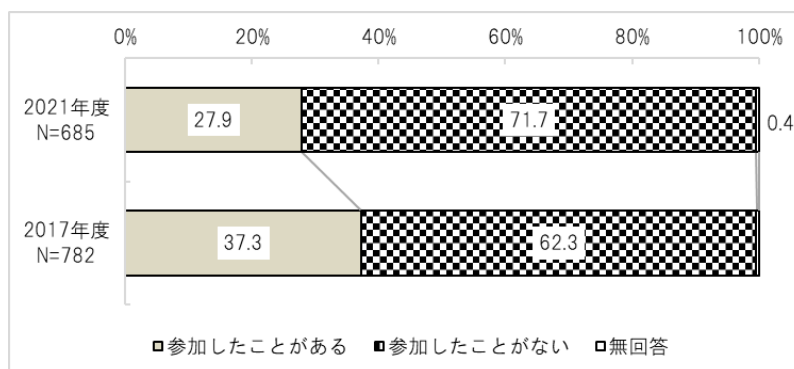


【全 体】

「参加したことがある」が 27.9%、「参加したことがない」が 71.7%となっています。

【地 域 別】

県央において「参加したことがある」が 38.0%と最も多く、最も少ない沿岸と 17.2 ポイントの差が見られます。



【経 年 比 較】

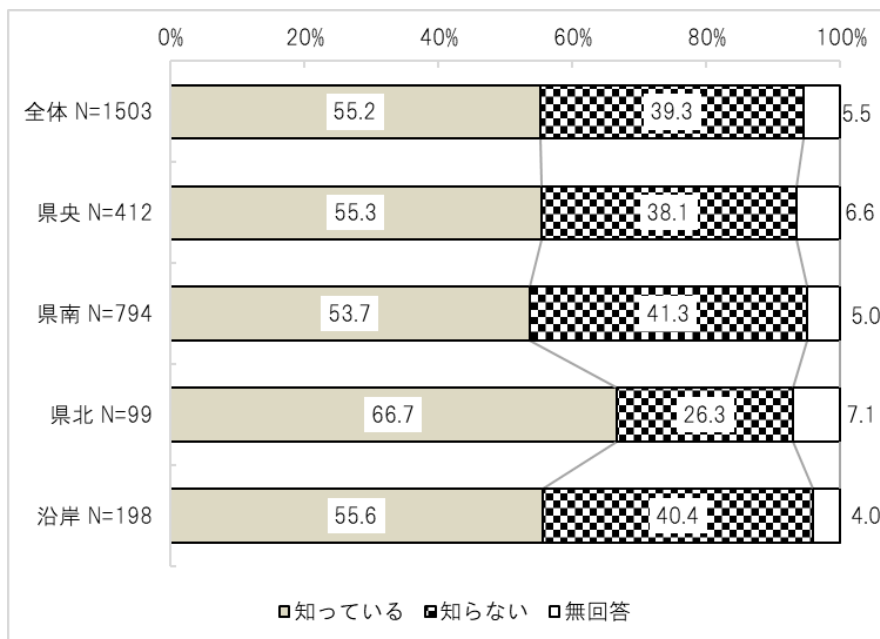
「参加したことがある」が 9.4 ポイントの減少、「参加したことがない」が 9.4 ポイントの増加と大きな変化がみられます。

問 31.自主防災組織について、県への要望。

主なもの

- ・ 防災資機材等の整備に対する助成
- ・ 地区に専門職やそのOBなど支援担当員を配置してほしい。年3回ぐらいの支援員でもよい
- ・ 他団体の活動・取組について紹介してほしい
- ・ コミュニティ組織の運営も困難になってきている中で、コミュニティ組織の強化すなわち自主防災組織の強化に繋がるとの視点で方策を検討してほしい
- ・ 「地域防災の活動紹介」をとりまとめて配布してほしい
- ・ 県の研修会は盛岡中心でなく、地域別にして行きやすいようにしてほしい
- ・ 防災リーダー研修会の県と市の一本化をしてほしい
- ・ 組織の課題解決に向けて個別に相談できる窓口があればいいと思う
- ・ 自主防災組織に関し県と市町村の役割分担を明確にしてほしい
- ・ 発災時に対応できないので地域事情に沿った防災組織像を知らせて欲しい
- ・ 各地域で想定される災害情報や、地域で行動すべき各種マニュアルを市町村が作成し、各地域への啓発活動する様に県でリードしてほしい。
- ・ 地域によっては、防災士等の活用が良いと思います。(顔の見える、指導を)
- ・ 当地区は災害の少ない地域で主に火災を想定した防災活動を行っているが、火災以外の地域特性での小規模災害の発生リスクの指摘・対応指導を現地で行う人的支援がほしい
- ・ リーダー研修会を年1回だけでなく開催してほしい。また地区開催をお願いしたい
- ・ 発災直前直後の人命を守ることが自主防災組織の存在意義であるということを各市町村の防災担当者に徹底するべき。活動の焦点が定まらず地区防災計画も作ることができないでいる。
- ・ 地区防災計画や避難マニュアル等の策定指導をお願いしたい。または、指導できる方を紹介してほしい
- ・ 地区での勉強会資料の提供が有るとよい。自分で作成をしているが、時間が無く間に合わない場合もあるので。

問 32-1.お住まいの市町村の、自主防災組織に対する支援について知っていますか。

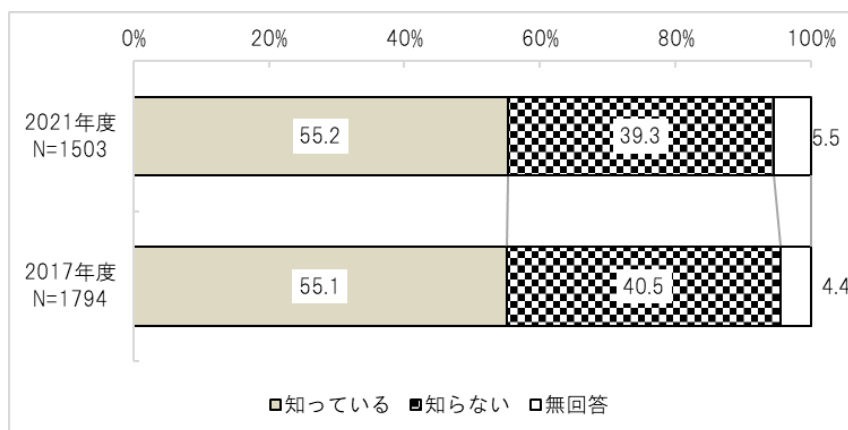


【全 体】

「知っている」が55.2%、「知らない」が39.3%となっています。

【地 域 別】

いずれの地域も「知っている」が5割を超えており、県北では66.7%と最も多い割合となっています。

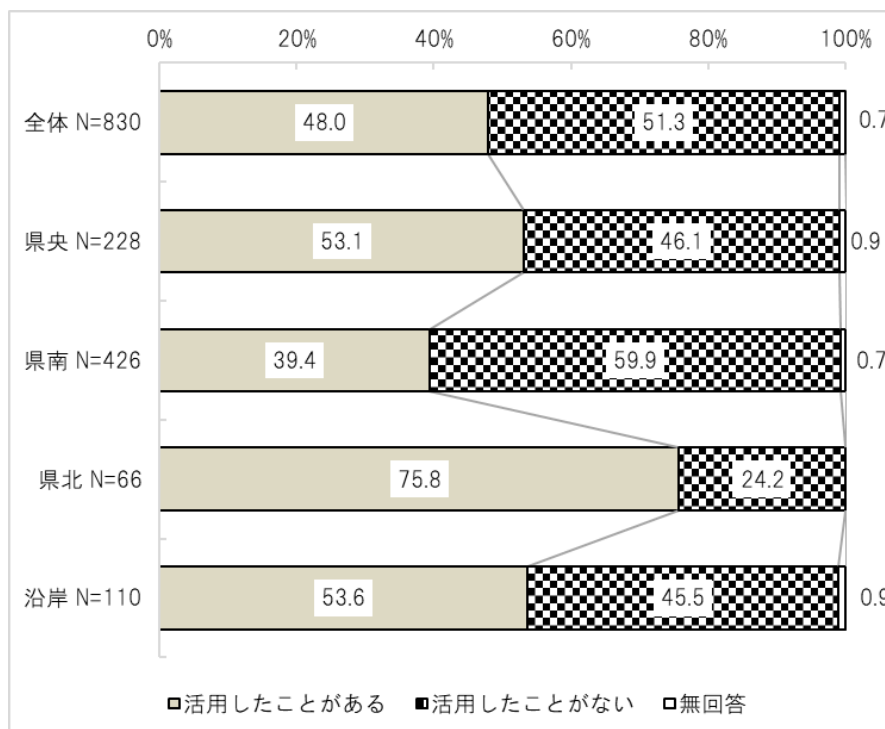


【経 年 比 較】

大きな差はみられません。

問 32-2.市町村の支援を利用・活用したことがありますか。

(問 32-1 で「知っている」を選択：n=830)

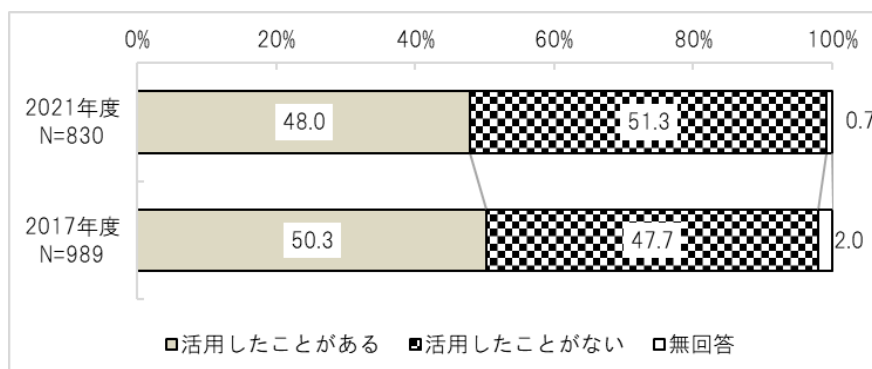


【全 体】

「活用したことがある」が48.0%、「活用したことがない」が51.3%となっています。

【地 域 別】

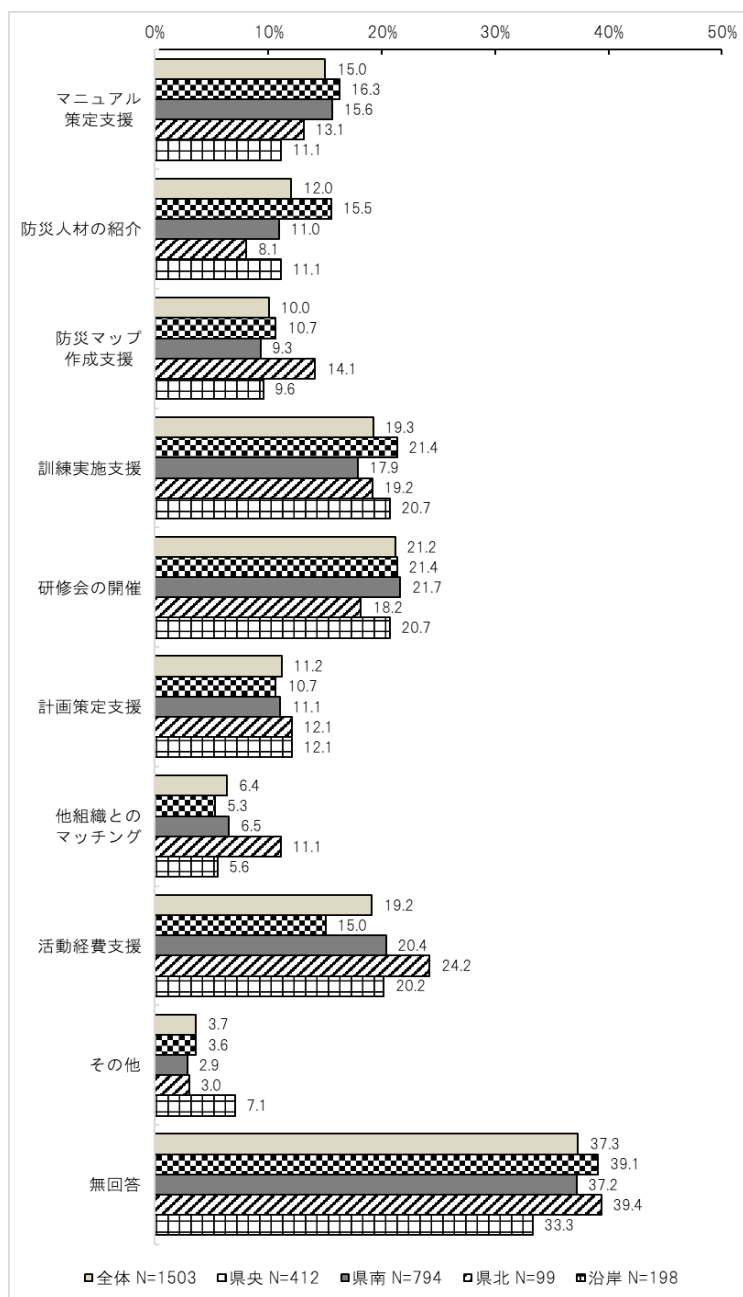
県北地域では75.8%と、唯一7割を超えており、最も少ない県南地域よりも36.4ポイント多くなっています。



【経 年 比 較】

「活用したことがある」が2.3ポイントの減少、「活用したことがない」が3.6ポイント増加といった変化がみられます。

問 33.自主防災組織について市町村への支援要望。



【全 体】

「研修会の開催」が21.2%と最も多く、次いで「訓練実施支援」の19.3%、「活動経費支援」の19.2%の順に続いています。

【地 域 別】

県北地域のみ最も高い回答率が「活動経費支援」となっており、それ以外の地域は「研修会の開催」が最も高い回答率となっています。

県南、沿岸も「活動経費支援」が2番目、3番目などの高い回答率となっているが、県央は5番目と他の地域に比べて回答率は高くなっていません。

問 33.自主防災組織について市町村への支援要望（その他を選択）。

主なもの

- ・ 安全な場所への避難する場合の交通手段の確保
- ・ 先進事例の紹介や回答集等の冊誌の発行
- ・ 要援護者の救出、救護の策定等
- ・ 実効性のある防災隊の組織のあり方はどうあるべきか
- ・ ハザードマップの勉強会
- ・ 地域に応じた災害想定と現実的な対応法
- ・ 防災備品、避難所運営のための補助金
- ・ 行政と自主防災会との連携を具体化すること
- ・ 連合会を作成し、全般を指導してほしい
- ・ 避難行動要支援者の避難計画・支援体制づくり
- ・ 計画策定も訓練もできないので避難所を整備してほしい
- ・ 避難所の増設
- ・ 地域に見合った防災訓練
- ・ 積極的な防災組織の構築・指導
- ・ 回覧ではなく各戸分のお知らせ配布
- ・ 交付金交付申請書の関係書類簡素化
- ・ 要支援者名簿の公開、活動の活発化
- ・ 要支援者の支援活動事例を紹介してほしい
- ・ 避難所運営のノウハウの周知
- ・ 災害情報・水位情報を放送してほしい
- ・ 要支援者情報開示・管理範囲をもっとゆるくして（各地区）公民館長まで広げてほしい

問 34.その他のご意見。

- ・災害の種類により避難等対応が異なると思う。それに対応した地区独自の活動方法を整理しておきたい。
 - ・組織結成後の消防本部等からの育成活動に力を入れてほしい。
 - ・山間の地域は指定避難所に行くのも大変。洪水、土砂災害の場合に、現実的にどう動くか、地域の状況毎（例）によってマニュアルほしい。
 - ・地理的に緊急避難場所から離れている地域の住民はどこに避難すべきか不安だと思います。具体的に「どこがどこの行政区を受けいられるか」ある程度でおおまかで良いので示してもらえると個々人で計画（心づもり）ができるのではと思います
 - ・住民の声は近くに安
全な避難場所の要望のみ大きく、特に若い方は、訓練よりも、地震、洪水等にたえられる建物が近くに造ってほしいとの声がほとんどである
 - ・自治会では、役員選出に苦慮しており今期初めて輪番制を取り入れた。強制的に選出された役員が殆どなので自治会を運営するだけで精一杯で自主防災まで考える余裕がない状態
 - ・個人情報保護法により、自主防災での安否確認が出来ない。名簿作成が出来ていないので地域の住民確認がむずかしい
 - ・自主防災組織の研修会を近くの自治体で開催してほしい。
 - ・災害発生時に各組織間の相互協力体制の確立。
 - ・二日間のリーダー研修会への参加は時間的に難しいので、ミニ講座のように分けてほしい
 - ・隊の高齢化対策と地域住民の信用親密のためには、自主防隊員に職員が参画してほしい。
 - ・ハザードマップ作成支援が必要（現状の理解と対策には指導が欲しい）
 - ・市からのハザードマップ配布が1度のみで各家庭では粉失しており、定期的な配布を求める
 - ・各自主防災組織単位で活用できるアプリを早急に開発していただきたい。各隊員にアプリを持って貰い、本部が指示を出し易いようにする。双方向に情報を交換できる。
- 地区の防災人材の紹介
- ・いろいろな計画もいいが実際に県職員も一人一人が地域に入り地域活動や、防災組織への協力対制を、構築するべき
 - ・当地域は岩手山噴火の被災地域になっていて被害についての知識を得る研修会を開きたい
 - ・広域全体での防災組織を作る話が有り、自治会でも話し合をしていく予定
 - ・コロナ禍のためどの程度の事業を行ったらよいか困っている。コロナ禍で消滅するのが心配
 - ・パソコンのZOOM機能などを使って...防災に携わっている方々の悩みや工夫していることなどを自由に情報交換ができるシステムの構築。
 - ・避難所運営ゲームや一部地域では防災マップ作りなどを実施しているが、地区の防災訓練に県地域防災サポーター制度を活用していきたいと考えている
 - ・地域には高層マンションが林立する傾向にあり、管理会社、設立会社の個人情報保護の名目で、町内会加入、否可入も分からない実態で、県市町村の行政的施策の策定が急務と感じる
 - ・リーダー研修や連絡会議等を今後とも継続開催し、防災意識を向上させる指導を求める。その一環で同じ環境（地理・規模等）による情報交換会を開催してはどうかと提案したい

- ・ 自主防災についての説明会、勉強会が市よりあるが、代表者1名参加して話を聞く形で少し話を聞いただけで地域住民に説明するのは無理を感じている
- ・ リーダー研修会に参加を考えますが、沿岸地区として冬場は避けてほしい
- ・ 指定緊急避難場所の指定経緯や理由についての説明がないため、実態と相違があるのではないかとと思われる
- ・ 少し変わった訓練方法もあったら、紹介してほしい
- ・ 市・県の担当者が直接現地に来て、環境確認と防災部への助言指導を願いたい。
- ・ 市町村は、全体での防災訓練の他に、細々と地域の状況に合せた防災マニュアルの作成等を情報として知らせたり、指導をすべき。
- ・ 防災対策の対象が広すぎ、あれもこれも防災組織のメンバーやらねばならないので、メンバーを嫌がる（なり手が無い）。
- ・ 当自主防災防犯会は当初防災・防犯の意識で動いていたが、その内高令者世帯の見回りなど福祉活動に重点が移っています。
- ・ 新興住宅として整備された環境にあるが、近年、内水氾濫の危険性も高まっていて、雨水の排水について昔の地域の形状も加味したこの地域独自の防災マップを作成したいと思っているので、援をお願いしたい
- ・ 模範となる活動組織の研修内容、活動状況のビデオ作成による普及活動を図りたい
- ・ 震災によりすべて高台移転となり、安全と安心が重なり防災にかかわる意識が希薄している
- ・ 今後、この実態調査は、どの場で、どのように反映されるのか、教示願いたい。
- ・ 地区における協議会なるものを設置してもらい、お互いの情報交換を図ってほしい
- ・ 町の地域防災への取り組みへの支援、指導が弱く、県で市町村担当者の指導教育にもっと力を入れてほしい
- ・ 自主防災リーダー研修会等をもっと積極的に宣伝し、地域リーダーが参加しやすいシステムにしてほしい
- ・ 地域の特性があり、災害があった場合、はなれた避難場所に移動する事自体非常に危険なケースもあり、当地域がそれにあたる。万が一の避難場所を公民館とするなどの取組みが受入体制の充実と考える
- ・ 東日本大震災で、要支援者の命を地域で守らねばという思いを強く持っており、要支援者の避難を地域の組織でできるようにしたい。
- ・ 地区で防災士研修を受けた人がいますが、その後の活動は、どうすればよいか不明
- ・ 自主防災組織でモデルになるような組織を、視察したいので紹介願いたい。
- ・ 防災用の機材などは、昔より充実してきていると思うが、組織の運営にかかわるノウハウ（ソフト）が乏しい。
- ・ 市は、市街地（住宅地）と山村地と一律的に組織化を求めるのではなく地域の規模を見て設置してほしい。地区毎に設置しても人員がおらず振興センターとの役割りがはっきりしない
- ・ 実態調査、その結果のフィード、バック各、防災会にお願いしたい
- ・ 防災の重要性は理解しつつも、求められる精度の活動を実現するには負担が大きすぎる。人材の確保と行政の更なる支援を期待する。

- ・防災マップがありますけれど、もうすこし、くわしく作成してほしい。・防災マップがわかりづらい。
- ・出来るか出来ないかに係らず年々地域団体に対する期待が大きくなっており話しを聞いたり資料を配付されるが現状の枠から出るとはかなりむずかしいと感じている
- ・個人情報保護は理解するが、封印された要支援者リストでは適切な支援はできない。(どこに住んでいるのか、どのような支援を求めているか不明で災害時には開封できるが、はたして開封する時間・余裕などがあるだろうか。)
- ・岩手県は広い地域があります。海岸、内陸、都市部、山間部 中山間地域 地域に合った情報をお願いしたい
- ・花巻市だけなのかわかりませんが、「避難行動要支援者名簿」に登録拒否者(赤・黄色の封筒に入っている方)の対応については、災害時、市が開封を依頼した場合のみ開封をお願いします。となっているが、特別扱いする必要があるのか?そもそも登録拒否しながら災害時は早く助けて下さいでは、勝手すぎる。このような方は、自主防災組織の活動にも非協力的だと思われる。災害時の迅速な活動の妨げになる。
- ・元消防署員の地域組織のリーダー役としての積極的参加を希望する
- ・災害時には、中学生や高校生などの手助けも大きな力を発揮できることから平時より協力体制を得ておくことも必要と思います。
- ・アンケート結果がまとりましたら、内容を知らせてほしい。役員のなり手がなく、苦勞しており、負担の少ない効率の良い組織したい。
- ・市町村職員の削減がなされている状況下で避難所の開設や運営が上手く行くとは思えない
- ・このアンケートで当自主防の不足している箇所が明確になりましたので改善していきたいと思った。
- ・モデル組織のDVDの配布をお願いします。
- ・避難所の態勢整備、まだ十分とは言えない。当市は広域であるので、資機材も1ヶ所だけでなく、東西に1か所ずつは最底必要である
- ・災害に対する備えや防災体制の整備は大切だと思うが、今回のような手間のかかるアンケートは活動意欲を下げるのではないか
- ・現在市の研修は自主防の代表者のみとなっているので区の役員にも研修を実施してほしい
- ・自主防災組織に対する防災行政は、災害多い地域、少ない地域に分けて、メリハリのある施策を行ってほしい
- ・指定避難所(行政区の中心から1.5km)に行く前に地元の集会所に一時的に集まり、小集団となり避難所へ移動する事を考えていますが、より安全な手段について指導がほしい
- ・現状、災害発生時の第一次避難所(交流センター)の指示を受けて行動予定であるが、住民数すら不明で、住民が避難できたのかのシミュレーションもできない。

◆調査結果から見えてくる現状と課題・取り組みや支援に向けた提案

○組織の構成について

問1.自主防災組織のカバー世帯では県央で世帯数が多い組織が多く、県北、沿岸で世帯数が少ない傾向が見られ、前回調査同様に人口分布の地域性が自主防災組織のカバー世帯にも反映しているように見受けられます。

問3-3.「役員の年齢構成」では「60歳代」、「70歳代」、「50歳代」の順に回答が多く、老年層から壮年層が地域防災の主体となっていることがわかります。

問12.の自主防災組織の役員の中の防災関係機関の経験者については、「消防団」との回答が群を抜いて多い傾向は前回調査と変わっていません。

また、問13.の「人材の技術」の結果からは、組織内の人材だけで話し合いやワークショップなどで課題整理等を期待できる組織が3割、地区の点検等から地域の防災マップの作成が期待できる組織が約2割程度あることがわかります。

☞地域的に、過疎や高齢化の影響が組織形態に現れているところもあり、自主防災組織についても“人手不足”の状況が色濃くうかがえます。また、消防団OBなどの役員が多く、消防対応の経験をもつ人材は一定数確保できているものの、組織における地域課題の洗い出しや議論の方向づけ、防災マップ等の防災ツールの取りまとめをこなせる人材が、地域には少ないことが明らかです。組織の活動マニュアルや地域の防災マップ、個別避難計画といった防災に関するツールや計画作りについては、地域の独力だけでは対応しきれないため、これらの取り組みを指導可能な人材の育成や、派遣等による支援などが必要と考えます。

○地域住民間の関わり

問7.「災害発生時の隣、近所での助け合い」について、前回調査から「できると思う」のポイントが1割程度減じて、「ある程度できると思う」が1割程度増加している傾向から隣、近所での助け合いの可能性が低くなっている可能性がうかがえます。

☞今後は、ご近所同士のつきあいに支えられた防災活動についても、どのようにつながりを維持しながら地域の防災力を確保していくかを意識した施策の実施が望まれます。

○地域の危険区域について

問16.の自主防災組織のある地域の危険区域について、危険区域が「わからない」という自主防災組織からの回答が2~3%程度あります。

☞自主防災活動の最も基本的な取り組みとして「自地域の危険区域の確認」を促すなどの工夫が必要と考えます。

○組織内の取り決め

問10~13.の、自主防災組織における「役割分担・担当者」や「活動拠点」などの取り決めについて、「役割分担・担当者」は県北、沿岸において、「活動拠点」は県北地区で「決めている」との回答が他地区を下回っています。

☞災害時の対応力の向上を期するためにも、役割や施設の設定を進める工夫が必要と思われます。

○組織の活動

問 14-1の「防災に関する情報の伝達」は、県央や県北地区で、問 15の「防災に関する講演会やセミナーの開催、参加」は、県北地区での取り組みが低調となっています。

☞上記のうち、「防災に関する講演会やセミナーの開催、参加」については、「市町村への支援要望」に「講演会、研修の実施支援」なども散見されることから市町村による支援が行われることで、取り組み状況が改善する余地があると考えられます。

問 19-2「地域でのオリジナルの防災マップの作成」は、いずれの地区も3割に満たず、特に県北地区では2割にも満たない結果となっています。

☞地域での防災マップ作成は難易度が高いものの、ハザードマップ等で災害危険の区域が示されている地区などでは、防災意識の醸成や事前の防災対策の検討に有効なツールであることから、行政や専門家等によるマップ作成の支援が望まれます。

問 22-1「避難行動要支援者の把握」では「把握している」の回答率が県央、県南で8割に迫るなか県北、沿岸では6割程度にとどまっており、地域による差が大きくみられます。また、問 22-2「個別避難計画の策定」も、「取り組んでいる」と「策定はまだだが支援者は決めている」の回答を合わせると、県央や県南では5～6割程度になるものの、県北、沿岸では3割台にとどまり、こちらも地域による差が大きくみられます。特に、沿岸地区では「(個別避難計画の策定に)取り組んでいない」の回答率が6割を超えています。

☞避難行動要支援者対応や個別避難計画の策定については、市町村によって、福祉部局が担当している場合もあります。そのため、福祉部局と防災部局など、関係する部局が連携しての早急な計画策定に向けた支援が必要と考えられます。

問 25.自主防災組織と地域の組織との協力関係づくりでは、「企業」や「民生委員」、「地域包括支援センター」は5～7割程度と高い回答率となっています。一方、避難所の指定を受けている可能性のある「学校」は3割程度、負傷者等の対応で連携の可能性のある「病院」とは1割未満とそれぞれ低調な状況となっています。

☞発災時に協力関係を要する団体として、徐々にでも関係の構築を進めていくことが必要です。

○組織の活動計画・地区防災計画

問 8.「発災時の活動計画、地区防災計画の作成」は、「作成している」が約5割と半数に近く、「作成中」も含めると5割以上となり、前回調査時から取り組みの増加傾向がうかがえます。

☞県や市町村ではこれまでも、自主防災組織に対して計画、マニュアル作成に関する働きかけや支援等を継続的に行ってきており、これらの取り組みも自主防災組織の計画作成の動きを後押しする要因の一つとなっているのではないかと考えられます。未整備の組織や新規に結成される組織にも引き続き、積極的な働きかけが必要です。

○避難所運営マニュアルの整備や資機材の備蓄

問 20-1.「避難所運営マニュアルの有無」では、「ある」との回答率が県北地区で1割台、それ以外の地区は2～3割程度となっています。

☞避難所開設時に備えた取り組みとしてマニュアルの作成を後押しする働きかけや避難所開設や運営に関する事例や、マニュアル作成のためのマニュアルなどの情報提供が必要と考えられます。

問 21.「防災用資機材等の備蓄」では、「備蓄・保管している」の回答率は県央で6割を超えており、それ以外の地区も5割前後となっています。

☞「市町村への要望支援」には「備蓄物資や資機材への支援」などの要望がみられる一方で、市町村によってはこれら資機材等の備蓄に対して補助を用意しているところもあり、これらの補助制度の周知を効果的に進める余地があると考えられます。

○岩手県の取組みについて

問 29-1.「岩手県地域防災サポーター制度」について、「知っている」との回答率が、3割に届いていないものの、前回調査に比較して5ポイント程度増加しています。また、問 29-2 地域防災サポーターの活用については「活用したことがある」との回答率が1割程度で、地区別でもっとも高い県北でも2割となっています。以前の調査時同様、サポーター制度を知っていても活用したことがない組織が非常に多いことを示しています。

☞引き続き、制度の周知や積極的な利用を促す働きかけなど、運用に工夫が必要と考えられます。

問 30-1.「岩手県自主防災組織リーダー研修会」や「岩手県自主防災組織連絡会議」について「知っている」との回答は4割程度となっており、特に県央・県南は4割台、県北・沿岸は6割程度となっています。また、問 30-2 参加の有無は、問 30-1 で「知っている」と回答した組織のうち、「参加したことがある」との回答をした組織が3割に届いていません。

☞これらの会を知っていても参加する組織は半数以下であることを示しており、「防災サポーター制度」と同様、積極的な利用を促す働きかけなど、運用に工夫が必要と考えられます。

○市町村の取組みについて

問 32-1.市町村の防災組織に対する支援について、「知っている」との回答が5割を超えており、地区別では県北が6割を超えた回答率になっています。また、問 32-2.の支援の利活用についても問 32-1.で「知っている」と回答した組織のうち「活用したことがある」とする組織が約5割あり、県北では7割を超える回答率になっています。

☞市町村が行う支援については、市町村ごとの地域の状況も踏まえやすい立場を生かして、地域や自主防災組織の状況に適した支援や補助制度を打ち出しながら、利用率を上げながら自主防災活動の充実化を図っていくことが望ましいと思われれます。

付属資料

問1.あなたの自主防災組織のカバーしている世帯数を教えてください。

		調査数	30世帯以下	31～50世帯	51～100世帯	101～200世帯	201～300世帯	301～400世帯	401～500世帯	501世帯以上	無回答
全体		1503 100.0	117 7.8	257 17.1	412 27.4	269 17.9	153 10.2	77 5.1	64 4.3	145 9.6	9 0.6
地区別	県央	412 100	23 5.6	45 10.9	63 15.3	71 17.2	53 12.9	37 9.0	30 7.3	88 21.4	2 0.5
	県南	794 100	54 6.8	156 19.6	266 33.5	141 17.8	71 8.9	32 4.0	28 3.5	44 5.5	2 0.3
	県北	99 100	11 11.1	18 18.2	25 25.3	21 21.2	11 11.1	3 3.0	3 3.0	4 4.0	3 3.0
	沿岸	198 100	29 14.6	38 19.2	58 29.3	36 18.2	18 9.1	5 2.5	3 1.5	9 4.5	2 1.0

問2. あなたの自主防災組織を構成している世帯や区域は、町内会(自治会)組織と同一ですか、別ですか。

		調査数	同一組織	別組織	無回答
全体		1503 100.0	1431 95.2	66 4.4	6 0.4
地区別	県央	412 100.0	401 97.3	10 2.4	1 0.2
	県南	794 100.0	756 95.2	37 4.7	1 0.1
	県北	99 100.0	86 86.9	12 12.1	1 1.0
	沿岸	198 100.0	188 94.9	7 3.5	3 1.5

問3.あなたの組織の役員の、男性と女性はそれぞれ何人いますか。(男性)

		調査数	0人	1 ～ 5人	6 ～ 10人	11 ～ 15人	16 ～ 20人	21人以上	無回答
全体		1503 100.0	25 1.7	312 20.8	549 36.5	312 20.8	110 7.3	153 10.2	42 2.8
地区別	県央	412 100.0	7 1.7	76 18.4	147 35.7	94 22.8	33 8.0	43 10.4	12 2.9
	県南	794 100.0	3 0.4	171 21.5	294 37.0	163 20.5	58 7.3	89 11.2	16 2.0
	県北	99 100.0	7 7.1	24 24.2	31 31.3	20 20.2	8 8.1	4 4.0	5 5.1
	沿岸	198 100.0	8 4.0	41 20.7	77 38.9	35 17.7	11 5.6	17 8.6	9 4.5

問3. あなたの組織の役員の、男性と女性はそれぞれ何人いますか。(女性)

		調査数	0人	1 ～ 5人	6 ～ 10人	11 ～ 15人	16 ～ 20人	21人以上	無回答
全体		1503 100.0	341 22.7	843 56.1	185 12.3	55 3.7	17 1.1	21 1.4	41 2.7
地区別	県央	412 100.0	61 14.8	227 55.1	69 16.7	24 5.8	7 1.7	12 2.9	12 2.9
	県南	794 100.0	197 24.8	462 58.2	87 11.0	19 2.4	6 0.8	7 0.9	16 2.0
	県北	99 100.0	29 29.3	52 52.5	10 10.1	2 2.0	2 2.0	0 0.0	4 4.0
	沿岸	198 100.0	54 27.3	102 51.5	19 9.6	10 5.1	2 1.0	2 1.0	9 4.5

問4.あなたの自主防災組織の地域では、集合住宅に住んでいる方も自主防災活動に参加していますか。

		調査数	参加している	参加していない	集合住宅はない	無回答
全体		1503 100.0	285 19.0	457 30.4	730 48.6	31 2.1
地区別	県央	412 100.0	128 31.1	147 35.7	130 31.6	7 1.7
	県南	794 100.0	98 12.3	223 28.1	462 58.2	11 1.4
	県北	99 100.0	22 22.2	31 31.3	42 42.4	4 4.0
	沿岸	198 100.0	37 18.7	56 28.3	96 48.5	9 4.5

問5.あなたの自主防災組織の地域では、外国人も自主防災活動に参加していますか。

		調査数	参加している	参加していない	外国人はいない	わからない	無回答
全体		1503 100.0	78 5.2	379 25.2	944 62.8	79 5.256	23 1.5
地区別	県央	412 100.0	20 4.9	128 31.1	223 54.1	34 8.252	7 1.7
	県南	794 100.0	44 5.5	179 22.5	527 66.4	35 4.408	9 1.1
	県北	99 100.0	6 6.1	26 26.3	63 63.6	3 3.03	1 1.0
	沿岸	198 100.0	8 4.0	46 23.2	131 66.2	7 3.535	6 3.0

問6.あなたの自主防災組織の地域では、普段からお隣同士やご近所同士の付き合いがありますか。

		調査数	ある	ある程度ある	あまりない	ない	無回答
全体		1503 100.0	753 50.1	664 44.2	62 4.1	6 0.4	18 1.2
地区別	県央	412 100.0	170 41.3	199 48.3	39 9.5	0 0.0	4 1.0
	県南	794 100.0	419 52.8	342 43.1	20 2.5	4 0.5	9 1.1
	県北	99 100.0	47 47.5	49 49.5	2 2.0	1 1.0	0 0.0
	沿岸	198 100.0	117 59.1	74 37.4	1 0.5	1 0.5	5 2.5

問7.あなたの自主防災組織の地域では、災害が発生した時、お隣同士やご近所同士で助け合うことができますか。

		調査数	できると思う	ある程度できると思う	ほとんどできないと思う	できないと思う	無回答
全体		1503 100.0	546 36.3	870 57.9	67 4.5	4 0.3	16 1.1
地区別	県央	412 100.0	123 29.9	253 61.4	31 7.5	1 0.2	4 1.0
	県南	794 100.0	296 37.3	468 58.9	23 2.9	2 0.3	5 0.6
	県北	99 100.0	36 36.4	55 55.6	7 7.1	0 0.0	1 1.0
	沿岸	198 100.0	91 46.0	94 47.5	6 3.0	1 0.5	6 3.0

問8.あなたの自主防災組織は、災害発生時の活動計画もしくは地区防災計画を作成していますか。

		調査数	作成している	作成していない	作成中	無回答
全体		1503 100.0	699 46.5	673 44.8	79 5.3	52 3.5
地区別	県央	412 100.0	177 43.0	203 49.3	17 4.1	15 3.6
	県南	794 100.0	413 52.0	313 39.4	45 5.7	23 2.9
	県北	99 100.0	35 35.4	54 54.5	7 7.1	3 3.0
	沿岸	198 100.0	74 37.4	103 52.0	10 5.1	11 5.6

問 8-1.平常時や災害発生時の計画策定。

		調査数	平常時	災害発生時	無回答
全体		699 100.0	186 26.6	472 67.5	178 25.5
地区別	県央	177 100.0	46 26.0	112 63.3	52 29.4
	県南	413 100.0	106 25.7	289 70.0	92 22.3
	県北	35 100.0	11 31.4	21 60.0	15 42.9
	沿岸	74 100.0	23 31.1	50 67.6	19 25.7

問 9-1.地区防災計画を知っていますか。

		調査数	知っている	知らない	無回答
全体		1503 100.0	1067 71.0	380 25.3	56 3.7
地区別	県央	412 100.0	272 66.0	124 30.1	16 3.9
	県南	794 100.0	595 74.9	171 21.5	28 3.5
	県北	99 100.0	65 65.7	31 31.3	3 3.0
	沿岸	198 100.0	135 68.2	54 27.3	9 4.5

問 9-2.地区防災計画策定の予定や意向はありますか。

		調査数	ある	ない	策定済み	無回答
全体		1503 100.0	646 43.0	380 25.3	329 21.9	148 9.8
地区別	県央	412 100.0	173 42.0	119 28.9	79 19.2	41 10.0
	県南	794 100.0	348 43.8	178 22.4	195 24.6	73 9.2
	県北	99 100.0	50 50.5	24 24.2	16 16.2	9 9.1
	沿岸	198 100.0	75 37.9	59 29.8	39 19.7	25 12.6

問 10.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の役割分担や担当者を決めていますか。

		調査数	決めている	決めていない	無回答
全体		1503 100.0	1153 76.7	316 21.0	34 2.3
地区別	県央	412 100.0	351 85.2	51 12.4	10 2.4
	県南	794 100.0	617 77.7	161 20.3	16 2.0
	県北	99 100.0	65 65.7	32 32.3	2 2.0
	沿岸	198 100.0	120 60.6	72 36.4	6 3.0

問 10-1.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の役割分担や担当者を決めていますか。

		調査数	平常時	災害発生時	無回答
全体		1153 100.0	276 23.9	817 70.9	249 21.6
地区別	県央	351 100.0	92 26.2	253 72.1	72 20.5
	県南	617 100.0	136 22.0	441 71.5	132 21.4
	県北	65 100.0	19 29.2	37 56.9	20 30.8
	沿岸	120 100.0	29 24.2	86 71.7	25 20.8

問 11.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の活動拠点を決めていますか。

		調査数	決めている	決めていない	無回答
全体		1503 100.0	1268 84.4	206 13.7	29 1.9
地区別	県央	412 100.0	352 85.4	54 13.1	6 1.5
	県南	794 100.0	678 85.4	103 13.0	13 1.6
	県北	99 100.0	75 75.8	20 20.2	4 4.0
	沿岸	198 100.0	163 82.3	29 14.6	6 3.0

問 11-1.あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の活動拠点を決めていますか。

(1.「決めている」を選択:n=1268)

		調査数	平常時 拠点名	災害発生時 拠点名	無回答
全体		1268 100.0	974 76.8	1084 85.5	29 2.3
地区別	県央	352 100.0	280 79.5	298 84.7	7 2.0
	県南	678 100.0	498 73.5	590 87.0	12 1.8
	県北	75 100.0	64 85.3	62 82.7	4 5.3
	沿岸	163 100.0	132 81.0	134 82.2	6 3.7

問 12.あなたの自主防災組織には、以下に掲げるような「防災人材」がいますか。

	調査数	防災士	消防職員	警察職員	自衛隊	消防団員	医療従事者	防災・担市町者村	その他	無回答	
全体	1503 100.0	210 14.0	308 20.5	156 10.4	170 11.3	1018 67.7	418 27.8	136 9.0	192 12.8	276 18.4	
地区別	県央	412 100.0	57 13.8	70 17.0	63 15.3	62 15.0	213 51.7	108 26.2	34 8.3	58 14.1	100 24.3
	県南	794 100.0	91 11.5	177 22.3	80 10.1	90 11.3	581 73.2	230 29.0	58 7.3	94 11.8	135 17.0
	県北	99 100.0	28 28.3	23 23.2	5 5.1	6 6.1	74 74.7	20 20.2	12 12.1	18 18.2	12 12.1
	沿岸	198 100.0	34 17.2	38 19.2	8 4.0	12 6.1	150 75.8	60 30.3	32 16.2	22 11.1	29 14.6

問 13.あなたの自主防災組織の地域には、以下のような人材がいますか。

	調査数	チラシ等の作成ができる人	住民への説明会などで プレゼンテーションができる人	話し合いなど 結果の取りまとめができる人	地域の危険箇所や 整域する地図作りを指導できる人	無回答	
全体	1503 100.0	1135 75.5	655 43.6	486 32.3	382 25.4	278 18.5	
地区別	県央	412 100.0	319 77.4	182 44.2	136 33.0	102 24.8	67 16.3
	県南	794 100.0	604 76.1	334 42.1	239 30.1	197 24.8	147 18.5
	県北	99 100.0	71 71.7	52 52.5	33 33.3	28 28.3	20 20.2
	沿岸	198 100.0	141 71.2	87 43.9	78 39.4	55 27.8	29 14.6

問 14-1.あなたの自主防災組織は、平常時や災害が見込まれる時に、防災関連の情報を各世帯に伝えていますか。(平常時:回覧板など)

		調査数	伝えている	伝えていない	無回答
全体		1503 100.0	965 64.2	424 28.2	114 7.6
地区別	県央	412 100.0	264 64.1	120 29.1	28 6.8
	県南	794 100.0	521 65.6	209 26.3	64 8.1
	県北	99 100.0	50 50.5	40 40.4	9 9.1
	沿岸	198 100.0	130 65.7	55 27.8	13 6.6

問 14-2.あなたの自主防災組織は、平常時や災害が見込まれる時に、防災関連の情報を各世帯に伝えていますか。(警報発令時など:連絡網など)

		調査数	伝えている	伝えていない	無回答
全体		1503 100.0	799 53.2	572 38.1	132 8.8
地区別	県央	412 100.0	176 42.7	197 47.8	39 9.5
	県南	794 100.0	474 59.7	249 31.4	71 8.9
	県北	99 100.0	45 45.5	48 48.5	6 6.1
	沿岸	198 100.0	104 52.5	78 39.4	16 8.1

問 15.あなたの自主防災組織は、防災講演会や防災セミナー・研修などの開催、もしくは他機関主催の研修などに参加していますか。

		調査数	参加している	参加していない	無回答
全体		1503 100.0	977 65.0	490 32.6	36 2.4
地区別	県央	412 100.0	299 72.6	105 25.5	8 1.9
	県南	794 100.0	521 65.6	254 32.0	19 2.4
	県北	99 100.0	42 42.4	55 55.6	2 2.0
	沿岸	198 100.0	115 58.1	76 38.4	7 3.5

問 16.あなたの自主防災組織の地域には、以下の危険区域がありますか。

		調査数	洪水浸水想定地域	土砂災害警戒区域	津波災害警戒地域	火山災害警戒区域	いずれもない	わからない	無回答
全体		1503 100.0	630 41.9	689 45.8	107 7.1	52 3.5	387 25.7	37 2.5	20 1.3
地区別	県央	412 100.0	202 49.0	109 26.5	0 0.0	44 10.7	109 26.5	15 3.6	10 2.4
	県南	794 100.0	299 37.7	359 45.2	0 0.0	4 0.5	254 32.0	16 2.0	7 0.9
	県北	99 100.0	40 40.4	55 55.6	21 21.2	0 0.0	18 18.2	3 3.0	0 0.0
	沿岸	198 100.0	89 44.9	166 83.8	86 43.4	4 2.0	6 3.0	3 1.5	3 1.5

問 17.あなたの自主防災組織の地域の中には、市町村で指定した指定緊急避難場所などがありますか。または、指定された避難所等はなく、地域で独自に決めた避難を見込める施設はありますか。

		調査数	ある	ない	無回答
全体		1503 100.0	1218 81.0	220 14.6	65 4.3
地区別	県央	412 100.0	328 79.6	60 14.6	24 5.8
	県南	794 100.0	636 80.1	128 16.1	30 3.8
	県北	99 100.0	75 75.8	19 19.2	5 5.1
	沿岸	198 100.0	179 90.4	13 6.6	6 3.0

問 17_1.市町村で指定した指定緊急避難場所または地域で独自に決めた避難を見込める施設の有無

		調査数	指定緊急避難場所	指定一般避難所	指定福祉避難所	地域で独自に決めた避難施設	無回答
全体		1218 100.0	935 76.8	501 41.1	158 13.0	391 32.1	29 2.4
地区別	県央	328 100.0	251 76.5	140 42.7	50 15.2	103 31.4	8 2.4
	県南	636 100.0	490 77.0	254 39.9	79 12.4	204 32.1	11 1.7
	県北	75 100.0	53 70.7	32 42.7	11 14.7	22 29.3	3 4.0
	沿岸	179 100.0	141 78.8	75 41.9	18 10.1	62 34.6	6 3.4

問 17_1(ア)指定緊急避難場所の想定している災害

		調査数	洪水	土砂災害	津波	火山	無回答
全体		935 100.0	615 65.8	456 48.8	96 10.3	49 5.2	125 13.4
地区別	県央	251 100.0	182 72.5	87 34.7	2 0.8	39 15.5	34 13.5
	県南	490 100.0	325 66.3	246 50.2	0 0.0	7 1.4	72 14.7
	県北	53 100.0	30 56.6	32 60.4	14 26.4	0 0.0	8 15.1
	沿岸	141 100.0	78 55.3	91 64.5	80 56.7	3 2.1	10 7.1

問 17_1(イ)指定一般避難所_想定している災害

		調査数	洪水	土砂災害	津波	火山	無回答
全体		501 100.0	309 61.7	249 49.7	49 9.8	23 4.6	91 18.2
地区別	県央	140 100.0	93 66.4	56 40.0	0 0.0	20 14.3	22 15.7
	県南	254 100.0	161 63.4	124 48.8	1 0.4	3 1.2	51 20.1
	県北	32 100.0	17 53.1	19 59.4	7 21.9	0 0.0	11 34.4
	沿岸	75 100.0	38 50.7	50 66.7	41 54.7	0 0.0	6 8.0

問 17_1(ウ)指定福祉避難所_想定している災害

		調査数	洪水	土砂災害	津波	火山	無回答
全体		158 100.0	102 64.6	72 45.6	8 5.1	5 3.2	35 22.2
地区別	県央	50 100.0	32 64.0	19 38.0	0 0.0	4 8.0	11 22.0
	県南	79 100.0	54 68.4	34 43.0	0 0.0	1 1.3	14 17.7
	県北	11 100.0	6 54.5	7 63.6	3 27.3	0 0.0	6 54.5
	沿岸	18 100.0	10 55.6	12 66.7	5 27.8	0 0.0	3 16.7

問 17_1(エ)地域で独自に決めた避難を見込める施設_想定している災害

		調査数	洪水	土砂災害	津波	火山	無回答
全体		391 100.0	227 58.1	198 50.6	34 8.7	21 5.4	69 17.6
地区別	県央	103 100.0	66 64.1	34 33.0	0 0.0	16 15.5	18 17.5
	県南	204 100.0	123 60.3	109 53.4	1 0.5	5 2.5	39 19.1
	県北	22 100.0	10 45.5	14 63.6	2 9.1	0 0.0	7 31.8
	沿岸	62 100.0	28 45.2	41 66.1	31 50.0	0 0.0	4 6.5

問 18-1.あなたの自主防災組織は、防災に関する研修や訓練を行っていますか。

		調査数	行っている	行っていない	無回答
全体		1503 100.0	1155 76.8	329 21.9	19 1.3
地区別	県央	412 100.0	326 79.1	81 19.7	5 1.2
	県南	794 100.0	603 75.9	183 23.0	8 1.0
	県北	99 100.0	75 75.8	22 22.2	2 2.0
	沿岸	198 100.0	151 76.3	43 21.7	4 2.0

問 18-1-1.訓練内容

(1.「行っている」を選択:n=1155)

		調査数	消火訓練	通報訓練 ・行政等への通報	避難訓練	情報伝達訓練 (避難の呼びかけなど)	安否確認訓練	避難所運営 ・救命訓練	救護訓練	救出訓練	炊出し訓練	その他	無回答
全体		1155 100.0	786 68.1	474 41.0	576 49.9	327 28.3	330 28.6	198 17.1	329 28.5	78 6.8	354 30.6	92 8.0	6 0.5
地区別	県央	326 100.0	259 79.4	157 48.2	156 47.9	82 25.2	64 19.6	49 15.0	117 35.9	28 8.6	95 29.1	30 9.2	0 0.0
	県南	603 100.0	414 68.7	241 40.0	282 46.8	187 31.0	221 36.7	104 17.2	170 28.2	41 6.8	183 30.3	45 7.5	3 0.5
	県北	75 100.0	54 72.0	22 29.3	30 40.0	21 28.0	15 20.0	15 20.0	22 29.3	3 4.0	41 54.7	3 4.0	3 4.0
	沿岸	151 100.0	59 39.1	54 35.8	108 71.5	37 24.5	30 19.9	30 19.9	20 13.2	6 4.0	35 23.2	14 9.3	0 0.0

問 18-1-2.訓練内容

(3.「避難訓練」を選択:n=576)

	調査数	地震	火災	洪水	土砂災害	津波	火山	種別はなし	無回答
全体	576 100.0	109 18.9	109 18.9	98 17.0	69 12.0	47 8.2	6 1.0	33 5.7	277 48.1
地区別	県央	156 100.0	30 19.2	41 26.3	22 14.1	7 4.5	0 0.0	6 3.8	12 48.1
	県南	282 100.0	57 20.2	59 20.9	49 17.4	30 10.6	0 0.0	0 0.0	17 49.6
	県北	30 100.0	7 23.3	3 10.0	2 6.7	3 10.0	8 26.7	0 0.0	0 60.0
	沿岸	108 100.0	15 13.9	6 5.6	25 23.1	29 26.9	39 36.1	0 0.0	4 40.7

問 19-1.あなたの自主防災組織には、市町村から配布されたハザードマップがありますか。

	調査数	ある	ない	わからない	無回答	
全体	1503 100.0	1369 91.1	62 4.1	44 2.9	28 1.9	
地区別	県央	412 100.0	377 91.5	8 1.9	18 4.4	9 2.2
	県南	794 100.0	736 92.7	32 4.0	17 2.1	9 1.1
	県北	99 100.0	80 80.8	9 9.1	6 6.1	4 4.0
	沿岸	198 100.0	176 88.9	13 6.6	3 1.5	6 3.0

問 19-2.あなたの自主防災組織では、地域で作成したオリジナルの防災マップがありますか。

		調査数	ある	ない	無回答
全体		1503 100.0	388 25.8	1072 71.3	43 2.9
地区別	県央	412 100.0	101 24.5	299 72.6	12 2.9
	県南	794 100.0	220 27.7	557 70.2	17 2.1
	県北	99 100.0	18 18.2	76 76.8	5 5.1
	沿岸	198 100.0	49 24.7	140 70.7	9 4.5

問 20-1.あなたの自主防災組織で想定している避難所には、避難所運営マニュアルがありますか。

		調査数	ある	ない	わからない	無回答
全体		1503 100.0	402 26.7	759 50.5	297 19.8	45 3.0
地区別	県央	412 100.0	108 26.2	200 48.5	91 22.1	13 3.2
	県南	794 100.0	218 27.5	411 51.8	142 17.9	23 2.9
	県北	99 100.0	13 13.1	54 54.5	30 30.3	2 2.0
	沿岸	198 100.0	63 31.8	94 47.5	34 17.2	7 3.5

問 20-2.あなたの自主防災組織で想定している避難所の運営について、協力してくれる団体等がありますか。

		調査数	ある	ない	わからない	無回答
全体		1503 100.0	449 29.9	469 31.2	537 35.7	48 3.2
地区別	県央	412 100.0	104 25.2	139 33.7	159 38.6	10 2.4
	県南	794 100.0	244 30.7	240 30.2	281 35.4	29 3.7
	県北	99 100.0	30 30.3	29 29.3	37 37.4	3 3.0
	沿岸	198 100.0	71 35.9	61 30.8	60 30.3	6 3.0

問 21.あなたの自主防災組織は、防災用資機材など(ジャッキ・バール、非常食など)を備蓄・保管していますか

		調査数	している	していない	無回答
全体		1503 100.0	842 56.0	634 42.2	27 1.8
地区別	県央	412 100.0	259 62.9	142 34.5	11 2.7
	県南	794 100.0	427 53.8	358 45.1	9 1.1
	県北	99 100.0	48 48.5	48 48.5	3 3.0
	沿岸	198 100.0	108 54.5	86 43.4	4 2.0

問 22-1.あなたの自主防災組織では、避難行動要支援者を把握していますか

		調査数	把握している	把握していない	無回答
全体		1503 100.0	1136 75.6	336 22.4	31 2.1
地区別	県央	412 100.0	321 77.9	83 20.1	8 1.9
	県南	794 100.0	632 79.6	147 18.5	15 1.9
	県北	99 100.0	57 57.6	37 37.4	5 5.1
	沿岸	198 100.0	126 63.6	69 34.8	3 1.5

問 22-2.あなたの自主防災組織では、避難行動要支援者に係る個別避難計画の策定に取り組んでいますか。

		調査数	取り組んでいる	取り組んでいない	策定ははまだ決めていない	無回答
全体		1503 100.0	332 22.1	680 45.2	412 27.4	79 5.3
地区別	県央	412 100.0	79 19.2	182 44.2	129 31.3	22 5.3
	県南	794 100.0	216 27.2	323 40.7	217 27.3	38 4.8
	県北	99 100.0	12 12.1	52 52.5	26 26.3	9 9.1
	沿岸	198 100.0	25 12.6	123 62.1	40 20.2	10 5.1

問 23-1.あなたの自主防災組織が実施または参加する避難訓練、防災訓練に避難行動要支援者は参加していますか。

		調査数	参加している	参加していない	わからない	無回答
全体		1503 100.0	368 24.5	776 51.6	272 18.1	87 5.8
地区別	県央	412 100.0	107 26.0	201 48.8	79 19.2	25 6.1
	県南	794 100.0	184 23.2	427 53.8	139 17.5	44 5.5
	県北	99 100.0	26 26.3	51 51.5	16 16.2	6 6.1
	沿岸	198 100.0	51 25.8	97 49.0	38 19.2	12 6.1

問 24-1.あなたの自主防災組織は、自主防災組織が行う活動への参加者を増やす取組をしていますか。

		調査数	している	していない	無回答
全体		1503 100.0	293 19.5	1144 76.1	66 4.4
地区別	県央	412 100.0	83 20.1	308 74.8	21 5.1
	県南	794 100.0	141 17.8	631 79.5	22 2.8
	県北	99 100.0	41 41.4	49 49.5	9 9.1
	沿岸	198 100.0	28 14.1	156 78.8	14 7.1

問 25.あなたの自主防災組織は、地域の組織と協力関係を作っていますか。

	調査数	消防署	消防団	学校	病院	企業	地域支援センター （包括）	民生委員	公民館	社会福祉施設 （アマネージャ）	その他	無回答	
全体	1503 100.0	257 17.1	231 15.4	326 21.7	13 0.9	750 49.9	618 41.1	653 43.4	607 40.4	276 18.4	440 29.3	682 45.4	
地区別	県央	291 100.0	92 31.6	80 27.5	74 25.4	5 1.7	153 52.6	117 40.2	192 66.0	171 58.8	183 62.9	189 64.9	228 78.4
	県南	557 100.0	108 19.4	104 18.7	190 34.1	2 0.4	449 80.6	365 65.5	335 60.1	334 60.0	67 12.0	194 34.8	337 60.5
	県北	40 100.0	15 37.5	8 20.0	9 22.5	0 0.0	27 67.5	25 62.5	22 55.0	17 42.5	2 5.0	10 25.0	20 50.0
	沿岸	137 100.0	40 29.2	37 27.0	48 35.0	5 3.6	109 79.6	99 72.3	92 67.2	73 53.3	21 15.3	43 31.4	86 62.8

問 26(平常時) ご自身の組織で優先すべきだと考える活動を優先度順に 3つまでお答えください。

	調査数	講座、研修の実施	地域内の安全点検	防災計画の作成	情報伝達体制づくり	避難行動要支援者の 支援体制づくり	避難訓練の実施	救出・救護訓練	消火訓練の実施	避難所運営訓練	防災資機材・食糧の備蓄	活動体制の整備	連絡体制の整備	地域防災マップの作成	指定緊急避難場所・ 避難所等の確認	救助技術の取得	特になし	無回答	
全体	1503 100.0	415 27.6	516 34.3	239 15.9	361 24.0	437 29.1	340 22.6	113 7.5	246 16.4	163 10.8	219 14.6	278 18.5	243 16.2	107 7.1	131 8.7	45 3.0	48 3.2	51 3.4	
地区別	県央	412 100.0	139 33.7	136 33.0	55 13.3	104 25.2	119 28.9	92 22.3	37 9.0	62 15.0	35 8.5	45 10.9	71 17.2	59 14.3	31 7.5	29 7.0	15 3.6	12 2.9	20 4.9
	県南	794 100.0	219 27.6	269 33.9	137 17.3	203 25.6	237 29.8	171 21.5	61 7.7	138 17.4	97 12.2	119 15.0	145 18.3	139 17.5	60 7.6	72 9.1	25 3.1	25 3.1	19 2.4
	県北	99 100.0	18 18.2	31 31.3	14 14.1	15 15.2	20 20.2	25 25.3	4 4.0	26 26.3	9 9.1	20 20.2	17 17.2	21 21.2	8 8.1	9 9.1	2 2.0	2 2.0	6 6.1
	沿岸	198 100.0	39 19.7	80 40.4	33 16.7	39 19.7	61 30.8	52 26.3	11 5.6	20 10.1	22 11.1	35 17.7	45 22.7	24 12.1	8 4.0	21 10.6	3 1.5	9 4.5	6 3.0

問 26(発災時向け). ご自身の組織で優先すべきだと考える活動を優先度順に 3つまでお答えください。

	調査数	避難訓練	救出・救護訓練	消火訓練	避難所運営訓練	安否確認訓練	情報伝達訓練	特になし	無回答	
全体	1503 100.0	540 35.9	284 18.9	302 20.1	380 25.3	655 43.6	489 32.5	87 5.8	51 3.4	
地区別	県央	412 100.0	151 36.7	80 19.4	73 17.7	101 24.5	165 40.0	120 29.1	27 6.6	20 4.9
	県南	794 100.0	271 34.1	159 20.0	179 22.5	203 25.6	371 46.7	273 34.4	39 4.9	19 2.4
	県北	99 100.0	31 31.3	14 14.1	19 19.2	25 25.3	32 32.3	34 34.3	5 5.1	6 6.1
	沿岸	198 100.0	87 43.9	31 15.7	31 15.7	51 25.8	87 43.9	62 31.3	16 8.1	6 3.0

問 29-1.県が行っている「岩手県地域防災サポーター制度」を知っていますか。

	調査数	知っている	知らない	無回答	
全体	1503 100.0	436 29.0	981 65.3	86 5.7	
地区別	県央	412 100.0	118 28.6	267 64.8	27 6.6
	県南	794 100.0	240 30.2	511 64.4	43 5.4
	県北	99 100.0	29 29.3	61 61.6	9 9.1
	沿岸	198 100.0	49 24.7	142 71.7	7 3.5

問 29-2.県が行っている「岩手県地域防災サポーター制度」を活用したことがありますか。

		調査数	活用したことがある	活用したことがない	無回答
全体		436 100.0	70 16.1	361 82.8	5 1.1
地区別	県央	118 100.0	19 16.1	98 83.1	1 0.8
	県南	240 100.0	38 15.8	199 82.9	3 1.3
	県北	29 100.0	6 20.7	23 79.3	0 0.0
	沿岸	49 100.0	7 14.3	41 83.7	1 2.0

問 30-1.県が開催している「岩手県自主防災組織リーダー研修会」や「岩手県自主防災組織連絡会議」などを知っていますか。

		調査数	知っている	知らない	無回答
全体		1503 100.0	685 45.6	743 49.4	75 5.0
地区別	県央	412 100.0	179 43.4	207 50.2	26 6.3
	県南	794 100.0	320 40.3	440 55.4	34 4.3
	県北	99 100.0	66 66.7	26 26.3	7 7.1
	沿岸	198 100.0	120 60.6	70 35.4	8 4.0

問 30-2.「知っている」場合、研修会などに参加したことがありますか。

		調査数	参加したことがある	参加したことがない	無回答
全体		685 100.0	191 27.9	491 71.7	3 0.4
地区別	県央	179 100.0	68 38.0	111 62.0	0 0.0
	県南	320 100.0	78 24.4	239 74.7	3 0.9
	県北	66 100.0	20 30.3	46 69.7	0 0.0
	沿岸	120 100.0	25 20.8	95 79.2	0 0.0

問 32-1.お住まいの市町村の、自主防災組織に対する支援について知っていますか。

		調査数	知っている	知らない	無回答
全体		1503 100.0	830 55.2	591 39.3	82 5.5
地区別	県央	412 100.0	228 55.3	157 38.1	27 6.6
	県南	794 100.0	426 53.7	328 41.3	40 5.0
	県北	99 100.0	66 66.7	26 26.3	7 7.1
	沿岸	198 100.0	110 55.6	80 40.4	8 4.0

問 32-2.「知っている」場合、市町村の支援を利用・活用したことがありますか。

		調査数	活用したことがある	活用したことがない	無回答
全体		830 100.0	398 48.0	426 51.3	6 0.7
地区別	県央	228 100.0	121 53.1	105 46.1	2 0.9
	県南	426 100.0	168 39.4	255 59.9	3 0.7
	県北	66 100.0	50 75.8	16 24.2	0 0.0
	沿岸	110 100.0	59 53.6	50 45.5	1 0.9

問 33.自主防災組織について、市町村への支援要望がありましたら記入してください。

		調査数	マニユアル策定支援	防災人材の紹介	防災マップ作成支援	訓練実施支援	研修会の開催	計画策定支援	他組織とのマッチング	活動経費支援	その他	無回答
全体		1503 100.0	226 15.0	181 12.0	151 10.0	290 19.3	319 21.2	168 11.2	96 6.4	288 19.2	55 3.7	561 37.3
地区別	県央	412 100.0	67 16.3	64 15.5	44 10.7	88 21.4	88 21.4	44 10.7	22 5.3	62 15.0	15 3.6	161 39.1
	県南	794 100.0	124 15.6	87 11.0	74 9.3	142 17.9	172 21.7	88 11.1	52 6.5	162 20.4	23 2.9	295 37.2
	県北	99 100.0	13 13.1	8 8.1	14 14.1	19 19.2	18 18.2	12 12.1	11 11.1	24 24.2	3 3.0	39 39.4
	沿岸	198 100.0	22 11.1	22 11.1	19 9.6	41 20.7	41 20.7	24 12.1	11 5.6	40 20.2	14 7.1	66 33.3